

原子力発電所事故に伴う食品からの被ばくについての消費者意識調査

2016年9月16日

問1 福島第一原子力発電所の事故以来、あなたが食品からの被ばくについてどのくらい不安に感じて、どのような対策をとられているかをお聞かせください。

(1)

土壌や空気中から受ける放射線のあなたやあなたの家族(同居)の健康への影響について、どのくらい不安を感じていますか?(ひとつに 印を)

1. かなり不安
2. やや不安
3. あまり心配していない

問1_1 外部被ばくへの不安
(単一回答 N= 722)

■ 1.かなり不安 ■ 2.やや不安 ■ 3.あまり心配していない



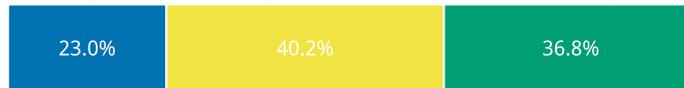
(2)

あなたは現在、食品や水に含まれる放射性物質のあなたやあなたの家族(同居)の健康への影響について、どのくらい不安を感じていますか?(ひとつに 印を)

1. かなり不安
2. やや不安
3. あまり心配していない

問1_2 内部被ばくへの不安
(単一回答 N= 723)

■ 1.かなり不安 ■ 2.やや不安 ■ 3.あまり心配していない



(3)

今年3月末～4月頃（原発事故直後）に比べて、（2）の食品や水に対する不安は大きくなりましたか、小さくなりましたか？（ひとつに 印を）

1. 不安は大きくなった
2. 不安は小さくなった
3. あまり変わらない
4. どちらともいえない

問1_3 8か月後の内部被ばく
(単一回答 N= 723)

■ 1.不安は大きくなった ■ 2.不安は小さくなった ■ 3.あまり変わらない ■ 4.どちらともいえない

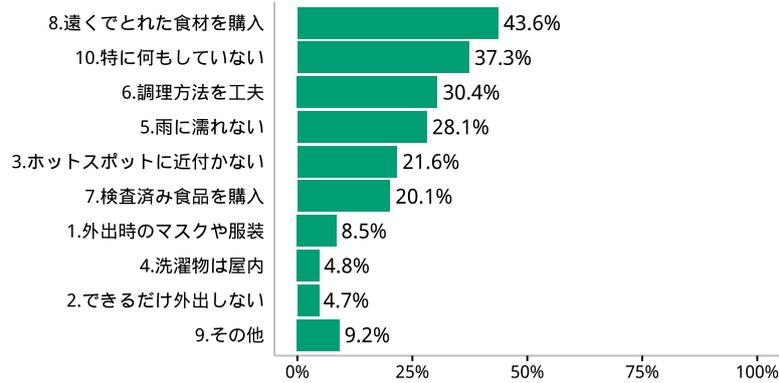


(4)

あなたやあなたの家族に対する放射性物質の影響を減らすために、日頃から行っていることはありますか？現在行っているものすべてに 印をつけてください。

1. 外出時にマスクをつけたり、服装に気をつけている
2. できるだけ外出をしない
3. 放射性物質が溜まりそうな場所に近づかない
4. 洗濯物を屋外に干さない
5. 雨に濡れないようにしている
6. 食材をよく洗ったり、茹でたりするなど、調理方法を工夫している
7. 放射性物質検査済みの食品を購入するようにしている
8. できるだけ事故現場から遠いところで作られた食材を購入するようにしている
9. その他（自由記入）
10. 特に何もしていない

問1_4 被ばくを減らすために日ごろから行っている
(複数回答 N= 727)

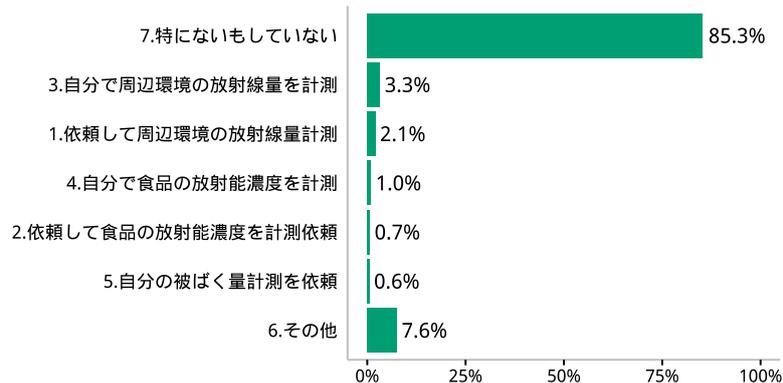


(5)

あなたは、周辺環境や食品の放射線量または自身の被曝量を知るために何か行ったことはありますか？原発事故以来行ったことがあるものすべてに 印をつけてください。

1. 業者や行政等に依頼して周辺環境の放射線量を計測してもらった
2. 業者や行政等に依頼して食品の放射能濃度を計測してもらった
3. 自分で周辺環境の放射線量を計測した
4. 自分で食品の放射線量を計測した
5. 医療機関や業者に自分の放射線被ばく量を測ってもらった
6. その他 (自由記入)
7. 特に何もしていない

問1_5 放射線量や被ばく量の検査
(複数回答 N= 727)

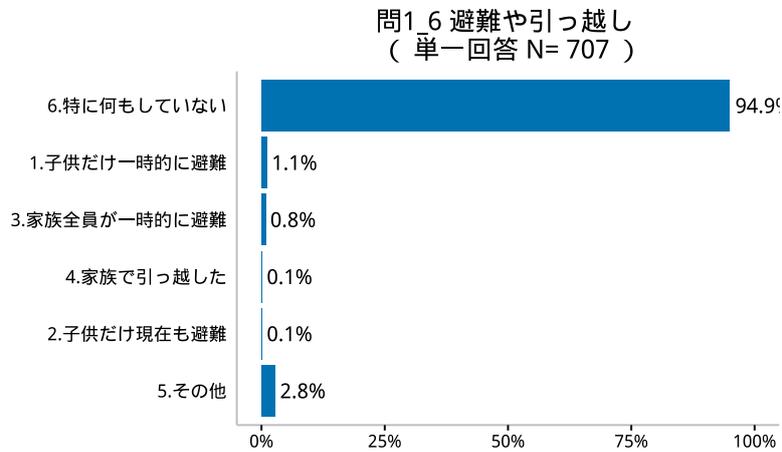


(6)

あなたは、原発事故以来、放射線の影響を避けるために、避難や引っ越し等を行いましたか？(ひとつに印を)

1. 子供だけ一時的に避難させた
2. 子供だけ現在も避難させている

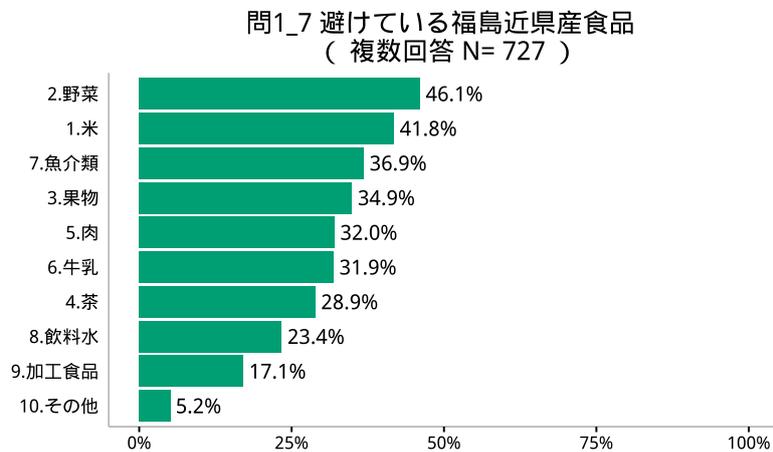
3. 家族全員（単身世帯の場合あなた自身）が一時的に避難した
4. 家族全員（単身世帯の場合あなた自身）が引っ越した
5. その他（自由記入）
6. 特に何もしていない



(7)

事故現場の近隣の県で生産されている食品で、購入を避けているものはありますか？あてはまるものすべてに 印をつけてください。

1. 米
2. 野菜
3. 果物
4. 茶
5. 肉
6. 牛乳
7. 魚介類
8. 飲料水
9. 加工食品
10. その他（自由記入）

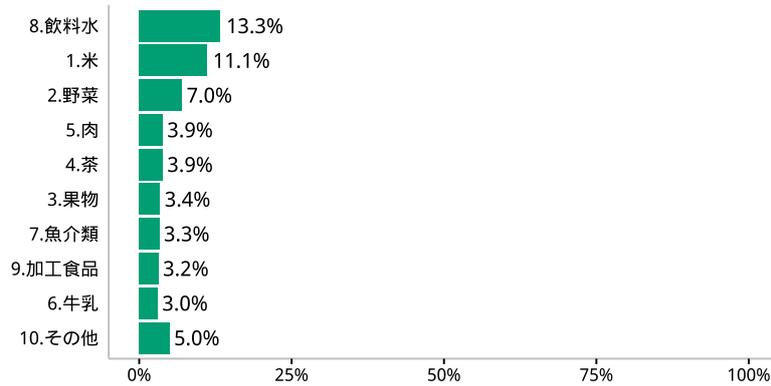


(8)

あなたは、放射性物質の影響が心配だからという理由で、通信販売を利用したり、友人・知人に頼んで、食品や水を取り寄せたことはありますか？あてはまるものすべてに 印をつけてください。

1. 米
2. 野菜
3. 果物
4. 茶
5. 肉
6. 牛乳
7. 魚介類
8. 飲料水
9. 加工食品
10. その他（自由記入）

問1_8 取り寄せした食品
(複数回答 N= 727)

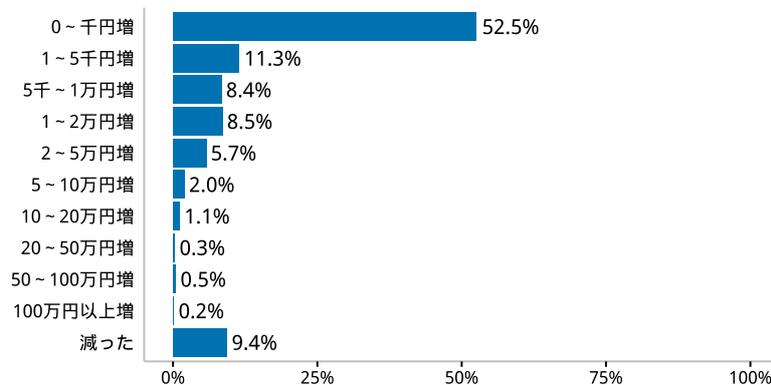


(9)

あなたの家では放射線の影響を避けるためにどのくらい食費が増えましたか？原発事故以来かかった家族全体の実費でお答えください。(ひとつに 印を)

- (1) 0～千円 (2) 1～5千円 (3) 5千～1万円 (4) 1～2万円 (5) 2～5万円 (6) 5～10万円 (7) 10～20万円
(8) 20～50万円 (9) 50～100万円 (10)100万円以上 (11) むしろ出費は減った

問1_9 食費への影響
(単一回答 N= 609)

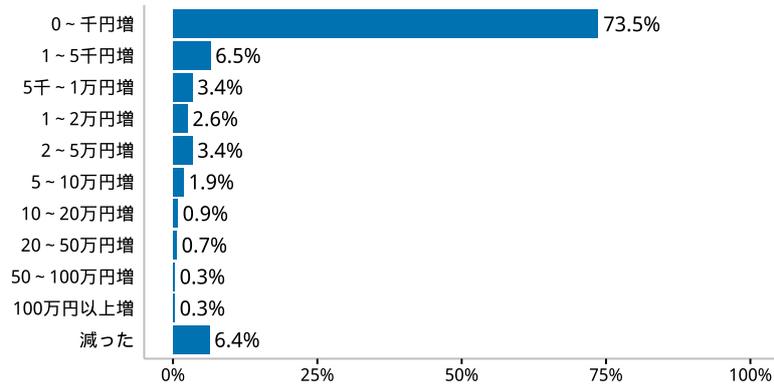


(10)

情報を集めたり、ガイガーカウンターを買ったり、子供を避難させるなど被ばくを避けるために、食費以外にどのくらいの出費がありましたか？(ひとつに 印を)

- (1) 0～千円 (2) 1～5千円 (3) 5千～1万円 (4) 1～2万円 (5) 2～5万円 (6) 5～10万円 (7) 10～20万円
(8) 20～50万円 (9) 50～100万円 (10)100万円以上 (11) むしろ出費は減った

問1_10 食費以外の支出
(単一回答 N= 582)



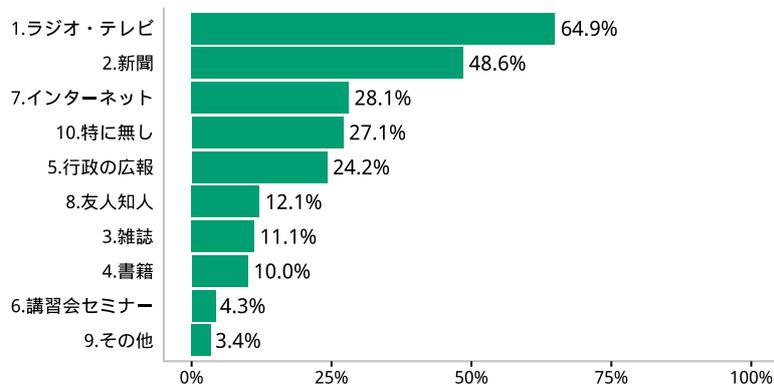
問2 放射線の影響や対策を知るために、どのような情報収集をされたかを教えてください。

(1)

あなたは、放射線の影響や対策を知るために、積極的に情報を集めましたか？あてはまるものすべてに印をつけてください。

1. テレビ・ラジオの報道をできるだけ聞いた
2. 新聞の記事をできるだけ読んだ
3. 雑誌の特集をできるだけ読んだ
4. 書籍を入手して読んだ
5. 行政からのお知らせや広報誌を読んだ
6. 講演会やセミナーに参加した
7. インターネットで情報を集めた
8. 詳しい友人や知人に聞いた
9. その他 (自由記入)
10. 特に積極的に情報を集めるようなことはしなかった

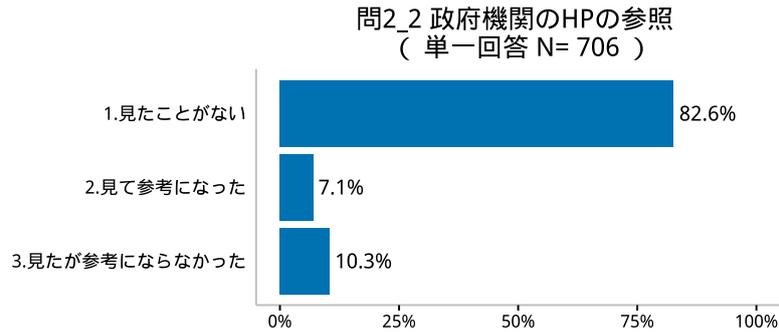
問2_1 情報収集の手段
(複数回答 N= 727)



(2)

あなたは、放射線の影響や対策を知るために、厚生労働省や食品安全委員会といった、政府機関のホームページを見たことがありますか？（ひとつに 印を）

1. 見たことがない
2. 見て参考になった
3. 見たが、参考にならなかった



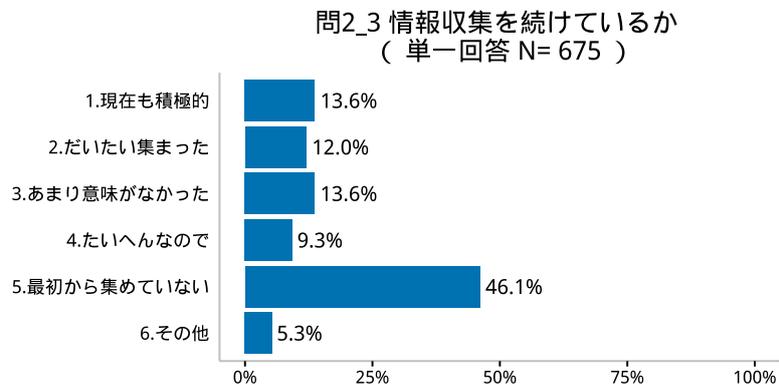
見た方は具体的な感想がありましたら聞かせください

具体的感想 （自由記入）

(3)

あなたは、放射線の影響や対策を知るために、マスコミや書籍、ホームページ、講演会などを通じて、現在でも情報を集めていますか？

1. 現在も積極的に情報を集めている
2. 必要な情報はだいたい集まったので、最近はあまり情報を集めていない
3. いくら情報集めてもあまり意味がなかったので、最近はあまり情報を集めていない
4. 欲しい情報はあるが、たいへんなので最近情報を集めていない
5. 最初からあまり情報を集めていない
6. その他 （自由記入）



問3 あなたは、事故後、放射線の影響や対策について、マスコミの報道を聞いたり、自分で情報を集めるなどして、よく理解できましたか？

以下の項目について、当てはまるものひとつずつ 印をつけてください。

(1)

どこにどれだけ放射性物質による汚染が拡がっているか

1. よくわかった 2. なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_1 汚染状況
(単一回答 N= 696)



(2)

自分や家族がふつうに暮らして現在どの程度安全なのか危険なのか

1. よくわかった 2. なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_2 安全性評価
(単一回答 N= 697)



(3)

自分や家族が安全に暮らすために何をしたらよいか

1. よくわかった 2. なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_3 対処方法
(単一回答 N= 690)

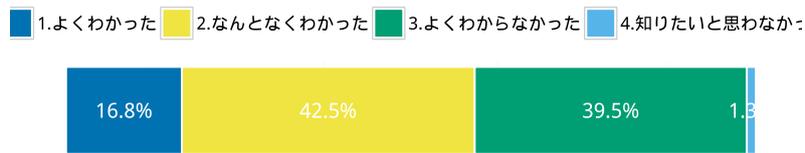


(4)

ミリシーベルトやベクレルという単位が何を意味するか

1. よくわかった 2.なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_4 mSvやBqの意味
(単一回答 N= 697)



(5)

何ミリシーベルト被ばくすることで健康にどのような影響が出るか

1. よくわかった 2.なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_5 被ばく量による健康影響
(単一回答 N= 698)



(6)

放射性物質がどういうメカニズムで人体に悪影響を及ぼすか

1. よくわかった 2.なんとなくわかった 3. よくわからなかった 4. 知りたいと思わなかった

問3_6 人体に影響するしくみ
(単一回答 N= 697)



(7)

上記以外の項目で、放射線の影響や対策について知る上で、役に立った情報があったら教えてください。

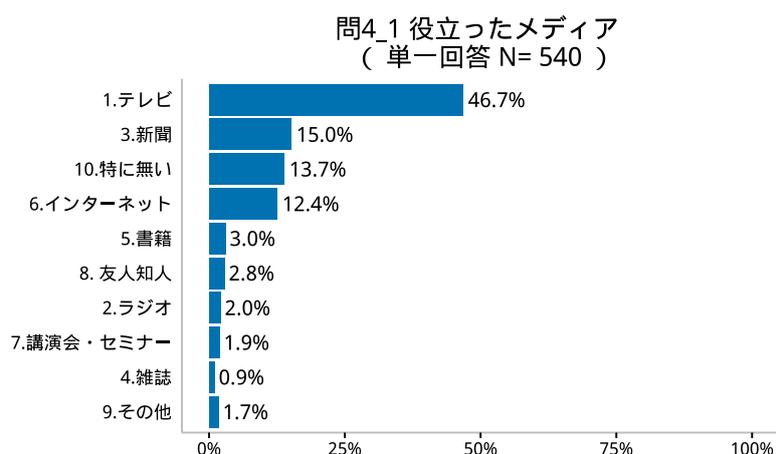
その他役に立った情報 (自由記入)

問4 あなたが放射線の影響や対策を知る上で、役立った情報を教えてください。

(1)

最も役立った情報はどんなメディアを通じて得られたものですか？最もよかったものにひとつだけ 印をつけてください。

1. テレビ 2. ラジオ 3. 新聞 4. 雑誌 5. 書籍 6. インターネット 7. 講演会・セミナー 8. 友人・知人 9. その他 (自由記入) 10. 特に無い



それは具体的にはどんな情報ですか？よろしければ番組の名前などを教えてください。

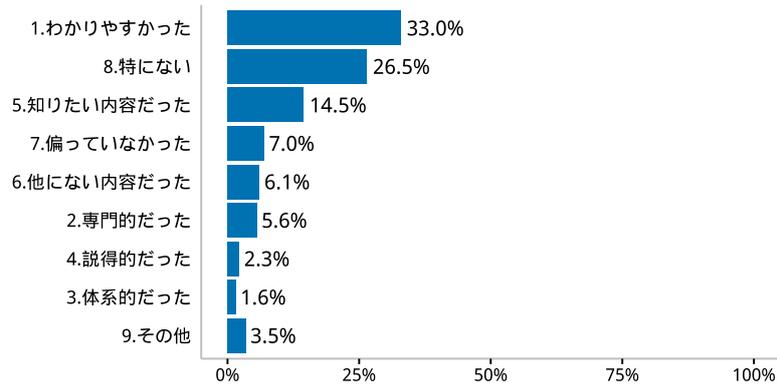
番組名など (自由記入)

(2)

その情報は、他の情報と比べて、特にどんなところがよかったですか？最もよかった点ひとつだけに をつけてください。

1. わかりやすかった 2. 専門的だった 3. 体系的だった 4. 説得的だった 5. 知りたい内容だった 6. 他では伝えない内容だった 7. 見方が公平で偏っていなかった 8. 特にない 9. その他 (自由記入)

問4_2 問4_1のメディアの評価
(単一回答 N= 573)



(3)

放射線の影響や対策を知る上で、特に信頼している人や機関・団体などはありますか？もしありましたら、具体的な人や機関の名前をお聞かせください。

問4_3 特に信頼する人や団体
(単一回答 N= 727)

■ 1.有り ■ 2.無し

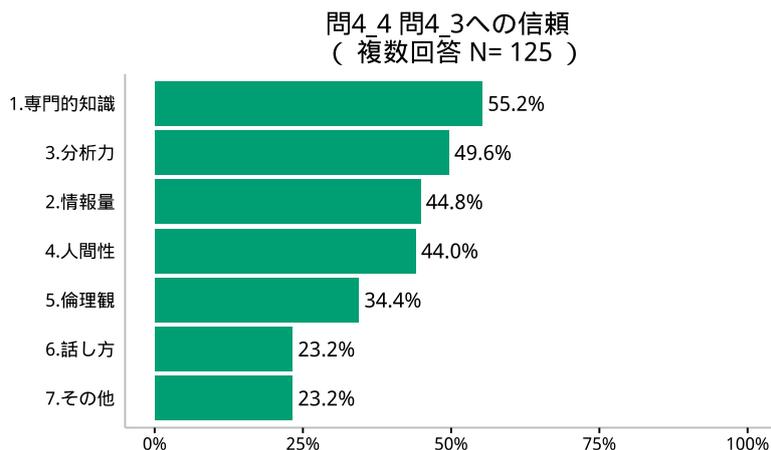


「この人の言うことを聞いていたら大丈夫」「この機関の出す情報を信用している」と言えるような科学者、政治家、官僚、ニュースキャスター、評論家、ブログなどで情報発信している個人、NPO、研究所、企業などの具体的な名前をお答えください。

個人名など (自由記入)

その人や機関・団体のどんなところが信頼できるのですか？当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1. 専門的知識 2. 情報量 3. 分析力 4. 人間性 5. 倫理観 6. 話し方 7. その他 (自由記入)



問5 今後放射線の影響や対策について、どのような情報が欲しいですか？

以下の項目について当てはまるものにひとつずつ 印をおつけください。

(1)

放射線や原発事故の影響について知りたい情報がどこにあるかが検索または一覧できる情報

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_1 どこに情報があるか
(単一回答 N= 701)



(2)

放射線の危険性や数字の読み方を、体系的にわかりやすく伝えてくれるまとまった解説

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_2 情報の読み方
(単一回答 N= 703)



(3)

放射線が現在どれだけ検出されているかがわかる地図

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_3 汚染地図
(単一回答 N= 708)



(4)

被ばく量と年齢に応じて、健康にどんな影響が出る可能性があるかという情報

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_4 健康への影響
(単一回答 N= 710)



(5)

住んでいる場所や年齢・生活パターンごとに、今後どれだけの被ばくする可能性があるかを推計した情報

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_5 今後の被ばくの可能性
(単一回答 N= 712)



(6)

住んでいる場所や年齢・生活パターンごとに、今後どうすれば効果的に被ばく量を減らせるかというアドバイス

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_6 被ばく量の減らし方
(単一回答 N= 705)



(7)

政府の安全基準がどのような理由で決まっているかを、わかりやすく解説した説明

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_7 安全基準の根拠
(単一回答 N= 712)



(8)

政府の安全基準の妥当性に関する専門家の評価や意見の違いを、わかりやすく解説した説明

1. 是非欲しい 2. できれば欲しい 3. 欲しくない 4. あてにできない

問5_8 安全基準の意見の違い
(単一回答 N= 706)



(9)

上記以外の項目で、放射線の影響や対策について知る上で、是非とも欲しい情報なのに、結局よくわからずに、不満に思っていることがあったら教えてください

足りない情報 (自由記入)

問6 放射性物質の規制や対策について、あなたのお気持ちをお聞かせください。

以下の項目について、もっとも近いものに、ひとつずつ 印をつけてください。

(1)

普通の食生活を送っている限り、放射性物質による被ばくは、心配するほどではない。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_1 それほど心配していない
(単一回答 N= 718)



(2)

実際にどのくらい危険なのかがよくわからないので、しばらくは用心したい。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どのくらい危険かわかっている 4. わからない

問6_2 よくわからないので用心
(単一回答 N= 715)



(3)

実際にどのくらい危険なのかがよくわからないが、国が大丈夫だということについては、信じることにしている。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どのくらい危険かわかっている 4. わからない

問6_3 国の言うことを信じる
(単一回答 N= 715)

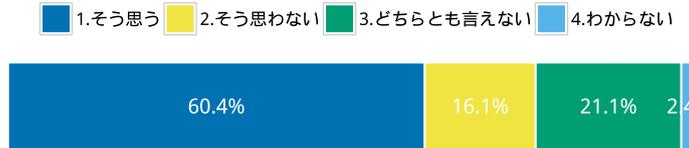


(4)

放射性物質が基準値を超える農産物のことが報道されると、不安が増す。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_4 基準値越えのニュースは不安
(単一回答 N= 715)



(5)

農産物に含まれる放射性物質の量は、検査され、基準値を超えたものは、出荷が規制されたり自粛されたりしているので、売られている農産物については、心配ないと思う。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_5 売られている農産物は安心
(単一回答 N= 716)

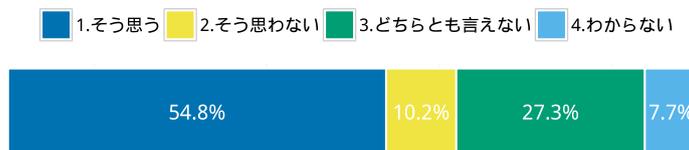


(6)

農産物に対する放射性物質の検査にも限界があるだろうから、売られている農産物の中には、基準値を超えている農産物もたくさんあると思う。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_6 売られている農産物も不安
(単一回答 N= 717)



(7)

そもそも国が決めている放射線量の基準値は高すぎると思う

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_7 国の基準値は高すぎる
(単一回答 N= 719)



(8)

自分が納得するかどうかは別として、国がなぜ、現在、放射線量の基準値を今の水準に設定しているか、その理由については理解している

1. よく理解している 2. ある程度理解している 3. あまり理解していない 4. 全く理解していない 5. 基準値がどうなっているか知らない

問6_8 基準値の根拠を理解
(単一回答 N= 715)



(9)

国の基準値の設定については、国民の健康を守ると言うよりも、他の利害関係が強く影響していると思う。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_9 基準値は利害関係による
(単一回答 N= 718)



(10)

国の基準値にかかわらず、ほんの少しでも放射性物質が検出された農産物は流通させるべきでない。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_10 少しの検出も許されない
(単一回答 N= 717)



(11)

今は大丈夫だと言われていても、後で「やっぱり危険でした」と言われそうで、とても安心できない。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_11 やっぱり危険と言うおそれ
(単一回答 N= 713)



(12)

スーパーやメーカーなどの検査を受けて、「放射性物質検査済」と表示されて売られている食品については、安心して購入できる。

1. そう思う 2. そう思わない 3. スーパーやメーカー 次第だ 4. わからない

問6_12 放射性物質検査済は安心
(単一回答 N= 708)



(13)

基準値を上回る放射性物質が検出された農家は、原発事故の被害者なのだから、出荷規制が解除された後は、応援の意味も込めて、その農産物を買うことにしている。

1. しばしばそうしている 2. たまにそうしている 3. ほとんどそうしていない

問6_13 農産物を買って応援
(単一回答 N= 693)

■ 1.しばしば ■ 2.たまに ■ 3.ほとんどしない



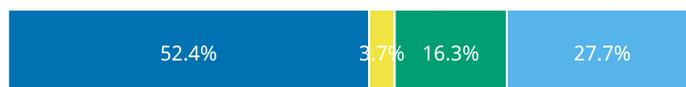
(14)

子供のことが心配なので、過敏すぎるといわれても、子供のためにできるだけことはしてやりたい。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. 子供はいない

問6_14 子供のためには過敏に
(単一回答 N= 701)

■ 1.そう思う ■ 2.そう思わない ■ 3.どちらとも言えない ■ 4.子供はいない



(15)

京都の五山の送り火で、陸前高田の松明が放射線検出を理由に返却されたのは、あまりに過敏な対応だと思ふ。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問6_15 五山送り火は過敏すぎ
(単一回答 N= 713)

■ 1.そう思う ■ 2.そう思わない ■ 3.どちらとも言えない ■ 4.わからない



問7 たいへん答えにくい質問かもしれませんが、次はあくまで「もしも」の話です。

もしも、あなたが、今の土地から、放射線の影響を全く心配しなくてよい土地に移れるとしたら、年収がどのくらい下がってもかまわないですか？ ひとつに 印をつけて、1. の場合は金額を記入してください。

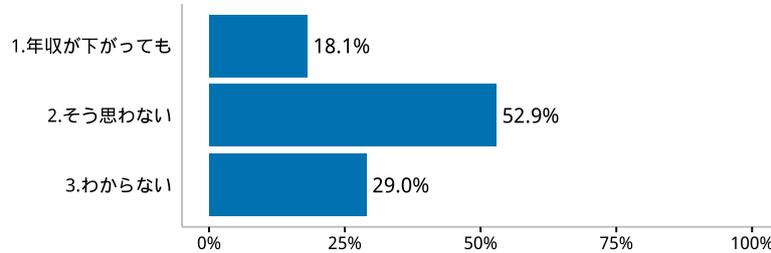
家族のいる方は、家族全員一緒に引っ越せると考えてください。

住環境や仕事、人付き合いについても、現在と変わらないと考えてください。

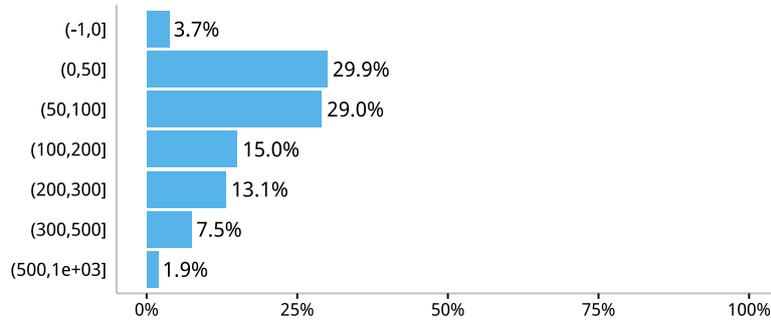
(ありえないとは思いますが、あくまで仮の話です。)

1. 家族全体の年収が最大()万円下がっても、放射線の影響のないところに住みたい。
2. 放射線の影響は心配していないので、引っ越したいとは思わない
3. よくわからない

問7_1 安全な所への引っ越したいか
(単一回答 N= 669)



問7_2 許せる年収低下
(数値記入 N= 107)



問8 福島第一原発の事故以来、あなたやあなたの家族の食生活の安全を考える上で、最も気になった出来事やとられた政策などは何ですか。

もしありましたら、それに対するお気持ちも含めて、教えてください。(回答は任意です)

気になった出来事等 (自由記入)

問9 放射性物質以外の食品の安全性について、あなたの考えなどをお聞かせください。

以下の項目について、あなたの気持ちに近いものに、ひとつずつ 印をつけてください。

(1)

原発事故以前、食品を買うときは、原産国や産地を確認するようにしていた。

1. いつもそうだった
2. たまにそうだった
3. ほとんどしたことがなかった

問9_1 食品の産地を確認
(単一回答 N= 664)

1.いつも 2.たまに 3.ほとんどしない



(2)

食品を買うときは、保存料や着色料といった添加物が入っていないものを選ぶ。

1.ほとんどそうする 2.たまにそうする 3.ほとんどしない

問9_2 食品添加物は避ける
(単一回答 N= 664)

1.ほとんどそう 2.たまにそう 3.ほとんどしない



(3)

買った米や野菜や肉などの生産履歴を、店頭端末やインターネットで検索している。

1.しばしばする 2.何度かした 3.一度だけした 4.したことがない

問9_3 生産履歴を確認
(単一回答 N= 658)

1.しばしばする 2.何度かした 3.一度だけした 4.したことがない



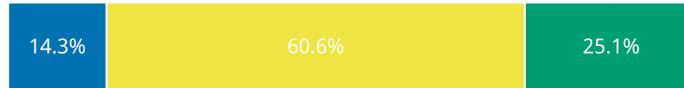
(4)

有機栽培または無農薬栽培の野菜を購入している。

1.いつも買う 2.たまに買う 3.ほとんど買わない

問9_4 有機栽培の野菜
(単一回答 N= 658)

1.いつも買う 2.たまに買う 3.ほとんど買わない



(5)

国産の半値で中国産の野菜が売られていたら

1. 国産を買う 2. 心配だが中国産を買う 3. 気にせず中国産を買う

問9_5 半額の中国産野菜は
(単一回答 N= 659)

1.国産を買う 2.心配だが買う 3.気にせず買う



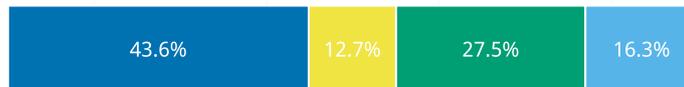
(6)

遺伝子組換え食品は健康への影響が心配だ。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問9_6 遺伝子組換え食品は心配
(単一回答 N= 663)

1.そう思う 2.そう思わない 3.どちらとも言えない 4.わからない



(7)

安全基準値以下であっても、残留農薬が少しでも検出された野菜は食べたくない。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない 4. わからない

問9_7 少しの残留農薬も食べない
(単一回答 N= 662)



(8)

残留農薬が少しでも検出された野菜は流通させるべきではない。

1. 1.そう思う 2. 2.そう思わない 3. 3.どちらとも言えない 4. 4.わからない

問9_8 少しの残留農薬も許されない
(単一回答 N= 662)



(9)

消費期限が一日でも過ぎた食品は食べたくない。

1. 1.そう思う 2. 2.そう思わない 3. 3.どちらとも言えない 4. 4.わからない

問9_9 消費期限切れ食品は食べない
(単一回答 N= 663)



(10)

インフルエンザの予防接種は副作用が怖いので受けたくない。

1. 1.そう思う 2. 2.そう思わない 3. 3.どちらとも言えない 4. 4.わからない

問9_10 予防接種は受けたくない
(単一回答 N= 660)

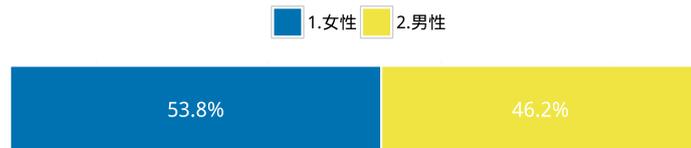


問 10 あなたご自身についてお聞きします。

(1)
あなたの性別をお聞かせください。(ひとつに 印を)

1. 女性 2. 男性

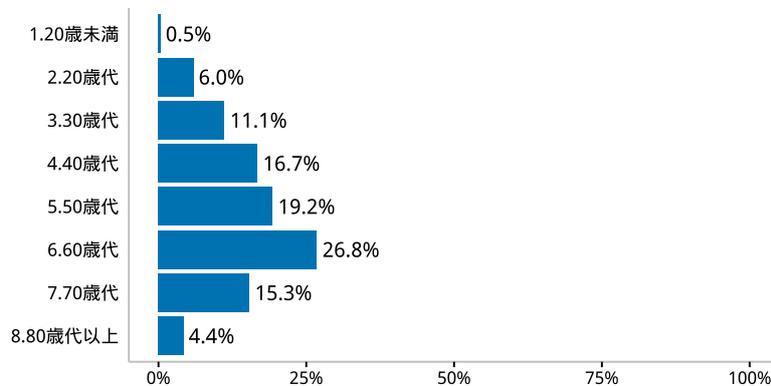
問10_1 性別
(単一回答 N= 665)



(2)
あなたの年齢をお聞かせください。(ひとつに 印を)

- (1) 20 歳未満 (2) 20 歳代 (3) 30 歳代 (4) 40 歳代 (5) 50 歳代 (6) 60 歳代 (7) 70 歳代 (8) 80 歳代以上

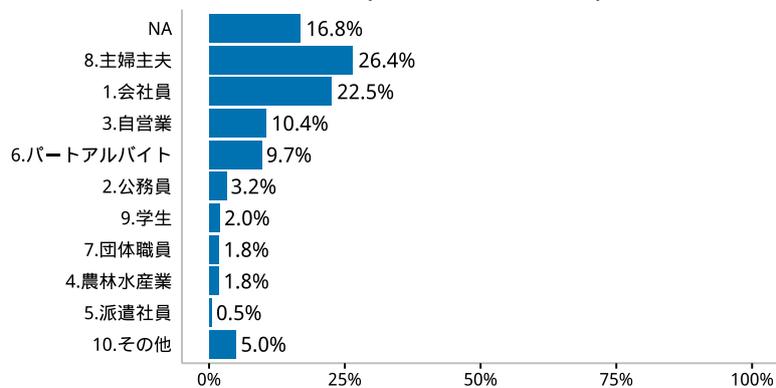
問10_2 年齢
(単一回答 N= 665)



(3)
あなたのご職業をお聞かせください。(主なものひとつに 印を)

1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 農林水産業 5. 派遣社員 6. パート・アルバイト 7. 団体職員 8. 主婦・主夫 9. 学生 10. その他 11. 現在は仕事をしていない

問10_3 職業
(単一回答 N= 662)

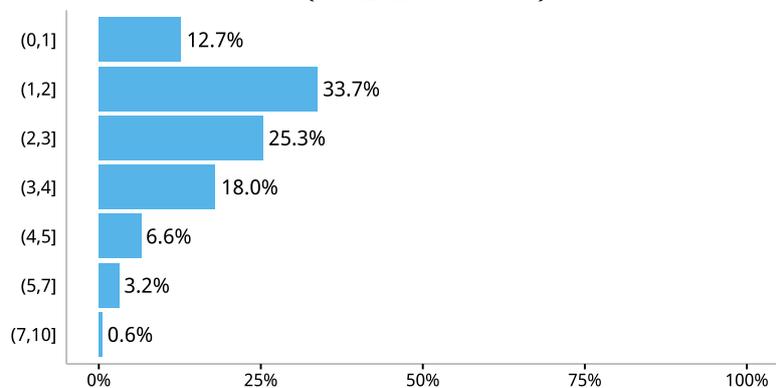


(4)

あなたが現在同居されているご家族は、あなたご自身も含めて、何人ですか？

() 人

問10_4 家族員数
(数値記入 N= 656)

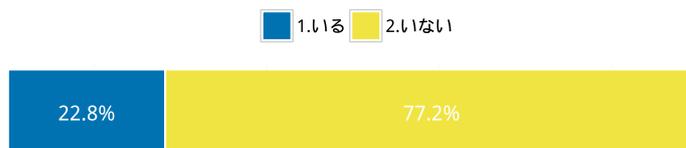


(5)

あなたの家族には中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか？いらしたら、最も小さなお子さんの年齢をお聞かせください。

1. いる 最も小さいお子さんの年齢 () 歳
2. いない

問10_5 中学生以下の子供
(単一回答 N= 645)

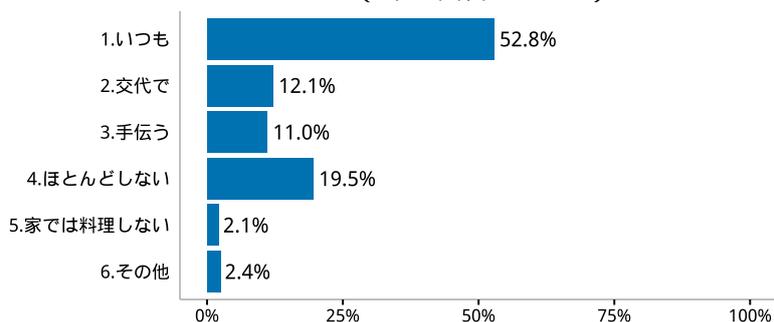


(6)

あなたは、ご自身または家族のために、日頃の程度料理をされていますか？(ひとつに 印を)

1. いつも自分が料理をしている
2. 家族の誰かと交代で料理をしている
3. 家族の誰かがする料理を手伝うことがある
4. 家族の誰かに任せて、自分ではほとんど料理はしない。
5. 家では、ほとんど誰も料理をしない
6. その他 (自由記入)

問10_6 自分で料理をするか
(単一回答 N= 661)



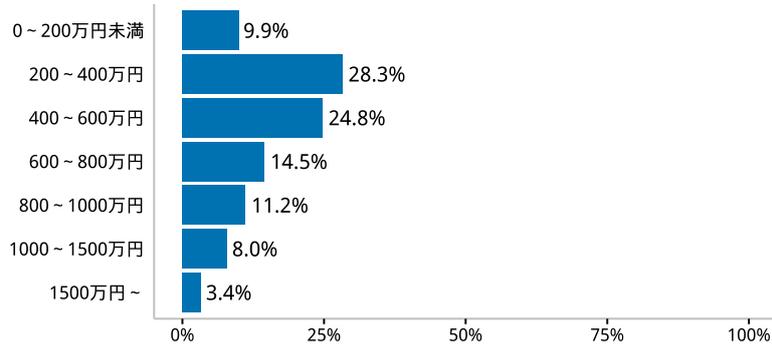
(7)

あなたのお家の年収はいくらぐらいですか？(ひとつに 印を)

立ち入ったことをお聞きますが。経済学的な分析に必要な情報ですので、恐れ入りますが、ご回答願います。

- (1) 200 万円未満 (2) 200 ~ 400 万円 (3) 400 ~ 600 万円 (4) 600 800 万円 (5) 800 ~ 1 千万円 (6) 1 千 ~ 1 千 500 万円 (7)1 千 500 万円以上

問10_7 年収
(単一回答 N= 654)

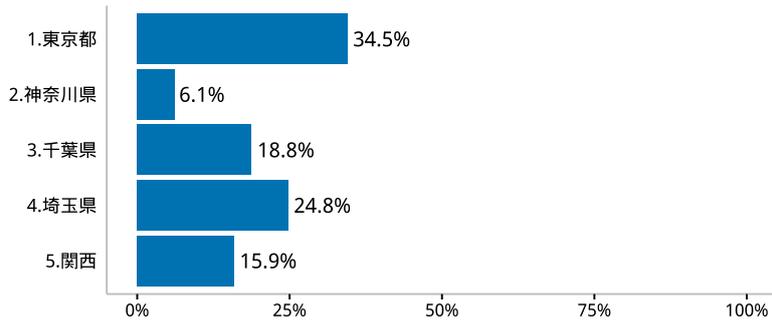


(8)

あなたが現在お住まいの都道府県はどこですか？

都道府県名 ()

問10_8 都道府県
(単一回答 N= 719)



(9)

あなたやあなたの家族に、食品の製造や流通にかかわるお仕事をされておられる方はいらっしゃいますか？

1. 自分がかかわっている 2. 家族がかかわっている 3. 誰もいない

問10_9 食品関係の仕事
(単一回答 N= 705)

■ 1.自分か ■ 2.家族が ■ 3.誰もいない



今回の原発事故に伴う食品からの被ばくについて、不安やご苦勞、国やマスコミなどへのご意見等がございましたら、お聞かせください。

意見等（自由記入）

自由解答またはその他の回答

問1(4) あなたやあなたの家族に対する放射性物質の影響を減らすために、日頃から行っていることはありますか？

その他 問1(4)に戻る

- 野菜類はなるべく近くの産地を選ぶ
- 毎年落ち葉を集め堆肥にして使うのだが気持ち悪いから今年はやらない。女房と2人だけ共に70歳超えなのでそんなに気を使うこともないのだが近隣の孫にどうかーと心配している。
- 放射能測定器を購入し、子供の活動区域を測定しています。
- 農家ですので米や野菜は自給できるものを食べている。
- 入った放射性物質は下毒するようにメニューを考えている。(味噌や発酵物を使うなど)
- 中国産以外、輸入食品を買う
- 地域自治体の放射能線量ホームページで検出食品をチェックしている。
- 洗濯物外干時には福島方向が風上にならぬようにしている。
- 川口市と同じ計測器を購入(地域住民複数)定期的にはかっている。今のところ問題なし。但し冬場北風が心配。
- 製造者と責任者の良心を求めるばかりです。
- 生協で購入したものを中心にしている。
- 生活環境は変えようがない。
- 水道水は洗浄機を元の部分からつけて、塩素のみならず、放射性物質も除去できるようにしている
- 水道水は飲まない。買い入れた水を飲んでる。
- 真実を学び、正しい知識を持って判断するようにしている。(メディア、東電がいかにもいいかげんかわかる。)
- 手洗いをこまめにす
- 外食するのを減らした。なぜなら、どこの産かわからないから。
- 飲料水を購入するようになった。
- 飲み水に関しては子供たちの分だけ海外のを購入
- 悪いものを体内に貯めておかないように便秘をしないようにしている。空気清浄器を使用
- 私は東北生まれです。出来るだけ被災地の食材をと思い利用しています。野菜、米等店に出ているものは安全なものと思っています。
- 輸入のミネラルウォーターに限定した。(飲料水)牛乳は北海道産
- ミネラルウォーターを購入しています
- 部屋の掃除をこまめにするようになりました。高い空気清浄器を買ったり。。
- 福島県より遠く離れた神奈川県(足柄茶)埼玉(さやま茶)静岡(掛川付近の茶やぶきた茶)等毎日飲むので注意している
- 特に水に気を付けている
- 店内に出ている福島産は購入しています
- 小さいため子供には、近所の土に触れさせないようにしている。子供を芝で遊ばせる時は遠く離れた放射線量の低い所へつれて行って遊ばせている。
- 信頼できる情報をとる
- 食品毎の放射線量検査結果をチェックしている(川魚、しいたけ、海の魚等)

- 除去するための日本古来からの天然食品、EM菌、ホメオパシナ
- 市場に出ている商品は安全だと思って購入している。
- 産地を選び、生協製品を使用している。
- 飲料水はサーバー購入し水道水は飲まなくなった。
- インターネットでモニター調査結果を見て傾向をつかんでいる。
- 安全とされていても数値が高く出た食品は購入を避けている

問1(4)に戻る

あなたは、周辺環境や食品の放射線量または自身の被曝量を知るために何か行ったことはありますか？

その他 問1(5)に戻る

注： は、判読できなかった文字です。

- 小学校で計測している数値を把握している。
- 自分でできる除染 で環境の清掃している（ の を含む）
- 行政（多摩市）や政党（日本共産党）の計測値公表に注意している
- 友人に放射線量を計測してもらった
- 友人に家の周辺の測定してもらったが特に何もしていない。
- 武蔵野市のゴミ焼却灰の処理場を見学に行った
- 先ず、業者や行政機関を信頼せずに、食品を気をつける。そして紙を祈る。
- 報道をよくみている
- 放射線量計がどこにあるか分らない。購入値段高い。
- 放射線量測定器貸し出し申し込み中
- ネットの「測ってガイガー」などで周辺環境をチェックしている。
- ニュースで毎日の放射線量をチェック
- なるべく遠い所の食品を買う（原発から）
- 何もできない
- テレビ、新聞、市の広報で放射線量をチェックしている。
- 著名な教授のブログなどを閲覧して、国や行政の情報以外の情報収集につとめた。
- 近くを計測している人の値をネットでチェックし続けている
- 地域市議員が行った
- 生協を利用して、検査に合格したものを配達しているとのこと。個人的には何もしていない。
- 水道水は飲まない
- 信頼はしていないが、業者や行政の測定に立ち会った。
- 新聞の放射線量を見るのみ
- 新聞での放射線量を毎日見ている
- 新聞、インターネットの公表値（周辺環境）をチェックしている
- 市より機器を借用して計測
- 食品毎の放射線量検査結果をチェックしている
- 職場で毎日測っている
- 情報は常に集めている。
- 周辺のシーベルト/1hから自分がどれくらい被曝しているか計算している。
- 市役所からの放射線量を気をつけて見ている
- 自分の地区の毎日出ている（東京新聞）欠かずに見ている
- 自分では何も出来ないのじっとがまんしている
- 市のホームページで市内の値を見る
- 市の広報、携帯などで情報を得ている
- 自治体の出している数値をこまめにチェック
- 自治体に線量計の借し出しを申し込んだ（受け付け開始40分で締め切りとなったため実際には借りていない）
- 産地を確認している。

- 講習を受けた
- 健康診断に出向いた
- 計測をしてもらいたいが、計器の数が不足している
- 計測した機関に問い合わせた。
- 警戒区域なのでスクリーニング検査をしてもらった。健康調査票を提出した。
- 行政やネットでのデータを参考にした
- 行政の情報を新聞や広報で見る
- 行政などの発表するデータを注意している。
- 学校給食の放射線量の測定を申し入れ、今年 12 月～来年 3 月まで測定してくれるようになりました。ただし 4 品目/月だけです。
- 柏市の「測定器貸し出し」に申し込み。現在順番待ち中
- 主にテレビで情報を得て注意している。
- インターネットで地域の線量の値を時々チェックしてる。
- TV やインターネットで放射線量を知るようにした。
- HP で、発表されている検査結果を定期的にチェックした

問 1 (5) に戻る

あなたは、原発事故以来、放射線の影響を避けるために、避難や引っ越し等を行いましたか？

その他 問1(6)に戻る

- 避難したいが金がない
- 私と子供だけ、実家に長めに帰省した。
- 母子のみ一時的に避難させた
- 放射能線量に関する情報資料をできるだけ集めて研究している。
- 福島の家族に東京に来るように説得した。
- 避難も検討したが実現しなかった
- 避難したいけどお金がない。
- 引っ越したいができない。
- 夏休みに1ヶ月子供を関西へやった
- 当時出産前の姉を避難させた。
- 東京に避難している(家族全員)主人の会社から辞令があったためできない
- 千葉市なので何もしていない。
- 世帯主以外が全員一時的に避難した
- 自分の所は何ともないと思っている
- 自分以外の家族が一時的に避難した。
- 埼玉での出産予定であったが神戸で出産させた(孫を)
- 子供と妻が一時的に避難した。
- 子供がいるため千葉の実家には事故から2~3ヶ月はいかなかった。
- 関東在住ですが、仕事の都合がなければ引っ越したいです。
- 家族の一部が引越した。
- いわき市から親類11名の避難民を受け入れた。
- 一時的に子供と妻を避難
- 3月4月の外出を控えた

問1(6)に戻る

事故現場の近隣の県で生産されている食品で、購入を避けているものはありますか？

その他 問1(7)に戻る

- ほとんど
- 全部、すべて
- 冷凍食品
- 難しいが外食は気をつける
- 福島、栃木、茨城のみ避ける。(栃木、茨城は買うこともある)
- 練り製品
- しんようできるスーパー・生協を利用
- 卵
- セシウム検出の報道があったもの
- しいたけ、川魚
- 国内産は偽装も含め、疑問がある。
- きのこと類
- 海草、酒、など
- 家で作っているシイタケ、ヒラタケなどさけている。

問1(7)に戻る

あなたは、放射性物質の影響が心配だからという理由で、通信販売を利用したり、友人・知人に頼んで、食品や水を取り寄せたことはありますか？

その他 問1(8)に戻る

- 輸入品を選ぶ
- 水：影響が心配ということではなく、地震後水の備えをと思い、毎月決まった数を送ってもらっています。
- 放射線量を調べるところから買っています。
- 別居の息子夫婦のため
- 福島県産のものを取り寄せている。
- 日常のもの全て
- 信頼できる業者より購入。オイシックス等
- 自然食品屋なので放射性物質の影響のないものが入ってきているのでそれらを利用しています。(きたい)
- サプリメント
- これから水を取り寄せるつもり
- ケーキ、小麦、等々

問1(8)に戻る

あなたは、放射線の影響や対策を知るために、積極的に情報を集めましたか？

その他 問2(1)に戻る

- 行政の各担当者、専門者と情報交換をしている。
- もう一度、大学の教科書を読みなおした。
- 通常通りテレビ、ラジオ、新聞からの情報を得ている。
- ついでに読むことはある
- 町内にチェルノブイリ原発事故時の東京都の責任者がおり老人会で講演してもらいとても参考になった
- 地デジのデータ放送のニュースで
- たくさん情報が出たがいまだにどれが正解なのか本当のところは何もわからない。
- 政党 = 日本共産党の調査報告に留意した。
- 生協の放射線被害の有無の情報チェックはしている
- 生協のチラシなどに出ている情報をチェックした
- 生活クラブの特集
- 自分の住居地の記事を毎日どうなって、又は変化を見ている
- 実家が福島なので様子を聞きました。
- 講演会に参加して学んだ
- 国の情報を信用してしまった(身体に影響ない物
- 化学の論文や薬学系の記事を調べた
- 外国からの情報
- 夫の会社からの情報
- 映画(ドキュメンタリー)
- 以前と同様普段通り

問2(1)に戻る

放射線の影響や対策を知るために、厚生労働省や食品安全委員会といった、政府機関のホームページを見たことがある人の具体的感想

具体的な感想 問2(2)に戻る

- わざと大事な情報をわかりづらい所に載せてるのかと思った
- わかりにくい
- 分かりづらい
- 理解するのにほかの情報とのドッキングが必要だった
- 理解しにくい よくわからない 危険であるとは言えないんだろうな、という印象 見たいページにたどりつくまでに時間がかかる 数字あそびをしているかんじ
- よくわからなかった。
- よくできていると思いますが、むしろ HP をできるだけ多くの国民が見るようにテレビ、ラジオなどで PR の努力をすべき。
- 役人も食品安全委員会も政府機関は信頼できない！
- 役に立たない内容です。知りたいことは何も書いてありません。
- 文科省の航空モニタリング調査、降下物、水道の放射性物質のチェック
- もう少しわかりやすく、ていねいにした方がよい
- 全く知らなかった広島の話はよく聞いたが平和になって、電気に使われていたのは全く知らず、無学であった。
- マイクロとか分からない数値を云われてもピンとこなかった。私の前の会社の材料から放射線が出ていると一時大変な時期がありましたが、胃の検査をする時にあびる量より低いと云われました。がそれですと住んでいますが、それ程この地区では神経質には思っていない。
- 本当の事を知らせているのかどうか、少し不安な点もあります。
- 本当なのか、疑わしくなったりした。
- ホームページからどう進んだら放射線についての情報が得られるのかよくわからない。新聞のほうがよりよいと思った。
- 放射能数値が確かでない
- 放射線量のデータ
- 放射線に対し人体への影響が心配だった
- 文章が難しく理解するのに時間がかかる。
- 不安が小さくなった
- パソコンなし
- なんとなく
- 何が大切でどの程度安心なのかはっきりわからなかった
- どのように基準値を決めたのか知りたくて見た。参考になったが、妥当かどうかは分らなかった。
- データがバラバラであった。
- 千葉県多古町の産直センターから食品の放射能測定結果が。測定限界以下の量ということ、測定限界値はおよそ 20 ベクレル。安心しています。
- 旅先で群馬県産の牛肉を購入し、世間的にさわがれているので、HP を見てみたいが、影響のあるものが販売されているわけがないと思っていたので、特に、ああ、こんなものかと思った位です。
- 専門的な調査とはいえない。
- 政府の発表が本当かどうか、うたがわしい。実際後に放射線が残存しているとされた食事等、多くは民

間機関の検査による。

- 政府の発信は信用できない。
- 政府に信用がないので、ウソに思えた
- 政府機関は信用できない。
- 政府機関は信用できない。
- 政府機関の調査、発表に俟つ以外ない。(理由：素人が調査することはできないし、判断できない。)
- すべてが信用できない
- 数値を出す基準根拠が不明
- 数値の変化が理解できない、安全値が簡単に変わるのか？
- 数値の意図的な操作はふくまれているように感じます。
- 信頼できるか不安
- 信頼性にギモン。
- 信用できないウソばかり
- 信用できない！！
- 新聞等に比べて判り難い
- 信じられない。
- 消費者庁の放射能と食品Q & Aはよいと思う。ただあまり利用されていないのが残念である。
- 実生活に役立つには大まかすぎてどうしたらいいかわからなかったし、何が正しいのか、何を信じていいのか、判断が難しかった。
- 事故についてが多い
- 参考になったが不安有り
- 根本的に原発について激しい憤りを感じます。国がどうかしてほしい。
- 公開された放射線の分布図で爆発による放射性物質の飛散状況がわかった。
- 国や国の意見意志が強く動く機関は信用できないし不親切
- 国はあてにならない
- 国の発表は信頼できないので見ようとは思わない。
- 基本的に役人のすることが信用できない。
- 基準に科学的な裏付けがない
- 隠された情報を基に振り回されたくない
- およそ広く報せる気はないと常に再確認するような内容で魅力もないし・・・
- 安全という基準値があまりにも高い。内部被ばくを全国に広めるような気がします。
- あまり信用できない
- あてにならない、真実が見えない
- 3月以前と言っていることが違う。科学的におかしい
- 海外の情報(国の気象局などのもの)に比べて客観性、具体性に欠ける。リスクについての情報が無い。
- (1) 行政の発表数字内容が次々変わり信じられなくなった。(2) ベクレル。マイクロシーベルト、ミリシーベルト/年、シーベルトと段階的発表が混雑的発表で判断よくわからなくなっている。(3) ベクレル(食品)とシーベルトの数字的判断がよくわからない。共通計算数式はないのか？(4) 限界値についても判断混乱を招いている。

問2(2)に戻る

あなたは、放射線の影響や対策を知るために、マスコミや書籍、ホームページ、講演会などを通じて、現在でも情報を集めていますか？

その他 問2(3)に戻る

- 市役所からの情報を見えています
- 一方向からでなく多面的に取り組んでいる。
- レントゲンも怖いと思う
- もうあまり気にしていなかった
- 毎日の新聞を読む程度
- 毎日が過ぎていて、情報を集めても何もかわらず、何か自分の身におこっても受け止めていくしかないのかなと思っています。
- 必要な情報のみ見ている。
- 必要と思える情報に目を通すのみ
- 当時チェルノブイリ原発の責任者の方々から毎月のように話をしてもらって参考にしている
- テレビのニュースだけ
- テレビなどで聞いている
- テレビインターネットで流される情報のみ。
- テレビ・新聞などの情報には気をつけている程度です
- テレビ、新聞、雑誌などで情報があれば家事などの手を止めて見ている
- 地域で定期的に集まり情報を共有および計測
- ただ行きつけのスーパーには事故現場、近隣の県産のものしか置いていない場合がおおくそれを買わざるを得ない状況です
- そのつど何か不安になったりしたときネットで情報を得たりしている
- 積極的でもないが目につけば注意して収集している。
- 積極的ではないが、新聞・TV で情報をえている
- 政府の発信する情報は信じていない、2 転 3 転してばかり。
- スクラップ記事を集めている
- 新聞や TV 等の情報を読み、見てる。
- 情報は集めているが最初ほどではない。
- 情報は TV、ラジオ、人づて
- 状況の変化を気にかけている。
- 自分からは積極的に集めないが活字になっているものはほとんど読む。
- 最初の頃より危機意識が薄れた
- 継続して見ている HP はある。
- 今日より明日増える限り量もわからない。予定不能
- 記事が出たり、TV 報道があれば見聞きする程度
- 聞く機会があれば聞くようにしている。
- 遠方なのでさほど身近に感じない
- 今は海外メディアがどう報道していたかにさかのぼってインターネットなどでチェックしている。
- TV・新聞等を参考にする程度になりました
- いろいろと研究している。

問 2 (3) に戻る

問3(1)～(6)」以外の項目で、放射線の影響や対策について知る上で、役に立った情報があったら教えてください。

その他役に立った情報 問3(7)に戻る

- 私の友達が広島で育ち黒い雨が降りそこで野菜、お米を作り食べ大きくなり東京に来て今年 75 歳になり今も元気でカラオケを唄っています。あまり心配していません。
- わからない。具体的に教えてください。
- ラジオ
- マスコミの言う事と逆のことをやれば正解だと思った。どこの局か忘れてしまったけど、3月の一番酷い時に「むやみにマスクをつけたりしないで下さい」と放送した女性アナがいました。録画しておけばよかった。
- ホットスポット現象が特に心配
- ほかの発がん性要因と比べての位置づけを久山智香子の「放射線と食品のリスクを考える」という図書
- 放射能の低汚染による身体への影響の科学的なデータがないこと
- 放射線（内部被ばく）の量を測れるレンタルがあることを知った。
- 微量の放射線による、長期被ばくについては誰もわからない。
- 病気のためのレントゲン技師は短命ではないか。そんな気がする
- 病院で見かけるポスター
- 飛散情報（予測）
- 半減期について。
- 早川由紀夫先生の拡散シュミレーション
- 何ミリシーベルでどんな健康に影響が出るかを知らせて下さい。
- 内部被ばく、外部被ばくの意味
- 特に子供への影響が大きく、体内に蓄積される。
- 東京新聞が分かりやすかった
- テレビや新聞の報道よりもネットで見たほうが正しい、または早い情報が多かった。
- テレビ放送
- 低線量の被爆については体に良いという意見もある。
- チェルノブイリの文献、教科書
- チェルノブイリの所長の本を文庫で読んでいたので再読した
- チェルノブイリと福島の
- チェルノブイリ事故後 25 年、どのような健康被害が生じたか。またベラルーシなどでどのような食事に注意したのか、放射能を減らす調理法など。参考文献：『新装版 食卓にあがった放射能』高木仁三郎/渡辺美紀子/七つ森書館/2011 年 参考文献：『自分と子供を放射能から守るためには』ウラジミール・バベンコ著/世界文化社/2011 年 『わが子からはじまる食べ物と放射能のはなし』安田節子著/クレヨンハウス・ブックレット/2011 年 ブログ『明日に向かってできること』2011 年 9 月 1 日
- チーズ、ヨーグルトなど乳製品はよくない、凝縮されているらしい
- 多摩市が広報紙で市内各地のセシウムを知らせてくれる。
- 想定外という便利な言葉。よって安全は全く信用出来ない。
- 専門家が所論だけで役に立った情報はなかった。
- 政府の発表はころころ変わるので信じられない
- 政府・東電の情報は全くもって信用出来ない！市民団体・御用学者の情報は信用できると思った。

- スモッグと同じように放射線何ミリシーベルト、という情報が欲しい
- 新聞の切り抜きスクラップしている
- 新聞にて、地上には自然界より放射線が出ていることを知った。
- 情報を発信する機関、人、ニュースキャスターなどが本当に内容を知っていて言っているかを見極めて、情報をセレクトすることが重要
- 受線者の年齢、健康状態、総蓄積量、潜伏期間により一概にどれ位の影響があるか分からないことが分かった。 マスコミが不安をあまりすぎているのではないかと不安を感じる。
- 自分の身は自分で守る
- 自分の子供が理系大学で学んでいる為(化学)早いうちから詳しい話をしてくれた 逆に恐ろしくなった
- 事故の後インターネット上で原子力安全委員会が出した質問状への回答を偶然目にした。(2009or2010年のもの) その中に「プルトニウムが飛散した際の対処薬剤は5人分用意」とあり驚いた。
- 郡山市在住の友と逢った時、線量の累積を測定する道具を持参してましたが近隣在住民は必要と思う
- コープなかがわやパルシステムの情報
- 高校の教科書
- 原発よりも、近所の地面に埋まっているかもしれない放射性物質のほうが、余程線量が多そうなこと。
- 原子力発電所で事故があった場合、すぐにできるだけ遠くへ逃げることで被爆量がかなり違うことがわかった。 今後はそのように対応する。 事故後すぐが一番放射線量が多い。
- 原子番号 92 番 U、原子番号 94 番 PU の特性、防護
- 教育がないのでわからない(キケンなことはわかっている)
- 基準がないのですべて分からず
- ガンになるのは宝くじに当たるようなもの、少ない被爆でガンになってしまう人もいる。 証明は難しい。 引越したい。
- 各地区での放射線量値 (NHK)
- 会社が実施した e-learning (イントラネットによる学習) で得た放射線の種類と遮蔽について
- 海外の報道
- 海外での放射性物質含有量の基準値が日本より厳しいということ。
- 大人は特に気にする必要なし
- 欧米(海外)における先例(先学)の諸相
- インターネット
- インター NT、TV、雑誌で収集
- 雨によるものや風によるものこと
- NHK の ETV の関連番組
- NHK の BS プレミアム
- EM 菌の活用、ホメオパシーの活用、塩
- A、地上測定値が(1)5cm (1)50cm (3)1mと測られ、平均値を取って1m SV とか2m SV とっているが、少子高齢者は地べたに密着して活動しているので(1)の線量値で判断基準を置き対策を考えるべきだと思います。 B、食料品は大量流通品は検査されていると思うが、農家少量直売は検査されていないものが大半である。 これのほうが汚染 が高いと思われるので測力を入れるべきだと思う。
- 100年前から今日にかけて、全世界の全ての統計を報告してください(白書・独立の機関から)
- どのような食品が特に放射性物質を吸収しやすいか。 放射性物質排出作用のある食品 どの企業が誠実に対応するか、不誠実な企業はどこか。

問3(7)に戻る

最も役立った情報はどんなメディアを通じて得られたものですか？

その他役に立ったメディア 問4(1)に戻る

- 友人がセミナーに参加し、その資料に基づき説明してもらいました。
- 増え続けている事実「この夏静岡県の茶畑で影響を受けた」情報で関東は福島県とおなじ状態と見た。
- どれが正しいのかわからず
- 町内の方の講演
- 生協
- 支援している市議・国会議員
- 講演会及び映画「祝の島」、その他、メディアはまったく役立たず。
- 具体的にどれというのではない。皆そうだと思うが積極的に情報を集めた。
- 行政担当者
- 会社のイントラネットによる e-learning
- 夫の会社からの情報（新聞社）
- 今、大学生で物理の授業でくわしくやった。

問4(1)に戻る

最も役立った番組等の名前を教えてください。

その他役に立った番組等 問4(1)に戻る

- 早野教授のツイッター、原田 男さんのツイッター、埼玉県のホームページ、製造固有番号をまとめた TzWiki
- 信用できない情報ばかりでどれも同じ
- 各社の朝のワイド番組、NHK、他のニュース番組。 日々の情報であり、特定の番組ではない。
- 忘れたがNHK テレビ、ほかのテレビ番組、くわしい友人に聞いている。
- ワイドスクランブル、ミヤネ屋、X線の1回の被曝量が20mSv、年間100mSvを越える線量の被曝で健康に悪影響がある、といった情報
- ワイドショー(日テレ ミヤネ屋 TBS ひるおび テレ朝 報道ステーション)
- 論文 化学系雑誌投稿記事
- 読売テレビ、日曜日の午後1:30~たかじんのそこまでいって委員会の番組でやっていた大学教授の放射線の説明
- 読売新聞に出ている放射線量の地図
- 読売新聞、YAHOO ニュースなど
- 読売新聞
- 幼稚園協会での講演会。6月ごろ。よけいな不安を与えないような情報が聞けただけだった。
- ユーチューブ
- 友人から早くにホットスポットについて知りえた。
- 役に立ったというより、テレビ・新聞からの情報を基に判断しています。高木仁三郎さんのチェルノブイリ事故時の本よんで、どうして今までーと思いました。
- 明治大学が主催した「安全」に関するセミナー
- 息子の通う公立の中学校の理科の主任の先生が積極的に調べられて行われたPTA研修会。敷地内の放射線測定値「原子力発電とは」「原子力発電の導入と現状・課題」「人体への影響」
- ミヤネ屋
- みのもんたの朝ズバ!、報道ステーション、モーニングパード、NEWS23 クロス、とくダネ、日々のニュース
- みのもんたの朝ズバ
- マスコミがうそをついているとのこと。ナック 5/12/15 6時からの番組
- 毎日載る新聞の放射線情報
- 毎日の放射線量、日経の社会面、各地の放射線量
- 毎日のNHK ニュースにて
- 毎日新聞
- 報道番組、NHK など
- 報道ステーションなど その他多数 放射線の影響についての解説
- 放射能拡散地図や日々の線量データ
- 放射線の種類と遮蔽について
- 放射線測定値情報
- ベラルーシでチェルノブイリの事故後実践されている放射性物質への対応など
- 文化放送「吉田照美そこ大事なところ」
- 文化放送 朝の番組「吉田照美のソコトコ」

- フジテレビ夕方 4:55 分からのスーパーニュースはわかりやすい！
- フジテレビの「とくだね」
- フジ TV のとくだね
- 福島原発の真実 澤田哲夫監修
- 広瀬隆著 原子炉時限爆弾
- 日々のニュースなどで見て聞いているがどこまでかがわからないことが多い。
- ひとつの目安になったのが、図で示した、被ばくの量で起こる身体の異常について。テレビでも出てたかもしれないが、新聞は手元でゆっくり見られたので。
- ひとつだけの番組ではなく、色々な情報番組、ニュースなど。テレビは目で（動画で）確認できるのでわかりやすかった。
- ビデオニュースのマル激トークオンデマンド各回、プレスクラブ 2011 年 11 月 17 日 上原春男氏記者会見
- 肥田舜太郎さんの講演、早川マップ、ベラルーシのパンダジェフスキー氏の研究、松本市長、菅谷昭氏の話、大沼淳一さんの話
- 番組名は忘れました。
- 番組のタイトルは忘れてしまったのですが、東大の先生が「人体には放射線を排出する機能があるのだから過剰に心配する必要はない」という話にとっても納得しました。マスコミがすごく煽りたてる中ですごく冷静だったと思います。
- はっきりと番組名を覚えていません。
- 漠然とで、特に無し
- 年末くらいにやったたけしの番組（武田先生や山本次郎さんが出て討論していたもの テレ朝の池上さんの番組
- ネットの口コミ、内部の者の暴露話、放射能の危険を訴える学者の HP
- ニュートン
- ニュースを見た。
- ニュースやワイドショーの特集みたいなもので。
- ニュース番組など
- ニュース番組（ゼロ etc）
- ニュース番組
- ニュースなど
- ニュースステーション
- ニュース ZERO, 報道ステーション、読売新聞、朝日新聞など
- ニュース、報道ステーション
- ニュース、特別番組
- 日本テレビミヤネ屋だった。。。ミリシーベルト・ベクレルの説明があったと思う。
- 日本学術会議主催緊急集会
- 日中にやっている主婦向けの番組「みるおび」「ミヤネ屋」などを見ている
- 日経新聞の 3～12 月までの記事全般
- 日経新聞に毎日載っている「各地の放射線量」
- 日経
- 日テレ ミヤネ屋
- どこをかけても同じ様な番組をやっていて、こちらの先生はこう又ちがう先生は大丈夫とか、あまりわ

からなかった。私達は遠く県外なのでそんなに心配をしていない感じです。

- どのどの産物でセシウム 137 が検出されたかそれが国の基準を超えているか否か、ただし基準を決めた根拠がよくわからなかった)のニュース
- 特には覚えてないが毎日東電の HP は見ていた
- 時々新聞解説や NHK、毎日 TV (4ch) などの解説程度
- 時々新聞に掲載される解説記事 (朝日新聞)
- 東電の計画停電が行われるという事前情報と外国のメディアからの放射能汚染の広がり情報
- 東京新聞がかなりつつこんで教授の意見を伝えていた。
- 東京新聞朝刊 P 4 に「被災地の今」とタイトルして現状、福島はじめ、首都圏各地の放射線量、人体への影響、海産物陸産物に対する影響レポートされているのでそれを読む
- 東京新聞 東京電力の福島原発事故状況をスクラップして現在も集めている
- どういう番組ではなく、原発関連の TV を見ていた。
- テレビラジオ等では数字、パーセンテージなどがさっと流れてしまい頭に入りませんが、新聞は自分が納得いくまでゆっくり見られるので...
- テレビラジオ (NHK、番組名は覚えていない) 東京新聞、毎日空气中放射能を発表している
- テレビ報道番組等による
- テレビのニュースと週刊誌の報道 (4月~6月頃まで)
- テレビでは報道されないニュースがインターネットにはある。
- テレビ全般
- テレビ朝日の各分野での専門的な情報解説。
- テレビ朝日、朝番組、モーニングバード
- テレビ朝日 学べるニュース
- テレビ朝日 報道ステーション
- テレ朝、ニュースステーション、やじうま、他
- 定期購読している朝日新聞。生活面で放射線関連記事を随時掲載。最近では事故発生時からの裏側の動きを追った「プロメテウスの罠」を連載中だが、初めて知る事実が多い。
- 町内でその事に関する仕事をする人がいた
- 地デジのデータ放送のニュース
- チェルノブイリ原発事故のその後の取材。現在も。チャンネル、番組名忘れてしまいました。報道番組で (TBS 夕方だったかも)
- チェルノブイリ原発事故との違いや都内、多摩市内の放射能の数値、老人の対応の仕方など講演で教えていただいた
- 地域別放射線量
- 地域で開催され質疑応答があり安心できた (その後情報の動きで不安は生じた)
- たね蒔きジャーナル 小出先生の解説 (毎日放送 ラジオ アーカイブ)
- たねまき ジャーナル・・・京大原子炉実験所 小出助教出演ラジオ番組
- 武田先生のブログはとてもやくにたった。テレビはまったくやくにたなかった。ラジオもいろんな見方をもつ専門家をよんで、くわしく情報を提供してくれた。 < J-wave.>
- 武田先生のブログ
- 竹田先生の話はとてもわかりやすく、その後、本やホームページで内容を確認した
- 武田邦彦ブログ
- 武田邦彦氏のブログ

- 武田邦彦氏の書籍
- 武田邦彦 ”放射線と生きる” 2011 幻冬舎
- 武田邦彦 (中京大教授) の HP、勝川
- 沢山のニュース番組を見て得たものなので、具体的には書けません。
- たかじんのそこまで知って委員会
- 大学の研究をしている先生
- (1) 文部科学省の副読本 (2) 生涯学習での講座 (国立環境研究所の鈴木明氏) (3) 『放射能の本当の話 完全対策編』宝島社
- 全国消団連と消費者庁によるセミナー ほんとのことが知りたい!! 学書シリーズ 放射能物質汚染問題と私たちの暮らし 安心して食べるために知っておきたいこと。
- 世界一分かりやすい放射能の本当の話、完全対策論
- 政府発表のもの。信用していい情報かどうかは別としていろいろ知ることができた。
- 生協バルシステム (宅配業者、国の基準 1/5 の商品を提供している) が主催の講演会「子供たちを放射線から守るためにチェルノブイリと私たち」12/9.2° ~ 4° 立川にて
- 生協が主催した消費者力育成セミナーで「放射線の基礎や影響について」と「情報の取り入れ方」
- 生活クラブ生協からの情報
- すべてのチャンネルで報道されているので、番組や名前を覚えていません。
- スッキリ
- 図解と特集記事
- 神保哲生さんのビデオニュースドットコム。またはそれを見た友人による解説。
- 新日新聞「プロメテウスの罫」
- 情報の所在を知ったのは物理学等、原子力工学以外の専門家のツイッター、主に専門家のブログで書いていた放射線の基礎知識、専門家が公的機関発表の食品放射線検査結果をツイッターで知らせてくれる
- 浄水器のセミナー
- 週刊現代特集連載
- 週刊朝日、NHKTV (朝いち)、行政担当者、専門学者、等等
- 自分の市の放射線量の推移
- 指数は報道されるが、この程度ならよい、危険だ、限界を知りたい。
- 事故直後の海外の動向等
- 時期、内容を覚えていませんが、以前から新聞の記事が最も信頼しています。
- しかし、原子力産業や政府の事を配りよしてのことか、政府の発表を流すだけの番組が目立った。もっと様々な学者の意見などじっくり何時間でも聞かせるべき。
- 産経新聞です。
- 御用学者とやバレル種るいの人達。
- 個人の HP、市内の道路や公園の放射線量の情報を up していた。
- 個人がやってくれている HP でガイガーカウンターを 5 月頃まで毎日チェックして、子供にマスクをさせたり、雨の日はレインコートをさせたり、大変役立った。
- 公用新聞の関連記事
- 公共機関による情報
- 原発の事故 も報道関係の や電力関係の 変わって に希望はもてない。一番しんばいなのは次の時代の子供たちだ。よくなることを信じて死ぬよりなし。
- 原発の嘘

- 原発事故発生から病院勤務の者で放射線部で線量を毎日数回定点観測を行った
- 原発行政に携わっていた、元福島県知事さんが語っていた動画サイトの映像（放射線の影響だけでなく原発村の裏を語っていた映像など）
- 元素と周期表
- 原子炉の状況や放射能汚染についての特集（読売）でも現状は真実なのか？
- 原子力を専門としている大学教授
- 原子力安全委員会、内閣の発表、説明 etc 原発関連のニュース（NHKが多い）
- 月刊スポーツの「リスクから身を守る健康生活術」
- くにまるジャパン 文化放送 佐藤優 原発事故放射能ケンカ対談 武田邦彦 副島隆彦 船幸雄の本 池田誠治 マインドコントロール
- 具体的ではないが、聞きもらしたり、絵がうごいたりしないので3.が良いと思いました。
- 京大の小出さんのサイトなど
- きくちゆみさんのブログ、楽天堂のML
- 辛坊次郎の書籍（専門家と対談している本）
- 各局ニュース
- 各局の毎日のニュース
- 各局のニュースです
- 各局のニュース
- 各局のテレビニュースで
- 解折者により違うのでどちらかわからない
- 覚えていません
- お昼のワイドショーでの特集
- 大前研一氏の関連するホームページ
- 大前研一
- 枝野さん説明
- インターネットでの地球を守る活動する団体、なぜ原発反対か、世界で日本でホメオパシーがたたかれても生き残るのはなぜか、日本の自衛隊の現場の声、その他...。全て、目指す所は見ている所は1つにつながり、そういう人たちの声、話をきくと本当に勉強になった。チェルノブイリ、広島、長崎の原爆で生き残った人たちも同じことを言っている。
- 一日中ラジオ放送をかけているのでどれともわからぬが耳に溶け込んだときは聞き入る 忘れてどんなときとはいいかねます。
- 池田整治氏の講演
- 池上彰の学べるニュース
- 池上彰の学べるニュース
- 池上彰、民法 NHK の特集で出ていた番組だいたい見た
- 池上彰
- 池上 学べるニュース
- 安全（と思われる）食品について情報収集しているブログ
- 安斉育郎著 福島原発事故 どうする日本の原発政策
- 朝日テレビのモーニングバード
- 朝日新聞プロメテウスの罫
- 朝日新聞に毎月掲載される、汚染状況をカラーで地図で示されている記事。

- 朝日新聞に、9～11月頃にけいさいされた関連記事
- 朝日新聞「プロメテウスの罫」、しんぶん「赤旗」
- 朝日新聞、毎日新聞、NHKTV
- 朝日新聞、関係ある内容は切り取りした
- 朝日新聞 プロメテウスの罫
- 朝日新聞 プロテウスの罫
- 朝日新聞 2011、9、11日 東日本大震災6ヶ月大特集
- 朝日TVのモーニングバード、羽鳥、赤江氏
- 朝日、日経新聞等のデーター記事
- 朝のニュース、みのもんたの朝ズバ 説明がわかりやすい。思っていることを代弁してくれる。
- 朝の新聞の特集(5月頃?)
- 朝の情報番組、特ダネ、モーニングバード他の特集番組 朝日新聞の特集記事
- 朝ズバ、ひるおび、報道ステーションなど
- あさイチ(NHK)放射能関連番組
- 赤旗
- YAHOOの記事やダイレクトメールなど
- yahoo
- TVからの情報が多いが、数値や単位を間違えて報道(立場としての)したりしていて責任感を感じられない。
- TBS ラジオ
- TBS テレビ朝ズバ、毎朝見ているのでわかりやすく解説してくれた。
- TBS 11:00～ひるおび
- TBS、「情熱大陸」での専門科による回
- SF マガジンの連載コラム
- NHK 毎日の各市部の測定値の報道、さいたま市のホームページ
- NHK 放送、ニュース
- NHK のニュースや報道特集など
- NHK のニュースや情報番組、特集
- NHK のニュースの前の時間(天気予報)
- NHK のニュース特集等
- NHK のニュース解説
- NHK のニュース、各地の放射線量の測定値
- NHK のニュース
- NHK の特別番組
- NHK の特番や朝の番組、池上さんの番組
- NHK の特集、朝日新聞の連続の特集、生活クラブの冊子

- NHK の天気予報の時ニュースと特集番組
- NHK の天気予報の時
- NHK のあさいち 全国の各家庭の食事の放射線量を測定するコーナー
- NHK の TV ニュースの中で行われる解説
- NHK ニュースのみ
- NHK ニュース特番
- NHK ニュース天気予報で
- NHK ニュース、ニューススペシャル
- NHK ニュース、クローズアップ現在、新聞は朝日の解説
- NHK ニュース
- NHK などのニュース番組。天気予報のように放射線値をしらせていた。
- NHK 特別番組
- NHK テレビニュース 9
- NHK テレビあさいちの放射線食卓調査
- NHK テレビ あさいち
- NHK で発表している地域別放射線量
- NHK 午後 7 時前後のニュース
- NHK 気象予報
- NHK あさいちの特集 そうだったのか学べるニュース
- NHKTV の定時ニュース、ニュースウォッチ 9
- NHKTV 首都圏ニュース 845
- NHK 「あさいち」全国各地の主婦に依頼し、1 週間の食事を調べた特集
- NHK、読売新聞、民放 4～12
- NHK、毎日新聞
- NHK、ニュース番組で流される情報
- NHK、公明新聞
- NHK、放射能汚染地図
- NHK、産経新聞
- NHK ほかの番組より詳しくていねいに説明している。原子炉、放射線量、E.T.C
- NHK 首都圏版地区別放射線数値
- NHK 1. 夕方首都圏ネット各県の放射線量のお知らせ。
- NHK
- NHK
- NHK
- NHK
- NEWSZERO NHK の 7 時の NEWS テレビ朝日の報道ステーション

- NAVER のまとめサイトがわかりやすくよく見ていた。日々更新されるから、新しい情報がすぐわかる
- MBS ちんぷいぷい石田さんの解説(とてもよくわかるし共感)
- <http://www.iam-t.jp/HIRAI/pageall.html>
- 2チャンネルとまちBBS。近所の話題が欲しかった。
- 2ch 緊急自然災害版 原発情報 事故初期には非常に役に立った
- 2011年(平成23年)12月17日(土曜日)読売新聞特別面「工程表ステップ2達成 福島第一原発事故の経過と対策」「東京電力福島第一原子力発電所による放射性セシウムの拡散状況」
- 12月15日NHK総合8時15分～あさいち
- ・よつば交流会(神戸)であった、京大今中先生の講演のがれき処理方法などすべて・NPO 使い捨て時代を考える会主催のグリーン・アクション アイリーン・美子・スミスさんの講演で、今何をすべきかがとても参考になりました。
- ・毎日新聞にのっている放射線量の表示。 ・放医研にお勤めの方より伺った情報を教えていただいた。
- ・フランス政府がチェルノブイリ事件のときに、公にうそをついた思い出。 ・ツイッター・WIKIPEDIA、等々・テレビ番組をできるだけたくさん分析する
- ・雑誌は「世界」 ・多摩大学、「寺島実郎現代世界解析講座」など
- ・NHKのチェルノブイリについての特集番組(1992年に放送したもの)すべてのテレビニュースが参考になりました。ただ、このNHKの番組をもっと放送されたときに真剣に見ておけばよかったと思いました。 ・NHKのクローズアップ現代
- ・NHK「放射能汚染地図」・TBS[報道特集](毎週土曜日17:30)・TBS「ニュース23」(平日11:00)
- 「私はなぜ原子力を選択するか」バーナード・h・コーエン著 等
- 「原発のウソ」という書籍、小出教授の記事・ブログ
- 「原発のウソ」小出裕章先生の本が役立ちました

問4(1)に戻る

役に立った情報は、特にどんなところがよかったですか？

その他 問4(2)に戻る

- 私たちの認識の甘さ、知識のなさがよくわかりました。
- 冷静な情報だから
- 便利。時を選ばない。
- ニュースを見る為、勝手に目に入って来た。
- なんとなく政策よりでかくしているような気がした。
- 何回か見ているうちにわかってきた。
- 特におぼえていない
- どうにもならないことばかりだ
- 東京新聞の記事をスクラップを続けている
- テレビのニュースで見ただけ
- 総合的だった
- 信用できない。政府と東京電力は事実を隠していると思う。
- 情報量が多く早かった。真偽がはっきりしないものも多いが、それも含めて自分で判断できた
- 事故現場よりかなり距離があるので、上記のような情報で充分と思った
- 時系列分析
- 時間がなくその時間帯でやっているテレビしか見れなかった
- 様々な情報が手に入る
- 公共機関によるもの
- 現実をありのままだった。
- くわしい説明とはほど遠い
- 極論と一般論を冷静に判断できる点

問4(2)に戻る

放射線の影響や対策を知る上で、特に信頼している人や機関・団体などがあれば、具体的な名前をお聞かせください。

情報源として信頼できる人や団体 問4(3)に戻る

()内の数値は指摘数で、無いものは指摘数1。肩書等はそのような記入があったものか、特にわかりにくい場合に付した。順不同。敬称略。

- 池上彰(14)
- 武田邦彦(13)
- NHK(NHK(5)、ニュース(2)、ニュース解説員、スクヤスター、大越健介キャスター(2)、水野倫之解説員、NHK 原発関連の取材チーム)
- 小出裕章(京都大学)(10)
- 生活クラブ生協(5)
- 児玉龍彦(東京大学)(6)
- 広瀬隆(3)
- 上杉隆(2)
- 大前建一(2)
- 木村太郎(2)
- 日本共産党(2)
- 辛坊次郎
- 神保哲生
- 矢ヶ崎克馬(琉球大学)
- 勝谷誠彦
- 柏市役所
- 岡野眞治
- 野口邦和
- 木村真三
- 枝野幸男
- 鎌田実(医師)
- 田原総一郎
- 北野たけし
- 津田大介(ジャーナリスト)
- 千坂治夫
- 田中優
- きくちゆみ
- 田中俊一
- 村尾信尚(ニュース ZERO)
- 小出裕章
- 柳澤桂子
- 玉川徹(テレビ朝日「そもそも総研」)
- 古賀茂明さん
- 国谷裕子
- 山口なつお

- 船井幸雄
- 飯山一郎
- 早川由紀夫
- 安斉育郎
- 山崎氏
- 安藤優子
- 古館伊知郎（ニュースキャスター）
- テレビ、内田氏の解説
- 東城百合子（あなたと健康社）
- ドキュメンタリー『チェルノブイリハート』のマリアン・デレオ
- モーニングバードの玉井氏が面接した方
- あさイチに出演している方々
- みのもんたの朝ズバ！の出演者
- 週間金曜日（雑誌）
- 「世界」など岩波書店
- カレイドスコープ（ブログ）
- OKFOOD（ブログ）
- どこにも属していないフリーの記者さん達
- 東大、京大、理大教授
- 科学者（名前不明）
- IAEA
- 放射線医学総合研究所のインターネット
- 医学会ホームページ
- 日本核医学会ホームページ
- 原発を知る会
- 電磁波問題全国ネットワーク
- 東京生協
- 生協
- ホメオパシージャパン
- FOOCOM.NET
- 公明党
- 有識者（近隣の方）
- 東工大の知人
- 放射線主任者の友人
- 原子力発電所に務めている人に放射線の対策影響をきく。
- 町田市議会議員の吉田さん
- きのご組組長など
- 原発は、安全であると言わない人
- 基本的には誰も 100 % 信頼はできない
- 特に無し、一人だけを信じるのは危険と考える
- 東京電力、原子力安全保安院、原子村、通産省文科省全部グルだ！

問 4 (3) に戻る

信頼できる人や団体は、どこが信頼できますか？

その他 問4(3)に戻る

- 冷静
- 発生をとめなければ何をしてもだめ！
- 難しい話をわかりやすく伝えてくれるので。
- 独立性
- 特に信頼できる情報はない
- 東電や政府以外に詳しくわかりやすい情報を得られ、簡単に情報を得られるのはテレビでしかないから。
- 全面的には信頼できない。
- 責任感
- 正確さ
- 真実の追求姿勢、公平性。人格、人命の尊重。
- 国に NO と言える人
- 現場での真険な実践力
- 原子力への考え方、属する組織
- 経験則が無いのに推定している 信頼性低い
- 科学は政治に左右されることはあってはならないということを上記のかたがたより学んだ。
- ほとんどの食品を生活クラブから二十年以上購入しており食品について毎回放射線の検査結果が配布される
- ほかの人が言わないようなこともきちんと行ってあきらめず(タブーを恐れず)対象機関を追及するから
- 不安になるようなこともはっきり答えてくれ、他マスコミの様にスポンサーに配慮した都合の良い事ばかり言ってないと思えた
- 特に無し
- 地球規模で真の人間のあり方を考えている。それは未来のずっと続く子供たちへのメッセージであるようだ。
- 誰にでもわかりやすい話し方
- 即戦力・具体的
- 誠実さ
- 権力、東電等の企業に対するスタンス
- くだらない私評が入らないから
- かくし事をしないで本当の事を早くつたえてくれる団体がいい
- 以前から反原発の立場の人
- ある程度公平な立場から書いているように思った

問4(3)に戻る

問5(1)～(8)以外で、放射線の影響や対策について知る上で、是非とも欲しい情報なのに、結局よくわからずに、不満に思っていることがあったら教えてください

その他 問5(9)に戻る

- わかりやすく理解出来るような表現、データ
- リアルタイムでの正しい情報。後出しで実はこうだったとか言われても困る。
- 予想も出来ない隕石の衝突による原発事故まではいいとして、せめて15m～20mの大津波や北朝鮮のミサイル攻撃・暴発による原発事故ぐらいは想定して、原発コストはどのくらいになるのか知りたい。
- 幼稚園などでの砂遊びをさせているが、正直砂の中に放射能がまざっているのではないのか心配。
- 用語や単位が専門的過ぎて難しい。ニュース、テレビでやっていた東京電力の説明もわからなかった。スーパーや食品を扱っている店での買い物で出ている商品は大丈夫であってほしいが、少し心配もある。それは食品に安全マーク(放射線検査の)がない!
- 野菜などの放射線量をスーパーなどで表示してほしい
- 水について何度か、放射性物質が検出されたと出たが、全く情報がない。検出されてないと信じているが、数値が低くなると、水もふくめて公表されなくなるのが不満です。
- マスコミや政府の発表は偏っているように感じるので、もっと中立的な立場の正確な情報が知りたい。
- マスコミのひどさ
- マスコミ各社でんで報道しているどれをなにを信用していいかわからない。統一した出所で(必ずしも公でなくても)正しい情報がほしい
- マスコミ、政府の発表が都合の良い一方の意見に片寄っている
- 本来避難しなければいけない地域はもっと広いのではないか。パニックにならないように局地的にしているのかではないか
- 本当はどのくらいの量の放射線が放出されて、どのくらいの影響があるのか、正直に教えていただきたい。
- 本当の情報か隠されて信用できない。真実をすべて明らかにして欲しい。
- 本当に信用できるかどうか、判断する方法と基準
- ホットスポットの全国地図
- 欲しい情報は無い
- 放射能の影響が、人体にどれだけあるのか?何かと安全ですと言いますが、真実を伝えてほしい。
- 放射線量の制限を行ってる国の政策などを取り上げて比較して早く対策をまとめるべきだと思う。制限値の理由が欲しい。
- 放射線量の食品を食べ合わせた場合の被ばく量について
- 放射線量が高い値が出た場合の対処方法および処理方法
- 放射線の身体への影響を原発に限らず、もっと広くまとめた情報(レントゲン、理系学生が実験などであびる量、地下にうめられていた放射性物質の影響など)
- 放射線の影響は自然界にも存在しているにも関わらず、その情報を公表することなく、実際の影響よりも誇張して報道されていた点
- 放射線の影響が本当にあるのか、あるのならどうなるのか、チェルノブイリの実態を見れば分かるはずなのに、ほとんどテレビでは出ない。政府・東電がからむ情報は必要ない。
- 放射線、放射性物質、放射能は学習して区別しなければならない。混同しないように、自然、人工、化学反応、毒性を見極めることが肝要。
- ベクレルとジーベルト数値から今後も平行的に出るとすれば、それぞれに直す方程式がほしい。

- 不満多い、理由 = 正確な基準がわからない
- 福島第一原発のメルトダウンについて、ど 進行し鋼鉄容器 ~ 床セメントを貫通しているのかどうか？ 観察（確定）のしようがないのかどうか？ 明確な確認方法がないのか？
- 福島第一原発でメルトスルーが起きて、地下水に到達すると、海に放射性物質が拡散する可能性があり、国際的にも相当な問題になりうる。それにも関わらず、その状況を包み隠し、冷温停止したと意味のない宣伝で処理が進捗しているように見せていること。
- 福井県原発で事故があったとき周辺の放射線量が報道されないこと
- 風評被害で買えなくなっている食物（野菜、肉類含む）の放射線量を毎日計測し TV、インターネットで公表して欲しい。
- 不安をあおるような報道が多く、論理的な、冷静な統一された情報がない気がする。
- 不安をあおるような事ばかりで、どう対応したら良いのか？ とにかく不安をあおらないでほしい。
- 被爆量と身体への影響との数量的な相関。
- 被爆量が健康に与える影響の統計値
- 被ばく線量はトータルでの話かと思っている。一時被ばくの量は参考程度ではないか、よくわからない。本当のことを言えば、パニックになるので、規制されているのではないか。
- 乳幼児の健康に関する情報。成人後を含めた。
- 日本は唯一の被爆国。単なる被曝にあらず。研究の蓄積は世界一の筈。データの対比を何故示さないのか。低放射線量は、むしろ健康に良い、という研究者もいる。
- 日常生活の中で、「これは絶対にしてはいけない」ことがわからないので、対応のしようがなく、他人事になってしまう。
- 何が正しいのかわからない。
- 内部被ばくでどのような病気が発生するのか。
- どこを信用すれば良いかわからない。
- どの情報が本当に信頼できるのか、その信頼度が知りたい！
- どの機関、誰が発信しているかで内容（判断）が異なり、何を信じるかは自分次第になっている。
- 東電や政府の発表自体信用していない
- 東電ほか各電力会社の企業コンプライアンス
- 東電、原子力安全委員会などあてにできない。
- 東京電力はガイガーカウンターを各個人に配布すべき。
- 東京電力の情報の出し方
- ドイツの国としての基準とドイツ放射線防護協会の出している基準値との関係
- 低線量の人体への影響。自然放射線による高い地域、低い地域での人体に対する影響
- 通常との差
- 千葉県北西部のここ柏市まで高濃度の汚染焼却灰（4, 5月ごろから）ホットスポット（11月？）が出るとは、それこそ予想外だったが、こうなっても今までの生活態度でいいのかどうか。つまり事故発生以来、妻と「子のいる家庭ならともかく、われわれ老人はこの先何十年も生きるわけでもなし、普通に食べ、普通に生活しよう」ということできたが、市が「年間1ミリシーベルト以上は汚染」と言い出し、このような生活態度でいいのかと思いついて始めている。
- チェルノブイリなどのことを考えると、どこが安全とはいえないと考えている。廃炉しても40年は変わらないはず。
- 正しい意見を持った人（学者など）を政府が正しく理解して企業の損得に振り回されないように！
- 第一原発からの放射性物質の放出はいつになったら完全に止められるのか？

- そもそもそういった情報が将来くつがえされ、長い目で見たら「まちがっていたものであった」と言われないだろうかという不安がある。
- 専門の先生により発言が うことに考えさせられる！
- 専門の言葉の解説の説明文
- 専門家の意見もマチマチで何を信じてよいかわからず基準があいまいで、数値がブレる。結局自分で判断するしかない。
- 専門家の云うことが人によってちがうこと、だから、だれの云う事が正しいかわからない。
- 専門家といわれる人の知識（真実情報）のなさ、どこからの圧力が金か保身かはわからないが、公平性にかける言論、非的確情報
- 専門家、政府、電力会社の3者の意見が食い違っている。
- 全食品の放射線量の測定結果の表示のないことに、非常に不満を感じています。また、天気予報の時に、放射能拡散予報（注意報）を流さないことに不満があります。国として責任を持って情報を提供すべきと考えます。
- 全国的にどの程度放射能が拡散しているのかを示すでデータが示されていない。・先日(12/16)の「冷温停止状態宣言」の日、「事故後1週間のうちに大半の放射能は出てしまっているので危険は去っている。放射線量はその時期に比べ現在は1300万分の1になっている」という説明を2回聞いた（それぞれ別の学者。うち1人は大前研一氏）。だとすれば、最初の1週間でどれだけの汚染（量、濃度、範囲）があったのか、がどこからも説明が無い。
- 説明をいただいても、信頼できない。確実な情報がほしい。
- セシウムだけでなく、その他の例えばストロンチウムや海洋汚染の情報
- 政府や電力会社は信用出来ない。情報が錯綜しすぎて全く解らない。今迄の生活でも放射線はあるのに、何がどうなのか？
- 政府も専門家の話も信じていない。その上住んでいる地域が放射線の脅威を感じるほどではないと思います。
- 政府は本当の事を発表しない。
- 政府の無力。メディアでさまざまな学者の方で出てくるが、だいたいの判断は出来るが、専門がこまかく分かれているからということもあるだろうが、聞くだけ不安は増す。
- 政府の発表は後手後手だし、基準もあてにならない。ロシアの基準など海外の情報が知りたい。
- 政府の出す情報や専門化の発信することはすべて信用できない。情報のコントロールがあり正確なものは海外のものの方がよいため
- 政府の対応もよくわからないし（意味不明）東電も何だかんだと言いながらハッキリ言わないし良くないと思う。
- 政府の信がない東電も
- 政府のこともどの程度信じてよいのかわからない。
- 政府が信用できません。特に被災者に対して、国民に対して、特に福島県民に対して今後の原発対策等丁寧に説明してください。
- 政府及びマスコミ（大手）がとても本当のことを伝えていてと思えません。
- 政府及び東電は全く信用していないので、情報が出て来ても信頼は大いに疑問。
- 政府、東電からの情報はまったく信用おけない上、それをただ垂れ流すだけのマスコミもいらない！
- 政府、国の情報の隠ぺい
- 正確なデータが必要。一般論ではなんとでもいえる。信頼できるデータでパンフレットを使ってもらいたい。

- 正確な情報。
- 全てに対して、放射能が出た場所だけ大きく取り上げすぎる
- すでにバラまいてしまったのですからもう何を聞いてもおそいのではないかと思います
- スーパーに並んでいる食品が、きちんと検査されて、OK とされて出ているものなのかどうかを知りたい。流通している食品（粉ミルク etc.）から、検出された、などのニュースを聞くと、やはり、日々の買い物の際に、悩んでしまう為。
- スーパー等で購入する食品の安全性がどうやって担保されているか？ についての情報
- 数値が高いと分っても、実際に何が出来るか？ 家庭が個人負担する「かかる費用」も比較できるような情報がほしい。
- 水素爆発後、どのくらい空間放出されたか、正確に汚染地域地図を示して欲しい。3月11日以前の生活には戻れないのだから、正直に本当のことを東電、国、マスコミにも報道してもらいたい。
- 信頼性
- 除染作業を安心してお願いできる業者さんの案内。今のところ、どこに依頼したらよいかわからない。きちんとした作業ができる設定（優良だという）を受けている業者さんありますか？
- 食品の汚染状況について。
- 食品に安全だから販売していますという理由ではなく、放射線量を明記してほしい。原発の近くのものには手が出ません。特に福島茨城山については買えません。
- 食品というわけではないのですが、福島事故当初、米 Bloomberg のニュースをインターネットで見ましたが、情報が混乱していた。確か米側のレポーターが（放射能について）「日本の発表した数値を我々が評価すると、致死量になる」と言っていた。何かの間違いだったのだろうが、外国への正確なメッセージの発信はされていなかったと思う。
- 食品だけでなく、影響を受けている地域のオンタイムの情報が少なすぎる。モニタリング、検査している場所の数や数値が大雑把すぎる。
- 情報が交錯しており、統一性がない
- 情報があっても答えがない
- 浄水場はどのような処置をとっているのか全く不明。最近消毒臭がつよくなっている
- 自分の所で作っている作物がどの程度汚染されているか否か市役所などで積極的に調査すべきと思いますが？
- 自分で調べるので必要ない
- 自分達で自ら放射能の値が測れる機器があればいいと思います。（家庭菜園の野菜はだいじょうぶなのか？不安です）
- 自燃界の数値、放射線種類 詳細
- 市内、町内の綿密な線量マップがほしい。
- 市町村ごとに放射線を検出できる体制を早急に設置を望む。いつ原発事故が起きてても対応できるように。
- 市場を通さない野菜（自家産や地域販売所）又、落葉や伐採した木など普段はエコと思い肥料などにしています。神奈川県ですが、どの範囲まで気をつけなければいけないのか。良い事が悪い事になってしまつてとまどっています。
- 事故原発近海の海水の放射線の情報が少ない
- 時間とともに内容や影響が変化していく
- 残土最終処分場はどこか？新しい処分場でもつくり処分する。
- 今後どれだけ被ばくする可能性があるのかを知りたい。

- 米、お茶など放射線基準値超えで出荷停止された食品の処理の実態
- ごみの焼却灰は本当に危険なのか？
- このような災害があったので、急に放射線に対して感心を持ったのであり、普段から、微量の値の放射能はあびているし、あまりにもマスコミにより必要以上に神経質になりすぎていると思う。このことにより風評被害にあった農家や主産地の人が気の毒である。
- 子供への影響、結局病気になっても証明が難しく保障してもらえないのだろうか
- 子どもに対することが結局あいまい。どこまで危険なのか本当に安全なのか。ポーンホールディングできるところが限られている。遠くに避難したいが、事故時その場所にいたのは確かなのに調べてもらえない
- 公的発表の情報の信用度
- 校庭の使用基準など二転三転し、政府の基準は当てにならない。食品については言わずもがなである。
- 原発を完全に中止して電力が足りるのかどうか。本当のところどうなのか
- 原発のもたらす放射線の恐ろしさについて本当のことは知らされていないと感じる。
- 原発の事故がある終わるのか、その現状
- 原発事故後の発ガン率を年齢別地域別、ガンの種類別に・原因不明の全身症状（ブラブラ病のような）に統計を 原発事故前のデータと比較できるもの。
- 現政府（民主）の指示で作成された刊行物、TV 報道等のもの（枝野ニタダチニジンタイニエイキョウガショウジルモノデハナイ！！）
- 健康に影響を与える放射線量の水準の妥当性に不信。せき髄周辺部に蓄積されると、血液生成部位に放射しつづけると聞いたことがあり、微量でも遺伝子に欠損を生じる可能性があるのでは？
- 結果報告でなく、事前に知れることや将来の可能性をきちんと知りたい。今後子供たちがどの程度被ばくし、どのような病気の可能性がどの程度増加するのかなど、きちんとした%などを知りたい
- くわしい情報がない。
- 国の行動と説明。専門の先生なのに意見が分かれているところ
- 国の言うことは圧力がかかっているのか、どうもあてにならない。それよりも日本人が個々に自由に活躍している海外在住の人や、また日本にいながら例えば自然エネルギーの研究をしている某有名な先生等、個人の方が発信力が強く信頼できる。政府が言わないことを全て言っている。
- 具体的に人体に関わる影響を確実に安心できるものがない。対策も後手後手で放射能の実態がわからないのと同じである。無知ではなく、研究者自体これからの研究であろうと。
- 空気中の放射能の散布状況
- 着る洋服、マスクして防げるのか。海の食品は大丈夫なのか
- 距離に関係なくピンポイントで被ばく量が多い地域についての情報
- 距離が離れていても放射線が出ているニュースが飛び込んでくる。住んでいる近くではないが今後安心できるか。継続して安心できるまで継続的に伝えてほしい（結果を知りたい）
- 基盤として信用がないのですべての情報を当てにはいけない
- 基準の正当性がわからない。
- 関西に住んでいるので関心は薄い
- 過剰反応が大事である！
- 過去のデータ（ 事故や検査などの ）に基づいた放射線の量に対する人体の影響をデータとして知りたい。それに対しての知識人の見解は人によってまちまちで、正しいかどうかわからないし、データだけ欲しい。
- 加工品の放射性物質の数値を知りたいです

- 各食品の測定値、各企業の検査有無や放射能対策基準
- 海岸汚染。特に魚介類への影響。それを食べた場合の問題。
- 海への影響（魚介類は安全なのか）
- 海の汚染地図
- ウクライナの現状について解説したもの 原発がこれ以上に最悪になった場合のシミュレーション プルトニウム、ストロンチウムの拡散状況
- 上にはあるが、(4) はデータがあまりないので確証的に言えないと思う。それを確実にこうだ、安全だと言うのは妥当ではないと思う。
- インターネットで少なくとも48時間の科学の講座を提供すること
- 医療上の放射線の影響
- 今、市場に出回っている食品は、普通に食べていても大丈夫なのですか？風評の根拠がわかりません。
- いつもとの生活に戻れるのか
- 1日の被曝量から検出される年間被曝量がわかりません。
- 以前あった外国の事故をもっとしらせて下さい。又、どんな影響があったか
- いずれもすでに新聞などに記事となっているように思います。
- 家の廻りの放射線量など、きわめて個別的なこと。市内でも測定場所は何箇所か限定的である。
- 安全値、数字の変更
- 安全(?)基準
- 赤ちゃん用のシルク、ベビーフード、飲料などの検査結果
- NHKが毎日18時台の天気予報の直前に流す関東地方1都6県で測定された放射線量について、場所を決めた理由およびその数値のもつ意味をまったく説明しないこと！
- 3月11日の事故そのものがいまだ解決されていません。(経過と今、内部の状況が公の報道もない。)そのうえ、余分なことですが、北海道電力、九州電力の知事まで疑われた”やらせ”問題、ゼーんぶ裏がある、信じてよいものかと思いはじめるとすべてあてになりません。チェルノブイリの事故で死亡された消防士の妻が著した”本”を入手する予定です。この内容こそ事実と思えるからです。
- 冷温停止とは何のことかわからない。冷温とは100以下のことだと聞いたが、100とは熱湯のことではないか。国民をだます専門用語はやめてほしい。
- 1つ1つの食品や水などは安全基準を満たしているものであってもそれら全てを体に取り込んだ時の影響がわからず不安。
- 12月16日に発表された冷温停止について詳しく知る必要性を感じるが報道に疑問を感じる部分があるので何が正確な情報が分からない、
- 1~8まですべてぜひほしいが不可能と思われる。少なくとも(8)は公の情報として広く開示されるべきである。
- ・福島第1原発の崩壊度・危険度。・政府が発信する情報そのもの。
- (国)マスコミや専門家が述べているこの数値では”人体に影響はない”という言葉が信用できないので、(安全基準があやふやなイメージ、本当に大丈夫なのかという不安)それを取り除けるくらい信頼できる資料や説明が必要だと思う。

問5(9)に戻る

福島第一原発の事故以来、あなたやあなたの家族の食生活の安全を考える上で、最も気になった出来事やとられた政策などは何ですか。

気になった出来事・政策 問 8 に戻る

- 普通の生活をしてきた善良な人々が、このように被害者になり自分の家に帰れない、仕事なくなるなど、むごいです。絶対、国として、保障して、何においても、その人たちの平和をとりもどして欲しい。原子力にたよるのはやめて欲しい。もう、電気は、原子力以外の方向で進めなくてはいけない
- 初期の段階では含まれている放射性物質が基準値以下なので出荷されていた物が次の段階では基準が見直され出荷停止になっていました。生茶より荒茶の方が5倍の濃度で放射性物質を含むなどの例。初期の段階で判断された物は、結局市場に出回っているんだと思うと、売られているもの全てが安全とは言い切れないと思う。
- 私は宮城県南部の出身です。毎年、田舎から米や果物が送られてくるのですが、今年はそれらを食べてよいものかどうか迷いました。結局、宮城県のHPのデータを調べるなどして、食べています。故郷の食材に対してとても辛い、心苦しい思いです。東電や政府に怒りを覚えます。
- 私は一人暮らしで89歳ですが生活協同組合パルシステム東京で食事材料をもって届けてもらって暮らしております。東京多摩地区で放射線の心配はないと思いますが老化や認知症への関係はどんなものでしょうか。
- 私はテレビのニュースを見ずに、新聞を読むようにしています。心が痛みますし、福島の人々が安心して暮らせるように日々祈っています。私は今福島産の野菜、米を利用していますがとてもおいしいです。私が買うものなどはさやかな物ですが、政府のパフォーマンス政治より現実的だと思っています。私の身の周囲にも多くの人たちが福島の人々を心から応援しています。
- 私の今いる所は放射線があまり影響ないのではと思われる地域ですが、現実に福島県周辺の方の意見を多く取ってほしいと思います。日本は原発の国で(いつの間にかあんなに沢山!!)又、事故が起きた場合日本のどこにいても逃げ場はありません。又、政府の発表も信じられない事が多い(かくしてる)ので、...あとから真実がでてくる。牛乳や乳製品、鶏肉、豚肉等は・・・?牛の事ばかりで...
- 我が家は老人所得なので自分たちの食生活の安全を考えるとときに放射性物質の影響はいくつもある安全を確保するための障害の一つでしかないと考えています。ただ50年後100年後の世界に対してどんな影響があるのか全く予想がつかずそういう意味では不安感があります。「人間が制御できないものには手を出さない」「自然の力を最大限利用させていただける範囲で暮らす」そうした生活を目指して暮らしのあり方を見直していくことが必要になっていくと思います。
- より安全(と思われる)な水の確保のためミネラルウォーターの取り寄せと浄水、煮沸”
- 野菜など全く影響が無いわけではないので子供に食べさせるのが不安(将来)。でも野菜を食べないこともできず・・・。子供の将来の影響が不安”
- 野菜、お米の購入をやめる。
- もともと放射線はあるものなので、0にすることは不可能。食品が駄目と思うのであれば、そもそも作付けさせるべきではない。また、政策としてTPPへの参加もしやすくなったのではないかと。あまりにも政府の好きどころにしかさじ入れしていない。
- 最も気になるのは水です。最初は他県(関西)から送ってもらいましたが「焼け石に水」なので、このままやれるだけやろう!!と方針を変えざるを得ません。(その他もです)高 とはいえ、出来る限りの生き方を考えてみようと思っております。政府のデータは余り信用できませんが、信用するしかないのか...
- 最も気になったこと。セシウム半減期から30年。どうやってしのいでいけばいいのか、ということです。

- 申し訳ないが東北地方特に福島産のものは敬遠するようにしています。流通しているものは大丈夫とは思いますがどうしても他の産地のものを買ってしまいます。子供もいないのに本当に申し訳ないと思います。
- 申し訳ないが、北関東～東北のものは購入を控えている。支えあうことは大事だが、子供の健康に数十年後（日本の未来にもつながるでしょう）何か起きた時責任はどこにあるか、守られるのは親のみです。もしうちに子供がいなければ、大人だけ（老人含め）の家族なら福島産であろうと購入したと思います。どうしても子供は守らねば未来がなくなるでしょう。
- メディア、特にテレビは、己が風評被害の加害者だという自覚があるのか？不安をあおる映像と、ナレーション、愚かな私などは簡単に振り回されてしまう。勝手な解釈で誘導するのがそれほど楽しいのか？事実だけが知りたい。
- 明治の粉ミルクからセシウムが検出されたことは衝撃でした。最も注意を払うべき食品なのに……市場に出回っている食品は安心、などと政府は言っていましたが、何の根拠もないことがよくわかりました。政府の発表は何ひとつ信用できません。東北、関東の農家の方々には申し訳ありませんが、東日本産の食品の購入は今後も控えます。
- 明治製菓の粉ミルクにセシウム検出とありました。エアフィルターで外気からの混入とのこと。東電の水素爆発時に大気の大量の放射性物質が放出されたので既にみんなの体には入っている、今更じたばたしても意味がない。世田谷で放射線物質と騒いだが今回の原発事故と無関係だったということは知らぬが仏で今回のことがなければその場所を何事もなく利用していた訳だ。
- 宮城、福島、茨城を中心に周辺地域の食品をできるだけ買わない、食べない、飲まない。福島など原発廃止と補助金の廃止。政治家（中曽根など）自民党政治家および政府内閣の責任問題。電力独占の排除。
- 水を九州から取り寄せ、野菜をよく洗い、雨にぬれないようにし、2才の孫の将来を心配し、外遊びを禁止できず、いつも不安。離乳食も事故以前のものを購入しているが、限界。国は早くから危険について教えるべきだった。パニックになっても事実をもっと早く知っていれば、爆発以来外出を控えた。雨にもあたらなかった。国会議員の子弟は早くに外国に避難させたと聞いた。（枝野）他（有名人）自分たちのみ情報を知りえる立場を利用して憤りを隠せない。
- 水から放射性セシウムが検出されたと発表された時です。水が使用出来なくなったら”食”に限らず生活全てが不能になると思いい時はパニックになりました。政府は水の配給などしましたが結局つじつま合わせでもして終息させたのか・・・など疑問だったり矛盾だったり今現在でもどうなのか・・・と思っています。
- 水洗いや、皮を厚めにむく。7、なるべく子供には安全なものを食べさせたい。
- 水＝体に入る水、水道水をなるべく使わない。野菜、自分の畑で作る。
- 水、茶
- 水、食品の汚染についての情報が正確でなく不安と恐怖を煽るだけで信頼を全く置けず隠すことばかりで情報を与えることにもっと早くしてほしかった。後からの情報は不信感を与えるだけで東北地方のものを買うようにしてテレビや新聞で奨励するようなことばかりいっていたがそれこそマインドコントロールであり、嫌気が差した。マスコミや情報媒体について広告代理店の利益誘導するようなものはまったくやめてほしい。消費者の立場に立ってやらないと大本営発表になってしまう。
- 水、米などの買い占め、在庫していない家庭が影響を受けた。
- まったく変わっていない。
- まず東京電力の対応（初期）そして原子力政策の国の姿勢に納得いかない。他県にまたがるおよぼす食料（野菜、その食品）心配等経済より安全にくらせるエネルギー政策、放射能に対する国民のアレルギー、でも原発を他国に売る政治、いやになった。昔の日本になって欲しい。安心して食べられる食料

品のテーブルに付きたい。

- マスコミの報道が過剰。放射線に対する知識の乏しいコメンテーターがやたらと「心配だ、心配だ」といって不安をあおっている気がする。
- マスコミの過剰な報道。最悪は NHK。事故以降のニュースのトップは何が何でも原発一色。こんな事をしていれば、見ている人に不安感を大きくさせるだけ。最底の TV 局。無策無能の政府にもうんざり。ついでに、こんなアンケートに使う金があるなら、被災者へ回せばいい。チェルノブイリ周辺がどうなっているか、調べてご覧なさい。今の日本のバカ騒ぎがはずかしくなりますよ。(赤の森は今では野生(生物)の天国)
- 本当の情報を早く、正確に伝えてほしい。1日でも早く、放射線が出ないように、してほしい。除染をしっかりと、安心できる生活つまり3/11以前のくらしにもどりたい。
- 本当に許せません。日本はなぜ原発に頼ってしまったのか? 電気料金には原発の原価以外にもいろいろな金額がのっています。原発促進の資料、原発がある市への助成金、これはコスト換算されていないのに原発は安い安全だと。許せません。何故私たちがリスクを負わなければならないのでしょうか。多少高くなっても原発のない安全な未来を子供たちへ託してあげたい。この先絶対に大規模な地震が来ないといえますか? 日本の美しい土地を汚し子供たちの未来を不安にさせる原発が許せません。どうか子供を持つ親の声を世界の皆様、政府に、東電に伝えてください。
- 本当に大事なことを知るのはむずかしい。事が起きてしばらくして本当の事を知っても遅く、なすすべがない。何が本当で、何を信じていいのかは自分で決めないといけない。政府や報道も国民のことより別の方向を見ている気がして信頼できない。
- ホットスポットが東京や神奈川でもみつまっている。正直、関東地区でも、米や、農産物には不安がある。また一度安全宣言された地区の米や茶に、基準値を超える放射線量が検出されたニュースは不安に感じた。
- 他の原子力発電所の安全も確かめないで動かしていたりして、本当に安全なのかよくわからなくなってしまった。静岡でもし大地震が起きたら、大津波がきてたら堤防もないのにどうして安全と言えてたのだろうか。不思議でならない。
- 報道が過激になりすぎており、どの情報が正しいものであるのか判断できないこと
- 放射能の影響の出ない国づくりを期待する!
- 放射線一空間と食品と水・事故後、初動で全く状況を東電、政府が把握していなかったこと、把握しても適切な行動をしていなかったこと。大事故がおきるとは全く考えられない人間が東電、政府、官僚でほとんどであったこと。
- 放射線は目に見えないものであるため「汚染」だとか「基準値を超えた」と言われても漠然としておりその漠然さから逆に恐怖を生んだこともあった。例えば食品だったりする場合は過敏な人間は被災地あるいは外で育てるものを避けたりすることで何とかなることもあるだろうが、一時「水」の問題が起き、私の周りでも水の買い占めがおこった。水だけは人が生きてゆくために避けては通れないために田舎から送ってもらおうと思ったがそれも買い占めの一つなのだろうと思ってやめた。今 TV では食の安全として主に野菜などの放射線の話は出るが水はどうなっているのだろうか。それが最も気になることである。
- 放射線の影響の範囲の不正確な政府の発表、基準値の設定方法、「ただちに影響がない」という言い方。学者たちの無責任な意見。東京電力の不誠実な態度、対応。それらが続く中で、すべてが信じがたく、嘘っぽく、裏があるように思えてなりません。
- 放射線の影響のないところに引っ越すにしてもその後の生活が心配になる。現在放射線の影響を受けてもその影響が何年後か後に体に出てくるかもしれないしそのときまで生きているかもわからない

い。原発。近くで生活するのであれば心配ではあるが、距離が離れ、原発以外でも放射線を浴びている状態であるので現在の生活地での生活は変化しない。

- 放射線の影響について、高い数値が出た工地についてのニュースや放射線量の測定器を購入した人が多くいた事などが気になった。自分では家庭菜園していないが、影響は気になると思う。できれば、本当に体に対する影響が出る数値量の最低量～を知ることができるとおもしろい。
- 放射線の影響がどのくらいでてるかわからず、汚染の』状態も確認しきれないのに、農作物をつくるのを止めなかった。漁業再開を黙認したのがゆるせない。結局、検出されて出荷できないなど、現地の人もバカにしている。NHKのあさイチで専門家の方が、生体濃縮をするので、魚などは今年の冬は気をつけたほうが良い、と言っていたけど、普通に出回っている。規制をかけるべきでは？
- 放射線の影響が、心配でないかといわれれば、どんな影響が出るか分からないという点で、心配はあります。が、あまり過敏に反応しても、どうなるものでもないし、気にしすぎて、そのストレスの方が、体に悪そうな気がします。私自身は、将来、おこるかまされない放射能による病に対して、年令のこともあり、なるようにしかならないという思いでいます。ただ、妊娠中の方や、幼子をかかえた方のことを思うと、さぞかし心配でしょうし、さまざまな情報が流れる中で、何を信じていいのか迷っていることでしょう。何と、生きにくい世の中なのかと、赤ん坊の笑顔をえがいては、ため息の出る思いです。若いおかあさんが、デマや、片よった情報にまどわらないですむような、うそのないメディアであってほしいです。間違っても、センセーショナルに、騒いだり、あおったりと言う事だけはしないでほしい。そのためにも、政、官、財で、正しい情報の発表をしてほしいと思っています。
- 放射線に対する情報の説明不足
- 放射線に対して過敏になりすぎだと思う。人間が起こした問題なので放射線の影響を受けても仕方がない。自分で自分に火をつけて騒いでいるような感じがある。
- 放射線が検出された米は購入しないこととした。
- 放射性物質を海に流出させた事により、少なくとも太平洋側の海産物を今後摂取する気がなくなりました。
- 米国在住の孫達（4才、11才）の夏休みの来日を本年は取り止めた。
- 福島や隣県産の野菜等を買わない
- 福島の農・畜産物を生産されていた方は大変お気のどくだと思うが、いまだに検査済であっても買いたいという気にはなれない。やはりできるだけ安全な食物を摂りたい。少しでも遠くで生産されたもの（九州や関西方面）をとと思うが、買いに行っても地理的に、輸送費などの問題もあるのか、あまり入っていない。そのために、大手食料品店や、デパ地下など、各地のものが入っている所にも出かけている。少し高くはなるが仕方がない。政府や東電関係者には多くの移住をよぎなくさせられた人のみならず、本当の市井の人々がどれだけ心をいためているか、本当にをかつているのかと思う。
- 福島の卵も食べたし、別に考えてない。
- 福島の食品は出来るだけ買う様にしています。
- 福島で薬品が製造されている工場がたくさんあって、その工場がストップしたので、個人の薬が足りなくて回らなくなった。また、薬品を貯蔵している工場も水浸しでダメになったので、生産が追い付かなくてさらに供給ができなくなっていた。それで、とても困った。
野菜や肉などの放射線検査をもっと早くにすべきだったと思う。
原発現場で働いている人達と政府の人達との情報交換ができていなかったために被害が拡大した人工的な災害だと聞いて、管理体制に不安を感じた。
- 福島第一原発の事故以前でも、産地を見て、食品添加物を見て、できる丈完全な食品を得ていました産地を見て購入する姿勢は変わらず、今では、東北産は買わない様になりました。産地の方々には申し

訳なく、市場に出ているから大丈夫だろうと、時々買っています。でも、今は影響が表われなくても悪い影響は子孫に出て来ると思います。原発の事故を考える時、人間の手で作ったものが、どうして人間の手で収束できないのだろうと、もどかしく思います

- 福島産は買わない。岩手・茨城産は考てから買う。特に海産物
- 福島産の玄米を進んで食べています。国民の一人ですので、福島の力に少しでもなりたいと考えています。
- 福島原発の事故時は現在住んでいる所から遠いのでさほど心配していませんでしたが、静岡のお茶から放射能が検出された事を聞いて心配した。お茶は毎日飲んでるので、なるべく九州産のを購入することにした。風、雨など事故直後は心配したが、現在は少しうすらいできている。
- 福島原発近くの食品野菜等は購入を控えている
- 福島県産の食料品は買わないようにしている。政府、東電の発表は信じていない。信頼できるデータの発表は、どこが責任もってできるのか？
- 夫婦2人暮らしなので気にしていないし、東北地方のお米などがこれまでより低い値段で売られていれば応援の意味もこめて買うようにしている。子供がいればまだ反応は違ったかもしれないけど報道が過剰すぎると感じることもあるしそれを理由に引越したりする人の話を聞くと信じられないと思う。(被災したかたがたでとどまらなければならない事情の人もいるのに) 今後風評被害や差別的なものが続かないことを祈っています。
- 風評被害は、くだらないと思った。
- 風評被害という便利な言葉。数か月後に真実を少しずつ小出しにする政府の言う事は、ほとんど信用できない。関東に住んでいると余裕のある世帯以外、スーパーで売られているものの産地はほとんど関東以北。避けようと思ってもできないのが現実。マヒして慣れるのに政府も待っているだろう。東北の産地の人のが可哀想なら政府が買い上げるべき。結局ここでもお金のあるなしでリスクを背負う大きさが分かれるのだろう。今後結婚差別とか出てくるのでは？
- 人が幾ら何年で人体に影響(体のどこの部分)にどのような変化があるのか、何も想像だけで適当に発表されているとしか思えない。ただ危険を増加しているのみ。信頼できない。原子炉を作る場所、原子の怖さも研究不十分で文明文化、利益等のみで政策が動いている。
- 被災地の方々に対して、十分な補償が行われてないこと。東電の査定が自らに甘く、被災者に対してはつらく、値切ろうとしていること。また、原発の発電コストがこのように低く抑えられた事故報道により算定され、ほかの新エネルギーの開発が妨げられていること。
- 被災地瓦礫の拡散処理を始めとする、食品流通、食べて応援キャンペーン等の「薄めてバラまき」政策には怒りを覚えている。ウクライナでは放射能の封じ込めを積極的に行っていたが、日本では逆で、日本人を殺しても平気な人達、それよりも保身が大事な人達なんだと思う。自分達は大丈夫という確信でもあるのか、と違和感を感じている。同時に、福島県知事の被害者面もおかしいと思う。
- 離れているので地域の会 を求めています。
- 飲み水だけは心配したが大丈夫のようなので心配しておりません。
- 農産物を食べて応援しようというキャンペーンは国民を馬鹿にしているとしか思えない。汚染されていたであろうものを食べることがなぜ応援することになるのか。政府の感覚は麻痺している。
- 農産物の放射性物質検査。風評被害も含めて農家が暮らせるだけの補償を何とかしてあげたい。
- 農産物自家、生もののみ購入
- 農産物及び海産物、農産物は野菜と茶(ハウス栽培を好む)海産物は回遊魚を好んでいる。貝類は近海物を避ける
- 農作物の出荷制限ですが、日々、そして各自治体の発表によって、それまでOKとされてきた物が、突

然出荷停止となってしまった。実際、福島県を助けるつもりで、買った米も、翌週に発表された放射線数値で、販売ストップになった。誰を何を信頼すれば良いのか、今回の事故で、より政府への不信感が高まった。放射線の年間数値も、子供と大人で別けられているが、具体的な年令や、その数値の根拠が国民に示されていない。もっと、情報を明確に開示して、我々がしなければならぬことなど、政府は国民に語るべきではないかと思う。

- 年齢により危険度を考えるべきだ。
- 年に何回かレントゲン・CTをとっているので心配している。
- 人間は食べ物をとらないと一週間くらいで危なくなる。金がかかりすぎる電力消費と引き換えに原発を動かす危険を考えると絶対原発をやめるべきだ。
- 乳児用粉ミルクから放射能が検出されたこと及び各地の茶葉から放射能が検出されたことが印象に残った。生産者のリスク管理が低すぎる。
- 乳児と子供がいたので、飲み水は半年くらい買って、ミルクと食事のときのむようにしていた。
- 乳児がいるので気にはしているが、一般家庭の場合、色々なことに限界がある。さまざまな情報が入ってくるので、どこまで気を付けたら良いかわからない。テレビでの情報は信じないほうがよいという意見を、子供を持つ母親の間で話題になっている。
- 乳児がいてミルクを作る為水を必死に探し回った。水も硬度 30 mg 以上だと下痢をしてしまうので大変だった。野菜をよく洗ったりと料理する時間が長くなり負担が増えた。
- 日本列島は、全体が古来から地震国と言われている。今、振り返ってみるに、今回の東北地方の大地震をきくについて、まだまだ考え方、心得、対策 等などまだまだ甘いと思う。常々最悪の場合はどうあるべきかどうすべきかを頭に入れ、特に学校でもきびしく学んでほしい。勿論大人、高齢者も共々事前の対策、法等を吸収、学習、年に一回は実践対処につとめるべきではないか。
- 日本はかびんすぎる！！国民も！！
- 日本にいる限りどこへ行っても大差ないと考えています。成人独立した子供たちに海外へのシフトも真剣に考えるよう話しています。ただ放射能以外のリスクもあるのでいまだに結論は出ていません。
- 日本では原発事故はキケンすぎます
- 日本全体の問題なのだからもっと徹底的に調査して情報の公開をしてほしい。ニュースやテレビでももっとやるべきです。原発に対しても私は以前は図化しながら原発のことを理解していませんでした。どうしてこんなに危険なものが日本のあちこちにしかも海側に存在しているのか・・・私一人が責めても仕方ありませんがこういう事態は予測できなかったのか。。昔チェルノブイリの事故もあったのに。政府の対応や態度を見ていると腹立たしい一面もあります。これからどうなるのでしょうか。
- 肉類、卵類の産地表示は県別になっていない。「国産」だけではかえって不安。
- なるべく放射線に関係ない食品をさがしています。
- なるべく外食は控え産地のわかる食材で食事を用意。「国産」とかかかれていても具体的に県名を聞いたりわからなかったら買わない。娘が将来子供を産むような時、「あの時の影響があった・・・。」と言われるような事にならうようにしたい。
- なし
- ない。自分住居地大丈夫だと思っている。P5～P8までは全く信用していないし、どの情報も信じられないものがない！！と言うのは、どの学者、大学も反対グループ対立だけで、何も客観的なものがないと思っている。
- ない
- とりあえず水はためておく。とりあえず野菜は洗いおけに入れてよく洗う。とりあえず玄米、味噌、たくあんなどの漬物、海草を食べて便秘しないで解毒を促すようにする。とりあえず放射性物質の検出検

査のしてある野菜を主に食べるようにする。とりあえずがんにならないように食生活を考えすぎてストレスにならないようにする。

- 都の水道から放射性物質が検出されたこと。その時は直接飲む水はペットボトルの水を買った。
- とにかく正確か？わかりやすい情報を国民にあらゆるメディアを通じ、何度も何度も（日々情報は変化していますから）繰り返し開示していくべきでその情報を基に国民は行動を行うべきだと思います。
- とにかくいうことは、そういう事故は起こしてはいけないということであって、起こしてやいやいいうよりも絶対あってはならないことで、今更食生活、出来事、政策とうたっても全体的に無駄なことばかり。その費用のほう膨大であることが気になって仕方がないです。そういうことがあってはだめです。と私は思います。
- 年寄り夫婦 2 人の生活であるため特に何もしていない。ただ子供（若者への影響は心配）
- どこかの食品メーカー（きのこ）が「検査をしているから安心です」と TV の CM で流していたがその CM 自体が被災者に対しては失礼なことだと思いました
- 特になし、強いて言えば 1、スピーデーの解析結果の公表が遅れたこと。責任放棄。2、12月16日の首相の原発事故収束宣言 詭弁
- 特に無いです。逆に被災地の果物を購入したいと思い購入しています。一ぺんにたくさん食べる訳ではないですし……。場所が離れているので影響に関しては、あまり無いと考えています。近くだったら、いろいろ考えていると思います。（引越すとかも含めて。）
- 特に構えてはいない。普段通りの生活をしています。
- 特に海の問題。魚介類が困ります。お茶、米、等は、別な地方の産物を変えるが、但し、次のスキャンダルを見つめます。高級物ならどうでしょう。逆に、ひまわりの花は放射性物質をとる（すい込む）知らせがありました。今、具遺体的に何が実行されているか、又何故かについて、全く情報が手に来ません。事故の範囲は広く、状況は実際にチェルノビルよりまズくなつたため、この法方は無駄になり、何千年間で、絶望であるのではないかというふうに思われてしまいます。
- 特に飲料水（野菜など、米、果物、肉、魚、乳製品）から身体に入る放射性物質の量。特にまだ幼い孫たちに対してこれから何十年と生きていく上でいやおうなく取り入れられてしまうかもしれないから、成人になったときの影響は大丈夫かということ。
- 東北の野菜を買うのをためらった。同じものなら高くても、他の産地のにした。
- 東北（岩手宮城福島山形茨木栃木県）6 県の農林水産物（畜産も含む）の購入は避けるように考えた。
- 東電の無責任な態度まるで、他人事、制御出来無い装置を認可する政府と、その装置で利益を得る電力会社。余りにも非常識と思う。関係省庁の行動力の低さ、と追求力の低さが問題
- 東電の社長はどうして福島に行かないのか。
- 東電が汚染水を海洋投棄したこと！その以前から原子炉工学の研究をしている友人から魚介類と外食が最も危険と早い時期に言われていたので、もう海洋汚染は絶望的だと思いました。六ヶ所再処理場の排水も太平洋沖に流せば薄まって問題ないと言っていた人がいましたが、それと同じ考えのもとに平気で投棄してしまうアホさに怒りを覚えました。災害がれきの広域処理を決め、8月に基準を 100Bq/8000Bq/kg に。その後 10 万 Bq まで OK になってしまった。まず放射性物質の付着したガレキを焼却することは、放射能を大気中に再放出することであり、いくらバグフィルター設置なら 99.9%除去できるとも言うが、本来バグフィルターは放射性物質対応ではないうえに、飛灰、主灰は放射性物質が濃縮されるため、その灰の処分、管理は更なる被ばくと汚染拡大を引きおこすと考えられます。本当に考えに反対しても、同じ市民にも、理解してもらえず、行政担当者にも聞く耳がなく、憤りを感じています。
- 当地区は福島よりかなり遠くにあるため地区の食物に対し不安はないが役所などで月に二回位は放射能

の検査をするべきと思う 今迄一度も検査した様子がありません

- 当初は水の汚染が心配で、近くの孫のいる家庭に購入した水を送ったりした。今はセシウムが取り沙汰されているが、これは食品に含まれていれば取り除くことができず、しかも長期間体に入ってくることを覚悟しなければならない。低農薬・有機の野菜を心がけてきたのにダイナシである。危険の指摘を無視して進めてきた行政の原発政策は許せない。
- 東京の水道の放射線量が一時的に上がってしまったこと。
- 東京の水道で放射線物質が検出されたニュース。金町でしたか。この国も安心して水が飲めない国になったのかと動揺しました。東電と政府の情報窓口がうまく連携されていないと感じ、非常に不信感とストレスを感じた。
- 東京都内の水道局から放射性物質が発見された。水が汚染されたということは次々と汚染は広がっていくだろう。当然野菜なども汚染されていくだろう。これからどうなっていくのか？生き方と子供を守るために不安になった。
- 東京電力のウソや政府の情報の無さ
- 東京、福島や茨城や千葉の人たちが逃げ出したら私にもげようと思うが・・・
- 電力会社の無責任、非情さ。機微にわたって検査の徹底が必要だと思う。被害に対する責任の考え方がとても気になる。人の生命の大切さを改めて考えさせられた。出来事は身近になった。
- テレビやラジオの情報は聞くようにしており、放射性物質の検出された地域の農作物はできるだけ買わないようにしております。農家の方々の御苦労も分かりますが、口に入る物だけに、申し訳ないながらも買い控えをしております。ごめんなさい！！
- テレビの情報は、独自で調べて流してはいないようで、信用出来ない。テレビの報道は同じ事しか言っていないので、真実がどうか分からない。食べ物は自分の目で確かめてから購入している。
- テレビ、新聞、等で識るだけで現場から離れて居るので、あまり心配はしていない。
- デパートやスーパーに出ているものは、ある程度信用してます。だからそんなに心配せず食品はいただいて居ります。
- 出来るだけ福島県産の農作物を購入してやりたい。
- できるだけ汚染されていない食品を選ぶこと。
- 妻の実家福島県会津）から毎年送られてくる野菜と果物、今年も届き私たちは年齢的に心配ないのでいつも通り食べたが近くに住む孫（5歳）には食べさせたくなかった。会津は大丈夫と分かっているもやっぱり心配になる。
- 通常自然食品を購入しておりますので特に変わったことはありませんがなるべく水洗いをし、火を通して食しております。
- 直後の買占め行動は気になりました。自分自身は家にある品で工夫をしながら過ごしましたが水だけは心配でしたので2週間に一度宅配してくれる業者と契約しました。乾物類を買い置きし、今まで使っていなかったレトルト食品もレパートリーの中に入れ、普段の食生活は少し変化したと思います。
- 中国の農薬の方が危ないのではないかと？日本人はのど元すぎれば・・・やらで、すぐに以前に大問題になった事を忘れてしまいがちである。
- 千葉の水道水に放射能物質が含まれていたと発表したのが地震から1、2週間たったときだったのでまさに含まれていたときに飲んでしまっていたので今頃！と本当に腹が立った。しかも自らではなく隣の市か何かから「うちから出ているけどお宅は大丈夫ですか？」的な話で検査してみると出ていたという意識の低さががっかりしたし、信用しない方がのちのち後悔しないと悟らされた。
- 千葉県柏市の方からいただいた柿（くだもの）を心配なので子供には食べさせませんでした・・・お庭で採れた柿だったようなので・・・スーパーで売っているお野菜の方は買い物の度どうなのかな？と思

いながら購入はしています。

- 近くの方々は福島のは食べられないといいますが、実家が福島ですと、とても悲しくなります。国でOKになったものなら安心してよいのではないのでしょうか？あまり数字や風評ばかり気にしていると、ノイローゼになる人でも出てくるのでは？と思ってしまいます。早く農地を除線して、福島の野菜や果物を皆が食べてくれるとうれしいです。海には”こうなご”がたくさんとれて、魚もおいしい所でしたが、今は港さえ復旧できない状態です。農地よりも深刻です。再び汚染水を流すようですが、とても残念です。食べ物に関しては、個人の判断がすべてなので、責任も個人でとらなければいけないということなのでしょうが、国での安全基準を本当に信じている人は少ないという話です。本当に大丈夫なのだという発表があったらな、と思います。
- チェルノブイリ事故後の人体の影響はすべての人類に見てもらいたい番組でした。原発を誘致して、街の潤い、活性化につながった部分もある一方、それを消費する全国民。電気を使わない人はいないと思う。誰が悪いとか、よいとかではなく、大変難しい問題とは思う。なるべく火力、水力とほかのエネルギーだけではだめなのかどうかもわかりませんが。
- チェルノブイリ、スリーマイルズでの被爆者の実際の症状、死亡数等の統計データ。
- 小さな子の食生活。(おい6才) 私たち自身のことはあまり心配していない。
- 大丈夫と言われても、何を根きよに言っているのか？30年後はわからないし、子供の将来に責任をとれるわけでもない。なのに、安全、大丈夫と言われても？ハテナという感じです。放射能は出続けているわけで、政府のことは信用していません。
- 対策・政策は取った がない。現在居住している地域は線量を測定したわけではないが、ほとんど放射線の影響を受けていない と推測し、老夫婦にとってそれより長く健康で過ごせる を望んでいる。
- 全生産物を検査していないこと。いつまで検査をきちんと続けるのか分からない点。
- 責任のがれが先になり、問題解決にまどった。本当に安全なのか不安なのか、あまりにも神経質になりすぎている。また学者の意見がまちまち。自分の正当性をアピールしているに過ぎない。がまんするところはがまんする寛容の精神にかける
- 政府や学者識者の言うことがまちまちで、どれを信用してよいのか分からず、腹立たしい。日本では未曾有の事態なので誰もいろいろなことについて正確な情報を提供できないのだろうが、権威ある機関を創設して正確な情報を一元的に発信できないものだろうか。それにしても、政府、東電などのいい加減さにはあきれはて、彼らの言うことを信用する気には全くなれない。情けないことである。
- 政府発表原発に対する認識の甘さや不適確な公表に喪失した。
- 政府は全食品の放射線量を発表すべき
- 政府はあてにならない。自分の命は自らの責任で判断し、選択して行こうと考えています。今時分がこの時代に生まれ乗り合わせていることを受け入れようと思います。
- 政府の発表が、日に日にレベルが高くなっていくので信用できない。本当の所はどうか知りたい。又、これから国がどのように対処していくのか具体的な事は現時点では見えないのではっきりして欲しい。
- 政府の出している対策は結局のところアテにすることは出来ず、何を信用したらいいのかが全く分からない。また、メディアによる報道が少し過剰な気がする。それにより、不安を余計に煽っている気がする。
- 政府の大本営発表。異常な暫定基準値。変わらないバカな役人と政治家の行動。
- 政府の情報はすべて後手、後手、信用できない。息子は子作りを控えています。
- 政府の安全基準を信用することに努めて生活している。
- 政府ならびにその機関(原子力保安院)東電の当事者能力の欠如と起こった事象に関して想定外という

言葉を多用したこと。要は最悪の事態に備えるという危機管理の基本が全くできていなかったこと。地震をまじめに研究していれば今回の津波の大きさが起こりうることと認識できたはずと思う。また、検討会の委員各位、には政府の担当役人の誰も責任を取らないですんでいるという、いうなれば「いいかげん」な体質に腹立たしく思っている。

- 政府及び東電は今回の事故を小さくみせかけて原発をやる気満々である。他の電力会社も反省もなくもうけに走るうとしている。しかし、個人は力を持たないし、何をやればどうなるのかわからないので自分を（家族から国民に拡げて）守るすべを庶民は持っていない。食生活だけでなく、未来に関わることなのに関心を持ち知ろうともしないのががゆい。（しかし、実際には何もやっていない、ただ食生活の安全だけを心配するなんて!!もっと大変な問題があるのではないか）
- 政府、東電の責任のなさに腹が立つ。
- 政府、東電の「リスクマネジメント」知識意識のなさ。責任逃れの態度、「恥を知れ」といいたい。自分たちの知識のなさ、リスクマネジメント能力のなさを「想定外」という言葉で逃れてきた過去と、逃していた行政。事実を隠す習慣、人命より利益、保身確保の姿勢。
- 政府、東京電力の対応及び情報の発信状況は、不誠実極まりなく、全く信用できない。
- 政府、行政すべてあてにならないことがわかった。自己判断、自己責任を痛感している。リスクを負い、自分で選択していただく。
- 政治家やマスコミがうそつきだと言うことがよくわかりました。みんな自分のために生きていますね。私もそうなのであまり強く言えません。
- 正確な情報が欲しい!! 国家が管理すべきだ!!
- 全てのものについて安全確認するのは不可能。どこまで信じてどこまで信じないかは自分の判断。売っているものに関しては特に気にせず購入している。
- 少し高いが友人のすすめで通販食品を買うようになった。近くのスーパーでは、北関東、東北産地のものがほとんどなどで、北陸や西日本の食材が手に入りにくい。高くてもいいのでスーパーでも産地を選択できるといいと思う。（妊娠中なので）
- スーパーなどで福島産の物はあまりないので特別気を使うことはありませんでした。しかし毎年福島産のリンゴを親戚に送っていたので一応相手先の気持ちを聞いてから今年もみんなに送りました（福島第一原発より100 km以上離れているところなので大丈夫でした
- 水道の水、生水はなるべく飲まないようにしてる。
- 水道水を使うのがこわくなった。今後子どもにどのように説明し行動させれば良いか、子どもの将来が不安である。
- 水道水の汚セン。後手後手の対応と当事者意識の欠除。
- 水道水の安全性
- 水道水が基準値を越えた時は、絶望的な気分になりました。ミネラルウォーターでお風呂を沸かすわけにもいかず、シャワーをあびるのも怖かったです。
- 水道水が一番気になり、普段は、水道水を安心して使っていましたが、ペットボトルの水を買いました。今はまた以前のように水道水を使っていますが、たまに、ほんとうに大丈夫かしらと思うことはありません。原発の近くに住んでいたら、やはりもっと気になると思います。
- 水素爆発が起きた時、すぐに関西方面へ子供を避難させました。ビジネスホテルで長期滞在を主人と交代しながら行っていました。その頃、水道水にも問題があった時だったため、東京は水もなく、スーパーの生鮮品も品数が減っていて買い物に一時間並ぶ状況だったのに関西は何もかも手に入れることができ、（単1の電池だけ手に入らなかった）狭い日本でもこんなに差があることを身に染みて感じました。今住んでいるところが危険であるなら、仕事や年収などかなり失うものが多くても子供のために

動くことを決意すると思います。

- 人体に対する影響がない、と言いながらも農産物の放射性物質の検出値を発表し、相方の不安をあおっている。検出値が公になるのは良いことだが、私達は「食べても大丈夫なのかどうか」がはっきりと知りたい。検出値が人体に与える影響がない程度のものならば、そこを強調すべきである。また、子供の対して反応が過敏すぎるような気もしている。
- 食物から放射能が検出されたということ。非難区域以外で大丈夫ということで作付けされた作物から検出されるのは、放射能汚染を過小評価しているのではないか。出荷規制や解除も十分に検証されたものか？があり、福島県の出す情報は信頼していない。あとから都合の悪い情報が出てくるのではないかと、疑いの気持ちがぬぐえない。
- 食品を買うときは十分気をつけて買う。
- 食品はすべて購入する形で得ているので、事故発生当時は、情報収集により不安も大きかったです。でも数値だけで、放射線の影響がはっきり目に見えるものでもなく、また体の異常がすぐに発症することでもなく、食事は勿論のこと、スーパーに並んでいるもので生活していくしかありません。生産者が一番つらい立場だと思います。また私の一番の心配は、1才と3才の孫への影響の面です。
- 食品の生産地
- 食品などは出回った後で放射性物質が検出されることがあるので心配です。どこまで注意したら良いのかわからない。
- 食品の原産地を見る。違っている場を見ない。すしのようなものは手を出さない。
- 食生活は元々、九州の実家から届く米・野菜で済ませていたので、あまり神経質にならなかったのですが、テレビ、その他の報道があまり信用できるものでは無く、不安になり、風向きによる放射線物質の検出先まで、気になる様になり、食品を買う時には、必ず生産地を見る様になりました。福島の方々には申し訳なく思っていますが、安全になるまでは、国が補償すべきだと思います。
- 食生活は人間が生きていく上で、大変大切な事項です。その安全が脅かされたことは非常に悲しい事です。エンドである消費者も大変でしたが、生産されてる農家の方々のことを考えるととてもいたたまれません。その事に対する政府の対応をおそまつさを考えると腹立たしい限りです。食の安全とは消費者側だけでなく生産者側を守っていくことも大切な事だと思います。
- 食生活について具体的にかわったとは思わない。ただ過敏すぎる反応は危険ではないか（特に私たちのような高齢人口 60歳以上）とは感じている。これまでの冷戦時代にも死の灰とか称して雨にぬれたら髪の毛が抜けるなどが飛び交い原爆病とかあらぬ差別を生んだ経緯を考えると事故の善後策とは別の次元での問題を特にマスコミが煽っているように思えてなりません。安全は神話であってなりませんがしかるべき対策を講じつつみんなが冷静に対処する姿勢が特にこのような時代には必要でないかと思えます。
- 情報開示が遅いと思う。国民にはすべての情報を素早く、正確に伝えてほしい。東電をしっかり管理してほしい。
- 消費税があがるのは賛成しています。早くして、早く東北の復興をしてほしい。今もテレビで何も出来ていないと報道されているのを見るのがつらいです。
- 主食であるお米は安全なのか。洗えばある程度安全なのでしょう。
- 自由に個人農家の作物は買わないで、ビニールハウスの作物で関西より西の食品を選んでいきます。
- 十数年前より、このせまい国土の中で、原発に何かあった場合には、相当の広い地域に影響が出るだろうという想像はついていました。そのため子供たちはパイリングに育てています。最悪、他国で生活することもありかと。アンケートにも答えましたが、子供が成人に近い年齢ということもあり、農家を支えるという意味で、覚悟の上、特に神経質な生活、対策はとっていません。（ただし子供を海外の大学

へ...ということは考えました。しかし、その行った先でまた、同じ状況にあうということも...) 今回のことで考えさせられたことは、原発政策に対して、他人事のように思っていた自分がいるということでした。若い人たちへの影響を考えると何か手を打つべきだな...と確信するこの頃です。このアンケートが何かのお役に立てれば幸いです。

- 自分の家族には赤ちゃん etc...小さい子供がいなかったのが、知り合いの小さいお子さんのいる家庭に”お水(ペットボトル)”などを差し上げた。自分たちはもう60歳を過ぎるので食事や食材も気にしてみたり、気にしなかったりとその時の気分で決めていた。
- 自分自身よく分かっていないが、今言われている危険値は所定の放射線量の食品を365日毎日食べ続けた場合で、更に余裕率を掛けた値であると思っており、現実毎日同じものを食べ続けることはありえず、放送されているほどの危険を感じていない。危険を甘く見ているわけではないが、マスコミの報道を見聞きしていると不安、不安と言っておれば安心なのか、もう少し冷静な対応が必要であろうと思う。そのためにも、外国から指摘された、からではなく専門家による基準作りが必要なのではないだろうか。
- 自治体の水をひいている浄水場で早い時期に放射能が検出された。その後は「検出なし」となっているが、水源の場所を考えると汚染はちょうきにわたることが予想される。飲料水は買ってはいるが、その他のドリンク類・食品に使用されている水がどのようなものであるのか不明なので、水を買うことに意味はないとも感じる。
- 自然災害に起因しているとはいえ全世界に対して大変な災害を起こしてしまったことです。私たちは後期高齢者です。後20年は考えなくてよい、現在の情報の中で生きてゆくつもりです。むしろ福島産の物を積極的に買ってゆく役割を我々の世代の出来る支援の一つと考えています。東電、政府の情報にいたづらに不信感を持たないように(現実問題として逃げ出せないのですから)兄、小学生の孫(千葉、横浜に住む)に対しての情報はしりたい(親は線量計をもって洗濯も外に干さずがんばっているようです)が不安感、不信感を煽る報道、むしろ放射線を押さえ込む研究(ない?)など、期待したい。
- 静岡産のお茶からセシウムが検出されそのような土地まで広がっているのかとショックを受けました。我が家は東京都ですがかなりの量の放射線を浴びているのではと心配になりました。
- 地震津波や原発事故の影響を受けて生活が一変なされた方には本当にこの毒で申し訳なく思っておりますが、地震直後より放射能漏れはないと発表していた国、東電は信用できません。ですから東北や茨城、千葉でとれた太平洋近海の魚が食べられません。もう高齢なので放射能はいいじゃないかという友人もいますが、ガンや白血病はやっばりいやです。復興のために買い支えなければとは分かりますが買うことが出来ないでいます。リスクはリスクとして性格に公表していただきたいと思っています。
- 市場に出回っている食品は絶対安全だといえないのが怖い。後で「やはり危険です」ではすまない問題。日本の未来にかかわる話。
- 事故はないといわれていても原発の事故の多いこと。原発は高い買物 もの。ゴミの山どうする。
- 事故直後1ヶ月は洗濯物も屋内にほしたり、野菜はゆでこぼして調理していました。夫の実家が福島県会津地方で農家を営んでいるので、県民の方の気持ちもわかるのでお米も野菜も会津産のものを食べていますが日々葛藤です。
- 事故後はいろんな情報が飛び回り、チェーンメールなどもたくさん受信しました。不安、心配はありますが、心配不安は「毒ガス、毒素」なので過剰な心配はせず普通に生協、スーパーで売っているものを購入しておいしく食べています。心配したら心配した通りになるので、もし後で何か放射線の影響が出たとしたらそれが運命だったのだときっぱり思うことにしています。
- 事故現場近隣の県で生産された物は4ヶ月ほどなるべく購入を避けたりしました。食費が増えてしまうため野菜や果物は以前のような量は買うことが出来ませんでした。最近は生産者の方々への応援の気持ちも含め内心、不安は消えていませんが市場に出回っている物は大丈夫だろう・・・と自分に言い聞か

せるような気持ちで購入しています。ただ、飲料水が一時、小さな子には危険というときがあったから、娘たちの飲料水だけは、海外の物を購入しています。自分たちの体のことも不安ですが、これからの未来のある子供たちが大人になり、無事健康な赤ちゃんを産めるようにただただ祈るような気持ちです。

- 事故が発生した直後に、政府は東京電力に対して事情を聞くことはあっても、原発をつくった業者をすぐによぶことをしなかった。東芝や日立といった企業の技術者が最初に対応するよう指示を出すべきであった。原発事故に関する訓練が昨年も行われていたが、菅総理は原発災害マニュアルを無視し実行しなかった。事故後の住民の避難に関してスピーディな情報をすばやく出すべきであった。学校給食で使用されている食材について、放射線の測定を行うべきである（バクレル）
- 事故がなかった場合はどのくらいの数値だったか？九州などはどのくらいの数値か？
- 残留値のある野菜等は出荷制限をかけられるが魚は大丈夫なのか。海を自由に泳ぎまわってる内に汚染が広がらないのだろうか？別の地域でとれたとしても福島沖で汚染された魚かもしれない。魚はすごく心配。
- 産地における明確なモニタリングがないと思っている。また基準も不分明であるため福島茨城の食品は買わないようにしている。モニタリングする人、機器 体制制度がないと思っている。国の政策未しと思う。
- 産地が東北のものは購入しない
- 狭山の友人がとても気の毒に思いました。端正して作ったお茶が売れないそうです。友人は専門的に放射線量を調べ安全であるお茶にかかわらず、マスコミ報道のおかげで売り上げ低下とのこと、農家のお茶がダメだとのこと、考えさせられました。
- 最初のうちメトロダウンにしても海外の情報の方が正確だったことや風向きから見て関東にも汚染した空気が流れ雨で降下すると思われるにもかかわらず適切な情報が流れなかったので行政に対して不信感を持ちました。
- 今後 5～10 年先の食生活環境がどうなるのか知りたい
- 今後、正確な情報をわかりやすく伝えてほしいです。
- 今後、子供を持つことを考えているので、今の環境で大丈夫なのか？もし自分が、被ばくしていたら、影響はないのか？育てていくのに大丈夫なのか？など、不安に思うこと多くあります。それに対して、テレビなどでは、最近とくに、放射能のことや、原発のこと、エネルギー政策のことなど取り上げることが少なくなってきたように感じられます。日々の対応は、各個人ごとにまちまちで、どこまで、やるべきなのか、わからず、とまどうとが多いです。
- 今回の事故は遠隔地であるので、切迫感はどうしてもありませんが、関電も確か電力会社の中で一番原発依存率が高いそうなので、それを考えると不安があります。関電だけが 20m 級の津波を想定した安全対策をしているとは、とても思いません。都合の悪いコストのかかる事は想定外と言われるようで、あらゆる機会を通じて えていくしかないのでしょうか。想定外の天災ですますなら、反原発を考えていかざるを得ないと思います。
- これは産業廃棄物で理の一環であって公害を克服し、水、土、空とも「基準値」を設定し、健康被害を未然に防止するための対策。従って、recycle、reuse、reduce と同じように不断にごみの処理、処分と同様の考え方で、原発事故の処理と向き合い、日常の食生活も特段の施策は講じていない。
- この地域は安全とっておりますので何の不安もありませんが、福島地区の方の農産物出荷に関しては、安全基準の有無によって出荷できない物があるのは、同情します。
- 子供のために原発近くの原材料を使用した製品を購入しないようにしている母親の話を聞いた。放射性物質の影響がどのくらいあるかが不透明なので仕方のないことかとも思うが生産者にとっては生活がかかる大問題で差別偏見になりはしないかと心苦しかった。どこで暮らしていても放射線の影響は受けて

いるので影響の大小にあわせてどう生活していくのが大事。影響が大きいところにすむ人たちのサポートが日本全体で出来ればと思う。食品の放射性物質検査は結果がどうであれ検査を継続している姿勢を示されることは多少不安かな

- 子供のいる家庭は別として食品の何ベクレルとか神経質になりすぎていると思う
- 子供には水道水を飲ませないでミネラルウォーターを今も飲ませています。他の食品も出来るだけ離れているところのものを食べる。
- 子供が小さいので（4才、2才）外で遊ぶことが心配でした。しかもホットスポットと言われる、やや線量が高いところなので、どこまでが安全なのかわからずにいます。家も購入し、仕事もあるので引越すことは現実不可能ですが、安全を得られる手だてがあれば、講じたいと思います。また、今後の対策、現在の状況について正確な情報を得たいとも思います。
- 子供がいる家庭の親が過敏に行動するのは理解できる。やむを得ない話である。
- 子供が2人います。とにかく、口に入れる食べ物に注意し、米は九州産、魚は輸入及び日本海側で獲れた、物を買うようにしています。大変心苦しいですが、太平洋（静岡より北）や東北、北関東の野菜や魚は今後買って食べたくないです。
- 国家が誰を守るのかが不明です。国の優先順位に不信をもっています。
- 国会等のエネルギー政策が、事故発生と同時に全く民間企業の責任になってしまっている
- 個人として注意のすべが確かでない 原発の仕様は良くないように思える 安全な電力を考えるべきだと思う。
- 原発は絶対にハイシすべきと思う。
- 原発の対応が遅すぎることが最大の問題だが放射線量の調査がきちりしているかが不満。実態がわからないと対策が出来ないと思います。
- 原発周辺は話題になるが、ホットスポットの地域は全く話題にされない。
- 原発事故に当たらない遠方の物をえらぶ
- 原発事故がなくても自然界に存在する放射線があることを考慮してもあまり過敏になることはない。医療上の検査でのレントゲンの量を考慮しても過敏になることはない
- 原発事故以来懸念するのは信用問題だけです。生産者及販売者等の利益のみを求める人がいなくなればと願うだけですね。事故以前からも思っていました、事故後、より強く思います。
- 原発事故以降、食品に対する意識は変わっていったと思います。もちろん、放射性物質が付着している可能性が少しでもある以上、完全に信頼することは中々できません。福島から遠く離れた静岡県の茶葉から放射性物質が検出されていることもあった以上、なおさらそうです。しかし、これまでも食に関する問題は様々なものがありました。農薬基準値以上含まれていたり、毒ギョーザなんていうのもありました。残念ながら、自分が1からかかわって作っていない以上、どの食品に関してても100%の信頼というのはありません。程度の差はあれど、これはどのようなものにも言えると考えています。現実問題、朝食のヨーグルトやサラダの野菜から、夕食で使う牛肉や晩酌のビールまで全ての食品を自ら作ることは不可能です。そうなっている以上、私はスーパーや販売店が行っている検査や出荷前の検査の結果を信じるしかないと思っています。お互いの信頼が無ければ世の中は成り立っていかないと思っています。
- 現地ののがれきや食品を積極的に拡散させようとしている。そして、人は動かさない。チェルノブイリでは、人は避難させ、物（がれき、食品）は動かさないという政策をとったはず。まるっきり逆。
- 原子力利用に対する国（原子力委員会）、企業（東京電力）に対し、十分な事故対策をとってこなかったことに怒りをおぼえる。できれば放射能に対する対策ができるまで原子力発電その他原子力産業は停止すべきである。

- 現在はそれほど心配ではありません。これからです。放射線は毎日増え続けています。国の予算を全部使っても鉛コンクリートで全体を封じて、将来子供たちが生きて行けるよう願うばかりです。
- 現在は60歳以上が3人で暮らす家なので今更そんなに放射能汚染を気にせずに生活していますが幼い子供を育てていたらもっと食品・環境に神経質になっていたと思います。また放射線に対して学んだことなく何が正確なのか知識もなく突然こんなことになり本当にひどい国だと思いました。もっと幼い子供たちに安全な方法を考えてあげるべきではないでしょうか。
- 現在何か所かの原発が停止している状態で停電にもならず、生活しているのでまず全面的に原発を停止して、皆が昔の生活に少し戻り、健康の大切さを考えてほしい。基本的に地球に戻らない(土に戻らない)ものは少しずつでもよいので減らしていくほうがよいと思う。たとえばごみを土にうめたとき、ビニールやプラスチックは何年たっても土には戻らないので、化学でできた製品はなるべく排除すべきである。
- 現在、安心と言われている地域に住んでいるので、食生活、その他あまり過敏に反応していない。福島は私の生まれ育った県なので(会津若松)福島のお米や菓物・野菜等、利用しています。今年は風評被害で観光が良くなかったのは残念です。これからも福島を応援していきたいと思います。
- 国や政府の原発事故後の対応があまりにも遅くて不満。重要な情報がすぐ伝えられず、後から出てきたり、ふせげたはずの災害が多くあると思う。二転三転する基準値などにふりまわされ、国や政府の言っていることは信用できなくなった。そのため、自分で情報を集め、自分が納得する方法で企業を作ったりしている。
- 国は「今すぐ健康に影響するものではない」とずっとというばかりで具体的な対策方法を何もしめしてくれなかったのが、本当に困った。「今すぐ」はなくても「後に」あるかもしれない不安で今もいっぱい。水はミネラルウォーター、野菜は現地から遠くで生産されているものをできるだけ購入するようにしている。
- 国の対応や発表がおかしい。
- 国の基準がころころ変わるのも具体的にあるデータが無いからだと思います。今回の件で長期間データを取り、この影響を数字で残すべきだと思います。もし影響があったなら、医療面など、きちっとした保障を東電なり国なりが取るべき。安全と言っていた原発の事故。想定内のみでの対応ではなく、外も考えて準備しとくべきだった。
- 国の言っていることは信用できない。何を信じていいのかもよくわからない。
- 国の安全基準値をわずかに上回る線量が検出されただけで精魂こめて作った米などの農作物が廃棄されることに心が痛みます。例えば私78歳の老人が一日で摂取する米は高々200gです。安全基準値は高齢者にはもっと緩和されてもいいのでは?この放射線が影響する頃には私はお釈迦様と一杯やっていると思います。
- 国、電力会社などから出される情報の信ぴょう性を疑うようになった。
- 気を付けて食材を選んでいるが、知らない間に摂取しているかもしれない。スーパーに売っているものが本当に安心出来ない。検査済とはいってもすごく微量にあって、人体への影響が少ないレベルだと売られているかもしれない。
- 距離的に考えて一連の件については殆んど意識していない。年齢を考慮すると、更に意識はうず。メディアの報道(テレビ、新聞、ラジオ)特にテレビで何処に、その「野菜や米」にこれ位のセシウム含有が「シーベルト」検出されました。し人体に影響はない」とかの報道は全てバカげていると思う。人体に影響及ぼさない程度の線量なら全て報道する必要ないと思う。~特に子供のいる主婦はどれだけ神経質になるか?.....懸念してます。
- 基本的には夫婦共70才を越えているので何もほとんど気にならない。子どものことを考えるとやはり

心配：しかし心配しても仕方がないと思う。起ってしまった は、人間一人の心配など越えてしまっています。

- 規制値の根拠などを明確に表示した上で厳格な運用を。多少放射能があっても中年以降と子供とでは影響が異なる。例えば多少の放射能のある食品でもすぐ廃棄せず老人ホームへまわすとかホームレスの方々へまわすとか会社の社員食堂で溶かしても良いのでは。とかく日本人は過敏反応し過ぎ。そのくせすぐ忘れてしまうのに。
- 基準値を簡単に変えたこと。安全基準の意味がなくなり、信頼性も失われました。
- 基準値を上回った食品が市場に流通してしまったこと。国際的にみれば著しく高い日本の放射線基準値すら上回ってしまった食品が、一度でも流通してしまったのだから、こうなるともはや何を信用することさえ出来なくなる。
- 基準値をあげたこと
- 基準値そのものの決められた方に曖昧さがあって、人それぞれで、はっきりとした生活への対応ができない。幸い、放射線の影響を受けていないであろうことを信じて、今のままの生活をするしか方法はない
- 基準値がわかることへの不信感。大人だけならあまり気にしないが小さい子供がいるので野菜の産地などは多少気にして買うようになった。放射線を気にしてる老人を見るとアホかと思う。
- 菅直人が「爆発しないよ」といった直後に爆発したこと。放射線の規制値を非常時の漸定といいつつ大幅に緩和したこと。
ヨウ素剤を配布しなかったこと。東京都の水道水が汚染され飲めなくなったこと。ペットボトルが不足したこと。
- 関西～西日本の人々による過剰反応。島根の友人が東京訪問を避けた。大阪の知人から千葉（ディズニーランド）行きをキャンセルした の類。意地悪く言うならば、このアンケートにもそういう気持ちを少し感じる。（京都という”安全地帯”から、ヒトゴトのような調査、とも……）。松明の一件もあるし（調査アンケートなので正直に書いただけなので、気を悪くされぬようお願いします）
- 関係ないかもしれませんが、春先に雨の翌日、黄緑色の粉が車やベランダ、道路につもっていて、あれは原発事故と関係があったのではないかと思う。
- 神奈川県と山梨県で自家で食べる野菜をつくったりしていますが、どこまでが危けんのか心配でしたらキリがない。私達（夫婦）は老人なので特に心配はしていませんが、子供や孫達にあげていいものかどうか。落葉やマキなど時間が経ってからどんどんいろいろな情報が出てきて、- 困っています。腐葉土をつくったりして楽しんでいたのに。良いと思ってしてきたことなのに、それを心配しなくてはならないなんてー。
- 家族の中でも気にしすぎだ、食品等、神経質になっているものと意見が分かれています。私身身はとても不安を感じて、食品はもちろんです、普通に生活していて、目に見えないだけに、心配です。被災された方々を思うととても辛い気持ちで、胸がつまります。
- 学生さんが問題意識を持って世の中の出来事に取り組んでいることは心強い思いがあります。今回の放射線に関してテレビで数値など放映されますが、不安だけ誘うだけでその数値が出たらどのような注意をすれば良いのか、数値だけ知らせて何になるのか疑問。危険のない数値なら表示して安心させるべき。高いと表示された地域に除去に行くのか？どうゆう対策が取られるのか。そこまで知らしめなければ放映（数値）する必要がないと思う。これからもいろいろな問題に取り組みわれわれの小さな意見も聞いて国を動かすような若いパワーを見せてほしいですね。このようなアンケートにはぜひ参加したいので、住所、氏名を明記します。（194-0042）東京都町田市東玉川学園 4-3475-2 桜井知佳子
- 買い物などで今までよりも産地をもっとよく見るようにチェックするようになりました。我家も兼業農

家ですので放射性物質の値が基準値を越えた農家の方々の気持ちはよく理解できることがあります。政府は補償などで対応していくべきだと思います。

- 海外に行くしかない考える。
- 大人が食べる物についてはあまり産地にこだわっていないが、子供が食べる物についてはなるべく事故地近県の物は購入しないようにしている。
- お茶は京都より南としている。
- 汚染の海洋流出（放出）、河川を通した流出の蓄積。結局海洋汚染が万物に（地球に）影響を及ぼすと考える。除染も難しだろう。
- 汚染水が海水に流失したことによる魚貝類への影響。食物連鎖、畑の農産物と違い、お魚は自由に海を泳いでいるので、日本だけではなく、海外への影響も出てくるのではないかと。
- 汚染されたとわかる地域での農作物の生産を認めたこと。
- お米の生産地、地産地消
- 大熊町に住んでいた娘が避難しています。孫の3人、中3、小6、小2学校のことで心配しています。来年8月で家賃発生します。これからどうなるのか心配です。娘と私、今心療内科に通っています。私は川崎に住んでいます。娘は藤沢の方に住んでいます。私は手が震えて不自由しています。
- 海の汚染と食物連鎖の中で、大きな魚に される放射性物質の量の推定がどの程度なされているのか、少なくとも私はその情報に接していない。
- 海に大量の放射線が出たので、海 が心配だったが、その あまり騒がれなかった。どちらかという と安心している。
最近 NHK の ” 朝イチ ” でセシウムの数値間違いが問題になった。スペクトル図が出てきたが、ガンマ線の量で、セシウム 134 など以外から出ている自然界のガンマ線はるかに多かったようだ。その程度の、人体にはあまり影響のない量だったと思う。
- 内田氏のような取り組みを取り上げてほしい。
- 牛のえさの稲わらやコメがセシウムなどの基準値超えがあったこと、特に対策をしてもらえず農家の人たちや畜農の人達が悪いようにとらえられた報道があったのはとてもうれしい！！今後警戒区域の解除にむけてすすめているようだが、仕事の関係や不安な気持ちでもどれない人達をどうしていくのか。戻ったとして、ライフラインはいままで通りにやっけていけるのか。とても信じられない。
- 飲料水を購入するようになった。福島原発事故を他山の石として全国の原発の運転を停止して国民を安全な状態にするべきです。
- インターネットなどの情報収集はしているが不安な思いは拭いきれない福島に今現在も住んでいるかたがおられることを考えると自分たちのことだけ心配してよいのかと家族とはよく話になる。なるべく偏らずに生活を送れるように家族で心がけている。年収が下がってまで安全なところにするほどゆとりがある人は黙っていても出てゆくからそれはかまわないとおもう。
- 今まで以上に海藻類をありがたく食べています。
- 今頃になって放射線の体への取り込みにマスクが有効という情報が出た。もっと早い時期に知りたい情報でした。
- 一時和牛をやめてオーギービーフを買った。野菜の生産地に気を付けて買っていた。今はかえって東北のものを買うように気を付けている。メディアが騒ぎすぎるとかえって我々はそれに振り回されると思った。
- 以前とそれほど変化なく生活しています。それは「あきらめ」でもあります。数値など国際的にもはっきりしない話ですし、私たちがデータ取りされている気もします。
- 以前から気をつけていたので3月以降特別なことはしていない”

- 安全な水に変えた（現在アクアクララ使用）食品は九州から取り寄せている（ネット通販利用）東日本の食品は使用していない（スーパーを何件もハシゴする）たまご、牛乳、キノコ、海産物を使用中止にした。放射性物質をデトックスするために乳酸菌を積極的に摂取している（糠漬け）以上のことをするために時間もお金も体力も精神力も使い、とても疲れています。料理のレパートリーも減ってしまい、食の楽しみがなくなりました。”
- 安全な食品、水を摂取したい。
- 安全な飲料水の確保と青果物の水洗い
- 安全であるという公共機関が示すもの
- 安全基準値の設定や農産物の出荷規制や飲料水の放射線量の発表が気になった。その対応（安全と科学者が言うことを政府が責任転嫁ととれる発表）に不信感を持つ。”科学は安全を証明することは出来ない。危険は証明できる。”という真理を知らない、又は知らないふりをしているため。
- あまり心配しないように生活しています
- 後から「やっぱり危険だ」と言われても困るから、安心と言われている中でも産地は選んでいる。ホットスポット「柏」から移動することが出来ないで、大なり小なり放射性物質の影響があるでしょう。過敏と思われても食品には気をつける。
- 6才の息子が3月末から何回も鼻血が出て、周囲でもそういう子がいたので、心配だ。周囲の人があまりにも放射能のことを気にしていなくて、日本人は危険から自分で身を守る自覚がとぼしいと思う。3月に、簡易式の蛇口につける浄水器（トレビーノ）が、福島事故から2週間くらいで真っ黒になって怖かった。なんらかの関係があると思う。（今まで過去10年でこんなことは一度もなかったの）
- 3月19日に近くのスーパーで茨城県産のほうれん草を購入して家に帰ったら、テレビで放射量が高い商品との報道がされたので、すぐビニール袋に入れ捨てると同時にスーパーに知らせた。
- 3.11の時は妊婦、現在は出産して授乳中の子供がおりますので、できるだけ放射線汚染の影響を受けないように努めています。特に母乳のことを考えて、飲料水はミネラルウォーターを摂取していますが、もし育児をしていなかったら、さほど気にせずに水道水を飲むと思います。
- 3.11or3.12の初期に放射性物質はまきちらされていたが、政府報道その他もその事実は自国民に知らせていなかった。欧米の諸国は直後に避難するよう指示を出していた。こういうことが不信の根源の一つでは？
- 20代の娘二人がこれから出産することになりますが、これから生まれてくれだろう命の安全性が心配です。
- (1) 唯一の被爆国となって60年以上経つのに、まだ被爆量と健康に統一的な見解に至っていないのは何故か。
- (2) 国は原発は安全だと宣伝するばかりで、最悪の事態時にとるべき政策ができていないのは極めて遺憾である。
- (3) 学者の個別研究に任せてきて、政府が被爆という最も深刻な状況下で国民に示すべき具体策が今に至るもできなかった。
- (4) 今になって、昔の戦争中の医学研究所跡地の高い放射能に気づいて騒ぐ有はもっての外だ。
- (1) 福島県の抜取検査による安全宣言（昔大臣らが牛肉がおいしいとかカイワレがうまいとか言っていたようなことに似ている。）
- (2) 除染と仮置き場。被害者意識がちょっと強いと思う。被害のない所へ持っていくほうが 対も多く、除染に時間がかかると思う。東電の敷地内に設置すべき。廃炉に数十年かかるのだから、同時にそこで除染方法も考えればよい。
- 1歳9か月の子供がいるというのもあり、現在東北、関東で生産された食べ物は一切買っていません。

3.11 以後、約 1 か月間は子供を家に閉じ込めた生活をしていました。(母親はスーパーに買い出しに行くのみの外出)今考えると、家の中ばかりの生活はしんどいものでしたが、被ばくを考えるとよかったと思っています。

- (1) 偽装表示に関し報道が無かった。それは、それ自体無かったのか、報道を控えたのか?後者ではないかという疑いを持っている。消費者に近い所で検査するようにするのが、信用回復にも良い。(例えばスーパーにガイガー計が置いてあれば私は自分で確認して安心して買い物が出来ます。そういう勇気のあるスーパーは無いでしょうが...)
- (2) 輸入食材の残留農薬同様、危険な食品も少量流通していると思いますが、確率的にそれに当たる事は無いだろうと私は考えています。また、摂取する総量の問題で、少量であれば健康被害も無いハズ...とも考えています。
- 15m の高さの津波が制度来たら、再度大事故がおこるのではないかと心配である。この対策はほとんどされていない。とても不安である。
- 1. 私共老人はともかくですが子供達や孫の将来を考えると不安で毎月水や食料を贈っています。2. 関係機関及び政府は全てをデスクローズすべきです。
- 1、多種類の食材を口にするようにしている。2、きのこ類はえのき等工場で作られているものを選ぶ。3、水道水はあまり使わず、ミネラルウォーターを使う。4、給食を食べているので子供の前では不安は口にしない。5、強い体を作れるようになるべく規則正しい生活を心がける
- 米は九州などなるべく遠いところの物を玄米で購入し自宅で精米してから食べる。魚は基本的に食べなくなった。肉は安全と考えられる地域の物を購入しているが不安は残る(産地偽装)”
- 3号機の爆発の映像を出さない。あれは水素の爆発ではない。
100 ミリでもいいとか今いうことではない”
- 「生産地はどこなのか」を一度、確認するか!それによって買うか買わないかを判断しない。ただ、気持ちのどこかで生産地を見てしまう。
- 「食品関係の全数検査」(米、肉など)当然であると思う。ただ、出荷されたのでは安心して購入することはない。被災地の被害度合を知る上での参考値にしています。政府の原発政策にそもそも疑念があるので、従来の基準値も信用していません。
- 「食の安全」はとても大切なことだが、ヒステリックになってもいけないのでできるだけ冷性に公平に、また実際のできること、できないことを理解した上で各自が判断していくしかないと思っています。しかし、これも自分の家族が中、高齢であるから言えることで、小さなお子さんをお持ちの方々のお気持ち、動揺もよくわかります。体の代謝、排泄機能を高め、体内に蓄積する量を、食物なども含めできるだけ減らす努力はしようと思っていますが、病気(ガンなど)の原因を放射線だけのせいにするのは狭量だとも感じます。しかし、行政の情報発信があまりにお粗末なので、お子さんをお持ちの方々は自主的に対策をうつ必要もあると思っています。
- 「シーベルト ベクレル」基準値を超えたので出荷停止の指示を出した!との報道がある中で考えるに!この食品は ベクレルなので、(週に 回等)食べても 年は大丈夫など。具体的な表示があればよい。自然死までの平均余命までの目安になる!

問 8 に戻る

日頃の程度料理をされていますか？

その他 問 10(6)に戻る

- ワイフに任せている
- ほとんど自分が料理をしている。週に 1 ~ 2 回家族の者が料理する。
- 一人暮らしなので休日だけ料理する
- 昼食のみ自分が料理する。
- たまに料理する。外食がほとんど。
- 少量ですので料理はほとんどしません。
- 週末や妻の帰りが遅くなったとき。週 2、3 回程度
- 週末は夫が料理することもある
- 自分は料理をしない
- 時間に余裕がある時だけ、料理をしています
- 今は育児が大変なので義母に料理をしてもらっている
- 一日一回は自分で調理する。

問 10(6)に戻る

今回の原発事故に伴う食品からの被ばくについての意見等

意見等 意見等に戻る

- 食品の心配はいろいろありますが、私達が思うのは原発に近い県や地元の人々が、生産者や米を作っている人達がきのどくと思うだけです。まだ私の地域はみんな農業が多く自分宅で何でも作れるので、マスコミでいろいろ聞いたりしても案外のんびりと云った感じです。
- 今まで、原発の恩恵をうけてきたことは事実なのだから、人間がつくりだしてしまったものだから、そのリスクも受け入れなきゃいけないと思う。東京電力の対応には、不満はあるが、おきてしまったことは、受け入れなきゃ前へ進めない。
- 私も農業で米を作っているのでたんせい込めて生産した米が供給できないのが残念と思う。政府もお金を払ったらよいですまされないと思う。作る身になって考えてほしいと思います、
- 私は地方の出身です。特に田舎の人間は、テレビ等の言っている情報や物言を信用する人が多いです。だからマスコミ等が間違った情報とかをテレビで流すと大変なことになりかねません。まだまだ地方は情報が遅れているのです。正確で信用できることをテレビで流して欲しいです。まだまだ地方の田舎は遅れています。
- 私は事故現場から遠くて食品については少し軽く考えているところがある。自分たちは恒例なのであまり気にならないが子や孫の年代の体に影響が出ないかが気がかりである。
- 私は 84 歳の高齢者と言われるものです。私の知る限り、今回の東北地震、災害ということについて全くと言ってよいほど災害に対する認識は小さいものでした。恐らく全国的にも私のような考えや認識の人々がおそらく大多数なのではないか。これは小学生から学校教育の課題の一つに入れ、早くから教え、より深く厳しく教育してもらいたい。高齢者の私として改めて、災害に対する考え方、教育方法等、具体化すべきではないか。もともと、日本は世界有数の地震国であることを強調したい。
- 私共は幸い、東京都下で、原発事故地からはなれていて、乳幼児もいませんので、マスコミがさわぐほどには心配していませんが、「本当に信頼出来る方」人が、いつも放射線量等の発表をしていただけたら、皆さんも、もっと落付くと思います。
- 私たち夫婦には子供がいないので、正直世の中の過敏な反応にはおどろいています。原発事故が起き、政府の言うことが二転三転したのを目の当たりにし、どこに行っても同じだろうなと思いました。(メルトダウンしていない してるになったなど) 生きている以上息を吸ってるのは人だけでなく動物も、植物も・・・そのすべてから今回の事故を排除するのは無理だと思っています。私は牧場で牛を育てていました。だから、原発近くの酪農の方々がどんな思いで生乳を廃棄しているか、いたいほどに分かります。どんな思いで牛を置いて逃げたのかも。だから、私たちは放射能を気にせずいつもの生活を送ることを決めました。むしろ被災地のものを積極的に買っています。この選択が遠い将来、悲しい結果をもたらすかもしれませんが、それはそれでいいと思っています。心から思うのは、生産者の方々をこれ以上苦しめないで欲しい。我が子を守りたい母性なのかもしれませんが、過敏すぎる流れは必ず害になる。と思います。” 原発の事故さえなかったら ” こう書きのこして首をつった酪農家の方がいました。今でもこの言葉が頭から離れません。もうこれ以上生産者の方々が苦しまないよう、心から、心から願っています。
- 私達は福島県南相馬市小高区(南相馬市は3つの町が合併してできた)に住んでいたものです。自宅と子どもの幼稚園も小学校、主人の会社は警戒区域、私の職場は以前は緊急時避難準備区域でした。寒い中ガソリンもなく非難もスムーズにいかず体育館~旅館と福島全体を避難してきま s h ちあ。スクリーニング検査では、寒い大雪の中会津大学で強制的にやらされました。家族ほとんどが服やコート、バックなど「破棄」子供は大泣きで怖がりました。自分が着てる服から靴までぬがされ、白いマスク、帽

子、ガウンを着ている人が周りを囲んだら怖いですよ。自分たちが病原体のように扱い、スクリーニングを受けないと避難場所に入れないこともありました。特に「福島」がすべてに拒否されているようですごく悲しいです。そんな中でも猪苗代の人たちはとても優しく、ガソリンがなく歩くことしかできなかったとき、声をかけてくれたりしてくれたこともありました。自分たちも大変なのにとてもうれしかったです。今、現在東京都に避難していますが、都会の人たちを見ていると他人事のように見えることもあります（それでもいろいろ心配してくれる人もいます）はらわたが煮えくり返ることもあります。誰のせいでこうなったのか、今までは思わなかったが、このネオンは必要なものなのかとったりします。家族には老人もいます。うつになりかけて、今は薬を飲んでなんとか空元気にやっています。なぜこうなってしまったのか？今ももんもんとした毎日です。

- 私たちは夫婦2人での生活でともに40代です。もしも子供がいたら、おそらくもっとも過敏になったり、情報を集めたりすると思います。このアンケートをきっかけに少し危機意識が高まりました。
- 私たちの最終的な振り所は政府です。政治家は「国民の幸福」のために議論し、行政をおこなってほしい（当然）。そのために消費者に正しい食品情報を定期的に提供すること。もし被ばくした場合はその医療体制をきちんととること。廃炉まで40年くらいかかるとか、ですから、安心、安全な食品への対策は大変です。そのことを考えて政治をしてほしい。
- 私たち年齢の高いものは被ばくの影響はさほど気になりませんが、なるべく安全と思われる食品を購入しています。若い年齢の人たち、子供たちの将来が心配で不安です。国やマスコミは本当のことを正確に知らせしてほしいと思います。
- 私たちが知ろうともしないうちに原発はどんどん増えもたらされる電力を当たり前の物にしてきた。その被害を被ったのは東北の人々、放射能と騒ぐには少々じくじたる思いがあります。あれほど被爆国としてビキニのときにも大騒ぎしたのにこれです。昭和というのは政治も産業もごまかしの時代だったんですね。その結果が現在のような停滞につながったのでしょうか。国もマスコミも全く信用できません。食べ物については居直っているといえるかなるようになれと思っています。孫がいたらまた違うかもしれませぬ。我ながら定まらぬことに恥ずかしく思いますが「分からない」というのが本音です
- 私自身は、食品の放射線量をそれほど気にするタイプではないと思っているが、まわりのお母さんたちを見ていると、もっと心配して行動にうつさなければ、子供の発達に後々えいきょうしてくるのではないかと不安になり、自分が心配しなすぎなのではないかと、変な不安感がつってくる。放射線もこわいが、添加物や輸入食品の方がよっぽど身体に悪いのでは、と思ってしまうのが、正直な気持ちです。
- ロシアのように、食品に含まれる放射能のベクレル表示を行い、消費者が選べるようにすること。そうすれば、国の当てにならない基準がなくても価格は市場によって自づから定まるはず。
- 両親も高齢で、私も40代で子供がいないので、あまり食品からの被ばくに対して問題視していません。たとえ健康に影響があったとしても、余命を考えれば影響は少ないと考えるからです。
- 流通している食品は本当に安全なのか・・・家庭菜園で作っている野菜は安全なのか・・・不安です。実家は数十年無農薬で農産物を栽培してきました。親戚や近所に配って喜ばれていました。今回も、放射性物質は基準値以下だったとして例年通りおすそわけしていましたが、放射性物質が含まれているのは確かなこと。なんとなく口にすることをためらってしまいます。今まで大変な努力をして無農薬栽培に尽力してきた老いた両親が
- もはや「国産＝安全」という考え方は変わってきている。消費者だけでなく、生産者のためにも、食品の放射線物質の量を正確にし、安全かどうか確認してほしい。今後、放射線物質の影響は何十年と続くので、東北地方のみならず、日本中、近隣の国の影響も考えていってほしい。
- 物不足で苦労しました。特に、ミネラルウォーターが突然店頭から消えた時には驚きました（金町浄水場から放射線が検出されたとき）。国やマスコミには早く正確な情報と、的確な対処法を流して欲しい

いと思いました。

- もっと食品の産地表示をこまかくくわしく表示してほしい。とくに加工食品、肉、牛乳、卵など。
- もっと国が中心になって食事からの被ばくを長期的に検索し発表してほしい。
- もちろん、不安はあります。ただ、どこまでが被害が大きくなるのかももう少し、具体的にわかりやすくしてほしいです。放射線量の危険値のボーダーをしっかりと根拠あるものにしてほしいです。小さい子どもがいるひとが、不安になるのではないのでしょうか？
- 目に見えない物なので、食品の安全性があまり分からない物が多い。マスコミはきちんと報道して情報をしっかり流してほしい。
- 目に見えない物質なので不安だがあまり過剰に心配ばかりして生活するのもどうかと思うし、被ばく量が基準以下の食品として店に出ているものも本当かどうかは少し不安、でも何を信じていいのか分からない。国やマスコミは正しい情報を知らせてほしい。
- 皆一生懸命に責任を果たそうとして頑張っておられると思うが、少し過敏になりすぎてオーバーなところもあるのでは？皆で助け合えばよいと思う。
- 民主党政権となり官房機密費が2億 15億になったと知り、その金が全て国民の知る権利を侵すために使われたのだな、と納得している。元々マスコミの韓国寄りな情報の垂れ流しは嫌悪していたのだが、今回の事故から本当にテレビ、新聞を見る目が180°変わってしまった。全く信用できないし、いつも「このニュースで得するのは誰か」とうたぐってしまう。でも本来、これが正しい情報への接し方であり、私は今まであまりに政治、原発、食べ物、そして命について、無関心すぎたのだな、と反省している。誰かがどうにかしてくれると思っていた。でも、家族を守れるのは、親である私達だけだった。被害者であると主張しつづければ加害者であることは許されるのか。風評被害と聞かたび苦しくなる。夫婦間でも意見の違いがあり、転居には至っていない。病気になれば確率なんて関係ない。私達にとっては100%なのに。日々葛藤している。
- 皆様、一生懸命なのが、よく解ります！！が、情報が色々なのも困ります。ありがとうございます。
- 水で洗っても煮沸しても汚染された放射濃度は落ちないと知って怖くなった。そういうものを一切口にしない方法しか守るすべがない。流通経路の中には少なからず放射性物質を含んだものが入っていると思う。また、もし食べてしまった場合の対処方法は？対処方法をしっかりと示してくれた番組を見たことがない。対処方法はないということか、マスコミは対処方法はありませんとするのも説明責任として必要なのでは？
- 水がなかったです。政府は信用できません。大丈夫と言われても、自分で判断するしかありません。自分もう、50なので病気になってもよいです。子供は、まだ10才、13才なので人生長いです。できるだけ安全なものを食べさせたいです。原発は人間の手におえない、最後までめんどー見れないのに手を出したかんじです。他のエネルギーがあれば、ぜひ。全て変えてほしいです。
- マスコミも悪いが政府東電、あとは何とか委員会とか天下りの連中が 組織。あまりにもちゃんとした情報が無い。チェルノブイリの工場で25年余り生活している老人を見ると、放射線の人に対する被害って、どういうものなのと。たしかに小人にはかなりのえいきょうを及ぼすが、30年40年後に出るものであれば50を過ぎたら時にその前に他の病で衍ってしまうのではないかと思う。なさけない日本。
- マスコミは冷静な情報伝達をお願いしたい。特に民放TV局に対しては。内容にウソはないだろうけど、不安を煽りすぎではないか。
- マスコミは不安、不安と言っておれば正しいことを言っているのだと安心するのか、結果的に不安をあおっているように思える。決して放射能汚染を楽観視してはいけないが、「風評被害」と他人事のようにいっているが、自分たちが広めたことではないのか。TV番組を見ても、原発即停止=正、原発当面維持=悪の構図を作り出しているが、本当に今の日本にとってそれが正しいのだろうか。民主党政権に

なって日本経済の低下傾向が加速し、東日本大震災、円高、更にタイの洪水により、ますます企業の経営が厳しくなり、生産量減、海外への生産移管、ますます雇用が減り、更に原発事故で電力供給に制限がかかり、「日本沈没」を意識せざるをえない。「一に雇用、二に雇用…」と言った首相がいたが、改善どころか現実には真逆の方向に向かっている。また原発のストレステストを必須にしているが、これはあくまで余裕率を調べるためなので、安全性が確保されていれば（従来よりも高い危機管理が必要であると思うが）、移動については問題ないと思っている。政治家は「経済を活性化させなければ…」「復興、復旧急がねば…」「頑張ります」の掛け声ばかりで動きが見えない。遅々として進んでいない。現状を打破し、本当に日本を活性化するためにも、まずは大きな要因である電力供給の問題を解消することが必要なのではないだろうか。ただし将来的に電力を確保した上で原発をなくしていくことには賛成する。

- マスコミは騒ぎ過ぎ。そして煽り過ぎ。針小棒大な報道によって風評被害は大きくなる。県単位のくくりで規制などをかけるのはおかしい。食べ物の放射性物質の基準値がどんどん低く（ハードルが高く）なっている。そんなにハードルを高くすることが妥当なのだろうか。国や県、市町村はしっかりしたバックデータをもとに説明し、無駄な規制はやめた方がよい。
- マスコミはあまり騒がない方がよいと思う。子供がいる人は気になるが私たち年寄りにはあまり気にしていない。ただ孫たちは気になる。でもあまり細かく（シーベルトなど）については発表されてもよくわからない。国も東電ももっと国民のことを考え正しいことを正しく報道してほしい。私たちも川崎の地で野菜を作って（家庭農園）食べています。少しは気になりますが無農薬で作っています。
- マスコミの報道はどうも視聴者の関心を引くために偏った内容のように感じてあまり信用していません。かといって他に情報源のようなものもなく、特に放射線に対して何も対策をしていないといった現状です。（子供がいなくてもあります）
- マスコミの報道には大きな問題がある。風評被害の源は心無い報道によるところが大きいと思っている。特に民放局等でタレントなど有名人を出演させ全く素人であるのに知っている風に政府を批判したり、感想を言わせてたりしているのにはあきれ果てる。しかもその局のもって行きたい方向に誘導するような人（専門家、素人含め）を出演させているのも明白である。原発事故や食品問題の知識の少ない視聴者が感化されやすいので、大きく流しており、改善されたことや問題なかった事実などはごく小さくサラッとしか報道しない。最近の若者はあまりテレビを見ず、インターネットで情報を的確に入手しているのも上記のいい加減な報道（信頼できない）への不信感からと思う。（視聴率を上げることに腐心している報道にメスを入れなければ日本はおかしな方向に誘導されてしまうのではないかと心配しています。もちろん、われわれももっと勉強しなければとも思います。
- マスコミの情報伝達のしかたが、1つを集中的に流し、そう思わせてしまう所がなんとかならないものかと思う。
- マスコミに対しての要望。本当にどの程度人体に影響があるのか、具体的な説明がない。どの程度危険なのかわかりやすい説明が欲しい
- マスコミに左右されない正しい報道をしてほしい（国は）
- マスコミとか国が言うことは信じることもできなくなってきている。海の食品の汚染をどうしてくれるのか・・・。流してないとは言わせない。寿司すら食べれない時代がくるのかと思うとほんと安全とか言えない。
- マスコミが問題提起だけして不安をあおっている。マスコミにも を出し回答を すべし。 民はどちらが正しいか ようにしてほしい。
- マスコミ及び国民の対応は過敏であると思う
- まず現状について、あなた方は被災地を助け、支持しなければならぬという意識をお持ちですか？同じ日本人であるならば、今日の国難に対し何事にも団結して、相互扶助の志を持って対処すべきであり

ます。しかるにあなた方は陸前高田の津波で流された松林の薪材を放射能汚染を理由にして拒否するなど、無知無理解のみならず、日本人としての心が欠落しているのではないですか。普段より、あなた方は、昔は都に近い先進地帯であったことを鼻にかけてか、関東、東京や東北を極端に侮った口のきき方が目に余ります。津波が来てよかったなどと発言した大阪の議員だか役員だかの例をみても、所詮「クマソ」が困っているだけで都の自分たちには関係ないと考えているのではないですか。これだけの放射能汚染が起きた以上、食品も多かれ少なかれ汚染はまぬがれません。同じ日本に住む以上、多少汚染されていたとしても日本のものを食べなければなりません。極端な潔癖症をあり、被災地の方々をこれ以上苦境に追い込んではいけません。あなた方関西人は自分で認識できているかどうかは知りませんが、明らかに偏狭な差別意識があります。アンケートには協力しますが、取扱いに十分注意し、これ以上被災地にいわれない被害を与えることのないようにお願いします。

- 前頁にも書きましたが、政府東電、他の電力会社、マスコミ、反省の色も言葉もない。現在、私は省エネ生活を(できるだけ)している。10数年前から光熱費の量と金額をパソコンに入れ前年の同時期よりすこしでも減らすよう努力している。なるべく水を汚さず、空気をよごさず、なるべく安全なものを食べ、自分で時間をみて菜園をやっている。しかし何であろう、未来に対する漠然とした不安感。原発の事故があってその要素が更に加わった。
- 前ページに書いた通りです。
- 前ページでも話したように、国やマスコミは偏らず真実を詳細に語ってほしいものです。わかりませんが国は国民に閉塞感を与えてはいけません。放射能は今でなく五年、六年先に日本に異変があるとのこと、個人一人ひとりの健康 する責任どうこうでなく、早く国民一人ひとりが安全な食品、食べ物を頂きたく希望いたします。
- 本当のことをマスコミは報道しているか、よくわからない。
- 本当に良くわからないので、もう少し私達にも簡単にわかるものがあつたら良いと思う。テレビやマスコミは何となく信じがたい。国はもっと信じれない。
- 本当に注意が必要になるのは、ムシロこれからだろう。被災地での子供の健康調査の結果などキチンと報じて欲しいと思う。又、放射能以外の有害物質のエイキョウはどうなのか？例えば、税金をつぎ込んで普及させ海に害を流す結果になったと思える液晶TV等の、魚介類に通じたエイキョウはどうなのか？不安を感じる。
- 本当に大変なことが起り、今となって知識人はえらそうな事ばかり言いますが、こんな時こそ批判ばかりでなく住民全体の事を考え迅速に対処の道を開き不安を除いて上げられる様に政府も関係機関も一丸となって日本の国民のために力を注いでほしいですね。外国からの輸入も決して安心出来ない訳ですし、水際でのSTOPも厳重に！私達は情報を理解する事も何が真実であるかを判断する事も不得手です。わかりやすく納得の行く情報提供も必要ですがメディアに登場する先生方も誠実であるべきでは！
- 本日(12/15) NHK「あさイチ」で「日本列島・食卓まるごと調査」の番組に意見をメールしました。「いつまでたっても、ベクレルとシーベルトについて視聴者に理解できる説明をしていない。また、毎回分かり難い表や説明である。……誤解されない方法や、検証してから放送せよ……」と。どうも、「食の安全」、「人体への影響」をわかりやすく説明できる人が不在(科学者は自分の専門分野のみだし、政治家は、知ろうとしないし、マスコミは理解しないで煽るし)と思われる。このアンケートが学術論文にまとめられるとあるが、どう役立つものか、期待と不安が混じってます。
- 本件の質問事項再吟味が必要。調査の目的と質問事項に整合性がない。理解できない。感情的な質問、愚問がほとんど。素直に回答することに抵抗がある。補助金の無駄遣いをするな！！このアンケートは評価できない。
- 保存料、添加物、農薬、遺伝子組み換えなど、食品に対して不安はすでにありましたが、さらに放射能

の件が加わり、なかばやけくそになり、気にはしておりますが、冷静に考えつつ、食品を選んでいてもりです。原発事故に関しては最初から発表されることに関しては、信用せず、その水面下について、詳しいと思われる人の話を聞き、また本を読み、インターネットも、自分自身で判断基準を設定しています。所詮、自分の口に入るものは、自己責任において、決めていくものだと思っていますから。今回の地震、原発問題に対して、他人事と思わず、一人一人が分かち合って支えていくぐらいの気持ちがないと日本の第一次産業は大変なことになっていくと危機感を持っています。

- 放射能の怖さは広島、長崎、チェルノブイリ等非常に危険で人体等、生物に与える影響は厳しく自然を破壊し、人間が休む場所がなくなる。自殺 的な危険が伴うことである。学者ならびに研究者も分かっているようで全く分かっていないのが現今であり、半減期とか云々を言っているが、研究不足。なんら安心させて公に発表するものは何もなく、また政府或いは原子力関係に携わっている人々も何も革新もって危険と安全をわかる物か いるか不安を生んでいると思う。
- 放射能の害のない国にしてほしいとつくづく思います！
- 放射能に対して過剰に反応しすぎる。風評被害が多すぎる。
- 放射能汚染は山に大量にふった放射能が時間をかけて、沢や川を通して田や畑に流れてくるから、今年1年だけの汚染ではない。継続して検査をし、情報公開してほしい。福島の有機農法のグループの食物を長年とってきたので、生産者のつらさは十分わかるが、取り組みを中止している。やはり子供の健康への不安はぬぐえないので。生産者への手厚い保障と、安全な土地への移転を考えるべきだと思う。
- 放射線を0にするのは困難なので。今後万が一この被ばくにより病気になった場合に特效薬を開発するなどそちらのフェーズへと移行した方が良いと思う。
- 放射干慮の単位が分かりにくく聞く気がなくなる。義務的に公表しているだけで知ってもらえないのではないかと感じる。
- 放射線物質は長期間消えないと聞いていますが、水、野菜、牛乳等、これからの食品には特に不安です。
- 放射線は目に見えません。セミナーに参加した友人から話を聞いたところ、報道されている放射線以上の量の放射線だそうです。国も隠しているということです。でも国が事実を明かせば日本国中がパニックになるし、その選択は間違いでないと思います。私が生きている間は大丈夫でしょうが、私の孫の代で、影響が出てくるので心配ですが、今の現状ではどうすることもできません。腹をくくって行く未を見守るだけです。
- 放射線のこと今回の原発事故で始めて知る人が多数である。普段が少量の放射線を受けている世の中でニュース、特別番組で大騒ぎすることで放射線の関心を持つことはよいと思うが間違った考えをする人が多数いると思う。放射線の基本をよく理解させる内容のニュースが必要である。放射線が発見された、これだけで近隣住民は大騒ぎ、これが安全量か、そうではないのかはっきりさせる検査が必要給ある。ニュース内容、国やマスコミは放射線についてもう一度わかりやすい、理解できる内容の報道をしてほしい。
- 放射線の基準値が高く設定してあっても、そこからもれて市場に流通する事はないのか。汚染された地域のすべての農・畜産物を検査しているわけではないので、当然、いくらでもそのような事があると思う。ロシアのウクライナ(?)だったか、市場で市民がかった食品をすぐに学校の検査室に持っていき検査してもらっていたのが大変うらやましかった。早く日本もそのように理科の先生を指導するなり測定機をふやすなりするべきだ。
- 放射線の汚染について考えない日は一日もないが、不安に思いながらも日々の生活に追われ、諸事情から生活環境を変える事も出来ず、何年か後に出る結果が悪くない事に運を賭けていると同時に祈っている。
- 放射線の影響はとて申告な問題と考えますが、小さな子供がいらないため、あまり過敏にならずに生活

することを心掛けています。そのため、今回のアンケートの回答に無関心な傾向があるかもしれませんが、支援の意味を込めて（本当はあまり食べたくないのが本音ですが）野菜を買うこともあります。その時は十分に水で洗うようにしていますが、東京都の水も安心できない現状。野菜だけでなく、肉や魚も影響があるので、国の基準は厳しく設定し、うそ偽りのない流通を希望します。マスコミはその監視役も担ってほしいです。

- 放射線については基本的に心配していない。マスコミや一部の人が大げさに騒ぎすぎだと思うこれだけ文明が発達した世の中で、化学物質や電磁波等に、身体に悪影響がありながら知られていないものはたくさんあるはず。何故放射線だけ特別扱いなのか？放射線のことを騒ぐ人は科学的なリテラシーが不足しているのではないか。放射線による経済的損失の方がはるかに心配。
- 放射線に基準について。農作物等の出荷制限値が当初の基準値から、ユルくなる事が多々あるが、理解できない。当初、出荷できなかった食品が、基準値超で危険だったものも、（健康に害を及ぼす）基準値をユルくすることで流通させてしまうが、（健康に害を及ぼすことは変わらないはず、）何を考えているやら、……。国、政府のこのような馬鹿な対応は、何一つ信頼できない。
- 放射性物質が食品に混入してしまう事はある程度仕方がない。医学的に根拠のある基準値を設定し、各食品のパッケージなどにそれらの情報を明示することで安心安全と経済性の両立を図ってほしい。今回の調査結果はぜひ公衆に見える形で公開してほしい。
- 下手な隠し事は後で高くつく
- 福島の皆さんには頭が下がります 東京電力は何おしているのか
- 福島の実家が白河で一部被災しました。お米も作っている兼業農家の為、将来とても不安です。
- 福島の方々には、本当に大変なことで心が痛むばかりです。食品に関しては、放射線被ばくについての正確な知識がないので、日々、戸惑いながら口にしていきます。マスコミは、過大に報道されているわけではないと思いますが、正確な情報だけを伝えて欲しいし、国は、チェルノブイリの事故の症例などをもとに、専門の方々や情報交換などをしてしっかりとした対応をしてほしいと思います。「まさか」の事態をどう乗り切り安心出来る生活を送れるのか、答えはなかなか出しづらいのかもしれませんが、ほんとに正しい情報をお願いするばかりです。
- 福島のお米が暫定基準値越していて流通はしていないといていたが生産者やその家族などはその米を食べていることについて何もわからないし私も親戚からコメを買っている身でJAを通らない野菜、コメはどうなるのか心配です。
- 福島原発事故の経緯を毎日のようにTVなどで報告していた、検査員(?)のメガネの西川(?)氏。福島の方々が大変な時期に女性問題を起こし、セクハラで降板になった”やつ”。何を考え仕事をしているのか？民間なら即首だ！官僚や公務員はよほどの事件を起こさない限り首にはならない。この制度（法律を変える！）はおかしい。官僚および公務員責任者は名前を公表し、”即刻、首”の法律を作るべき。財務省の官僚も年金の何千億という国民からお預かりした大金を湯水のごとく浪費し、誰が浪費したか、名前は出さず、誰も責任をとらない。「こんな日本に誰がした！」 角、官僚公務員の責任者は名前をだし、責任を取らせなさい！
- 福島からはなれているので深刻な気持ちになったことはありません。農薬や添加物などの注意と同じ位の程度で放射線量の心配をしています。ただ現地の生産者の方々へは東電、国の手厚い保障を希望します。
- 風評被害という言葉に疑問を感じる。すべての場合に当てはまっているか分からないが、マスコミもこの言葉を軽々しく使っているように思える。身体に与える影響が不確かな状況で風評という言葉であいまいに流通させようとするのはおかしい。除染が進まない限り汚染された地域での農作物は口にすべきではないと思う。

- 不安を拡大させるマスコミが悪い
- 不安を書きたてるような印象を受ける報道はしてほしくないです。
- 不安をあおる報道も問題だと思うけど、すべて風評被害にむすびつけ、事実を過小評価するののもどうかと思う。
- 不安はないのでマスコミなどがあおらないことを祈う！！
- 不安はきりがありませんが、国そのものが全体的に我々にわかりやすく説明というか、不安のないように安全かつわかりやすく危険のないように運営していただくようお願いをいたします。色々アンケートにお答えいただきましたが、わけのわからないことが多くあると思いますが、そのところご理解いただきたくよろしくお願いのほど願いましてアンケート回答終わりたいと思います。
- 不安はありますが、あまり考え過ぎてしまうと、生活が送れません。原発事故に伴い、産地は、かなり、気にしてしまい、正直に言うと、東邦産地は、あまり買わなくなりました。食べ物、住む環境、を気にするよりも、体が丈夫でいられる様にしたいです。全ては気持ち次第かと思います。
- 不安のある食品を控えているので、バランスの悪い食事になってしまいます。汚染疑いのある食品が流通されて調べようがないことに憤りを感じます。
- 不安に思う事を上げたら、きりがありません。自分たちよりももっと苦勞をなさっている方がいる時が知れません。専門的な事もよくは知らないの、正確な情報を流してくれば皆、安心すると思います。
- 不安だらけだが、国もマスコミも隠している気がして全然信用できない。千葉は距離的に中途半端だし避難しにくい。できることなら避難したい。病気になりたくない。
- 被ばくをしたら身体にどのような影響があるのか知りたい。(具体的に)
- 被ばくの基準を明確に。マスコミの責任が大きい。(責任をはたしていれば安心。今は、はたしていないので不安)お米に対しても新潟産の米 53 %、ニセモノ 47 % (流通でニセモノになっている)不安だ。アンケートも本人にあった意見も 30 %。あとはてきとうです。
- 被ばくした畑などの事を考えると、これから先どれだけ耕地が使うことができるのか、とても不安で次世代の人々が心配です。
- 人の命の大切さ、地球全体のことを考えてほしい。原発を外国へすすめるなんてしてはいけないと思う。人間の手に余るものをお金のために利用してはいけない。自然と共存しながら生きていく知恵を持ち、未来に希望のもてる国にしてほしい。
- 人によって考え方や意味が違うのでどれを信じて行動したら良いのか判断がつかないので流されてばかりいるような気がします。
- 被災地の復興のためには無用な風評被害を最小限にとどめることが重要であるため、国内海外向けに透明性の高い安全審査が国や自治体が一緒になって取り組むべきだと思います。復興庁や既存の消費者庁、厚生労働省がうまく役割分担をし、かつ生産者を抱える自治体も積極的に提言をして、物事が早く進んでいくことを期待しています。
- 葉野菜・米などの被ばく量や、魚などはやはり心配ですが、皮をむいて食べるリンゴやもも、くりなどまで食べることができないのでしょうか？何年も先になるのでしょうか？実際に身体に異常の出た人が出てきた場合、国の対応はどうなるのでしょうか？食べる前によく洗えば、農薬と同じように落ちるのであれば、そのような対処の方法をしっかりと報道したほうがよいと思います。テレビをみながら記憶するのも難しいので、保存用の広報誌など、重要なことをまとめて、家々に配るようにしてもらいたいです。
- 廃棄する米がもったいない。再利用する方法を模索すべきと思う。
- 農作物など、陸上の汚染については盛んにいわれるが、海産物の汚染については今のところ、あまり言われないように思う。高濃度の汚染地域などで水で洗い流す風景をよく見かけるが、その水の行きつく先は海ではないか。原発からの排水などとあわせ、この先、海が大変になっていくのではないか。(ある

いはなっているのではないか。)肉よりも魚の比重が高い食生活をしているので憂慮している。もっと大がかりな海の調査をしている。

- 抜きうちテストを行ってほしい。なあなあ、又は、検査してない=基準値以下というような判断はやめてほしい。又、牛乳など混ぜてしまえば基準値以下と聞くが実際どうなのか。安全を声高に叫ぶ程原発後の「ただちに健康に害はない」というまことに意味のない見解を思い出し、ムシズが走ります。しかし、運命として受けとめるだけ。医療も(ごくわずかの認められた人達だけ被曝手帳がもらえ無料になるでしょうが)高額になり保険もパンクするかも。平均寿命が少し下がってあれ?という程度でしょう。関西方面以西の人は全くもって対岸の火事意識レベルでしょうし。
- 日本はまだ民主主義国家とはいえません。戦争のころの日本とあまり変わらない。政治家とマスコミが国民にうそをついている。日本もおわりですね!
- 日本での食品に含まれる放射線物質と残留農薬はどちらが危険なのか知りたい。事故以前は絶対にそこにもれていないという根拠はどこにあるのか。チェルノブイリと比較されることが多いが、事故直後の健康被害にどれくらい差があるのか。マスコミが報道しすぎるから不安をあおっていると思う。過度に心配しない方がおかしいという空気がおかしい。
- 何も信頼できないけれど仕方がない。不安です。
- 何が安全で何がいいのか?安全だと言われていた事が、後で実は.....と言う事が多い。(国は信じられない)本当に信じられる情報は?
- 内部被ばくの情報が少ない為、前述したように、これはしてはいけない、これは食べてはいけない、というはっきりとした指針がないので、予防できたはずのことができていないことが不安である。子供がおらず、親も高齢(被ばくによって何かあっても死期が近いのだから気にしないようにと言われる)であるため、また、生産農家の方々への応援の気持ちもあってあまり神経質にならないように食生活を送っているが、あの時、何故あんなに大事なことを見落としていたのか、ということがないように、放射能の研究・情報提供をさらに進めて頂きたい。
- 内部被ばくの方が福島周辺や関東のホットスポットではずっと人への影響が高く、食べ物については収束してきているにもかかわらず、不安を煽るような情報ばかりで敵て総合的に議論することについて地方自治体も横浜市の広報紙回収騒ぎがあってから非常に及び腰になっている。ほかにも気にしなければならぬ事は多いのに一つの事柄に限りセンシショナルな取り上げ方がされ子供のことでさえあればゼロを求めるのは正義だという風潮ばかりがあるのはある意味言論統制のような危惧を感じる
- とにかく不安感を煽るだけの報道やコメントはやめてほしい。
- とにかく情報を早く明確にだしてほしい。後から”こうでした”と言われるのが一番いやです。確かな情報を伝えて、それをどう処理するかはこちら個人が決めることで、後から言われると政府の方に対していかりがでてしまいます。
- とにかく原発を順次廃止にして明るい未来を作ってほしい。今回の事故を受けスーパーで九州方面のものしか購入していません。値段が多少上でも買います。安全な基準といわれても私はよいですが子供に少しでも不安のあるものを食べさせられますか?安い基準には大丈夫といって東北のものを食べさせつづけ子供が病気になったらどうします?私は自分を責めます。国をうらみます。安心安全な未来を子供たちをお願いします。
- 特に無し。
- 特になし。
- 特にありません。
- 東北を応援したいという気持ちがありなるべく東北地方のものを買いたいとは思いますが「被ばく」という言葉の恐怖からなかなか手が出せない。アスベストのときのように安全だといわれそうで、政府はあま

り信用できない。とはいえ、いちいち産地などを自分で調べることに限界があるため、諦観しているという状況。

- 東電と安全委員会がそうであるようにしんようできませんが国の機関を審査監視するようなところがあれば良いと思う。マスコミは国や議員の圧力に負けずタブー視せず追求してほしい。国は子供が聞いてもわかるような言葉を使って説明すべき。私世代はパソコンで検索できるけど親世代は新聞やテレビでしか情報を知れないから。日本人は忘れやすい民族なんだなあと実感しました。特に国会議員の人間性には不信任といらだちを覚えました。頭脳明晰な京大生の方論文ががんばってください！今の国とは違う政府になるよう役立ててください。
- 当地は特に被害を受けていないので、特に何の心配もなく生活しています。ただ 20 代の子供達 3 人についてはやはり、少し気になります。気にしてもきりが無いとも思っています。なるようにしかならないと思います。早く、東京電力の資産を処分し、被災者救済に当てて会社をリセットして欲しいものです。社員の福利厚生費が料金に上乗せしてあったとは許せません。”
- 当初は情報が多かったが内容がまったくわからなかった。単位など、安全か NG なのか？不安にさせることのない発言をしてほしい。NG ならそれなりにこちらも考えられる。”
- 東京のために原発施設の設置を受け入れてくださった福島の方々が御自分の家に住むことが出来なくなり、大変不自由なご苦労をなさっていることと本当にお気の毒なことだと心が痛みます。一日も早く以前の生活に復帰なさることが出来ますよう祈っております。
- 東京都でも少なからず、放射性物質の影響があったかと思えます。大丈夫とテレビで聞いても、何年後かに体に病気が発症しないか心配です。何年後かに発症しても、それが放射能の影響だと証明できないのではないかとまったく知識がないので、現在、このような不安を持っています。
- 東京電力の発表が少し不安。隠していることがあるのでは？
- 統一した指標を公表すべき（コロコロ変えない）・あいまいな表現はいかなものか（暫定値・・・とか？）
- 問 8 に書いた通りです。また、今回の事件で日本人の“食”に対する関心が少しでも良い方向に傾いたらと思っています。”安心”と“安全”の違いについて考えさせられることが多くありました。
- 問 8 回答参照
- 問 8 に記入した内容と同じ。
- 問 8 に回答した通りである。今回の原発事故は起こるべきして起こった。政府の対応、電力会社の対応について事故があったにもかかわらず、全く反省はない。九州電力の第三者委員会に対するものがいかに現状を示しているか分かる。郷原信郎に対する佐賀県知事の態度がすべてである。こんな状態ではこの日本の行く末は破滅以外の何者でもない。正義がもし守ることが出来なければ食品の被ばくも心配で安全宣言をいくらしたとしても誰も信用するものはいない。テレビ新聞の情報は無意味に近い。新聞の購読も近々やめる予定である。これが小市民の微力ながらの反抗である。よくマスコミも考えてほしい。購読者も視聴者もいなければ収入もあがらないのだから。
- 天気予報のように毎日新聞に事実を記載するのはどうか。基準は国や行政によっていろいろであると思う。事実公表を速やか正確にが第一。私自身は被ばくについて心配をしていない。
- テレビ・ラジオのニュースは毎日見てきておりますが、マスコミと言われる言葉が嫌いです。うるさ過ぎです。もっと共感できるしゃべり方ができないでせうか。
- できるだけ多く検査して、私たち国民が安心して食することができるように、NPO や小さな団体も参加してわかりやすい情報を提供してほしいです。
- 直接被害を受けている方々には申し訳ないのですが私は地域性、年令的に、他人事としか受け止めていません。

- 中国、北朝鮮に負けない情報コントロールですね。全ての日本のウソがばれると思う。
- 千葉県でも放射線の濃度の高い所があります 野菜等にもかかっていると思うから不安です
- 地球がダメになる放射能（原発）人工的はやめるべき！高くても安全なエネルギー政策の実施自作の野菜を安心して食べられる土壌にする政策を。経団連の会長さんが政府に対して原発推進している姿が納得いかない/国産の安全の食料品を早く食べたい/京大先生世界1の再生エネルギーの開発と脱原発の見本日本を作ってください。/早く東日本復興を祈ります。心配のない野菜、肉を食べたい。
- チェルノブイリの事故からもわかるように、25年経っても、付近の住民は近づくこともできません。福島に関して、東電、国は、事故の時点で何十年という長期間帰宅できないのは分かっていたはず。お年寄りがかわいそうでならない。私たちは昨年とは違う雰囲気が流れている現実を受けとめるべきで、今まで通りにはいかない。生活、価値観も、見直さなくてはならないと思う。あの日以来、日本を見捨てていくこともできない私は、被災者に思いをはせながら、腹をくくったつもりです。作業員の方は、自らの危険をかえりみず努力をされている姿は英雄です。
- 誰れもが未経験の事で決って政府の判断が正しいとは思わないし又、間違っているとも言えない。かのチェルノブイリが、そうであるように福島も同じ道をたどるであろうと思う。食品に関しては、結論から言えばあまり、神経質になってはいない。極端なたとえで申し訳ないが、すべての食品が汚染されていたら人は皆、どうするのでしょうか？
- 誰しもが経験したことのない状況だったので、多少はしかたのないことなのかもしれないが、報道の情報が信用できないほど誇張されていた。マスコミはもっと世間に与える影響を考慮して正確な情報を伝えるべきであり、一度力を入れて報道したことについては責任をもって最後まで報道すべきであると感じた。
- 他人事として考えないで、もし自分がそうなったらと思って考えてほしい。
- 正しい情報をお願いします。NHK 総合を信頼しています。
- 正しい情報を。何が正しいのか、それはデータである。自分のアピールのために国民受けするための発言は慎んでほしい。東電も失敗を認め、独占的企業の脱皮を。正しいことを自覚して進んでほしい。
- 正しい情報がほしい。あるのかな？
- 正しい情報、わかりやすい情報がほしい。子供をモルモットにしてはならない。私自身を含めある一定以上の年齢の人間は水の買いだめなどは遠慮すべきだと思った。(3月4月のスーパーには定年後の人間とおもわれる人間が必要以上の水、缶詰などを買っていた。)農家の人や、漁業の人とともに安全安心して生きられるように努力する必要がある。マスコミって何？って思うことが多くなった。
- 体内部の被爆が心配です。自分たちのことは気になりませんが、子供や妊婦さんに対しては、もっと配慮してほしいと思います。情報も錯綜しがちなので、国や自治体からメディアを使った体系的な情報を、もっと頻繁に流してほしいです。気にしている人とそうでない人の認知度の格差がありすぎるのは、とても危険なことだと思います。普段見ているTVやラジオ、学校の教育でさえ、格差があり、知らない又はそんな情報に触れる機会のない方々は「知らない」ということ自体気づくことができません。混乱を避ける方に片よりがちな行政の情報を信頼できないのは当然のことであり、また国を非難ばかりするマスコミ、ニュースキャスターが、余計な不安や憤りを煽ることも、見ていて不快でなりません。知りたいのは客観的で正確な情報です。バランス感覚のある人材が公共の場にかかわれるシステムができることを切望しています。
- 体内被ばく量 科学者によっても異なるように思う。マスコミはいたづらに不安をあおらないようにしてほしい。
- 専門家や医師の中には、原発は安全で賛成、とても危険なので反対と意見が分かれ、どちらを信じればいいのか？でも私は、けして安全、安心だとは思いません。問題が起きて初めて対処するので

は手遅れです。今年ベトナムのハノイに旅行しました。ベトナムは日本の40年前の生活で、これから発展していく国です。バイクがとても多く、工場の煙など、空気は日本より悪いと思いました。ベトナムの人々は貧しくて、日本の企業が進出し、仕事ができ、少しずつ生活が良くなり、日本のおかげで、生活ができますとても感謝しているそうです。日本を信じてベトナムも原発を作る話が進んでいますが、原発はとても怖いのです！どうか、原発以外で電力を作ってほしいと思います。日本だけではなく他国でも事故が起きたら、地球がこわれてしまいます。利益追求、生活向上はもうたくさんです。ブータンのように自然で、心暖まる家族が、安心して、話せる国に戻ってほしいと願います。ぜひ人々が安心して生活できるよう研究を進めていただきたいと思います。宜しくお願い致します。頑張ってください。

- 専門家の方々にがんばっていただけたら大変ありがたいです。その結果であれば了解するしかないと思います。よろしく願います。
- 全体的に諸外国への説明が少なすぎると思う。外国人と対等に話し合えるコメンテーターがほとんどいない。その結果、たとえば中国人は日本が完全に放射能汚染されたと考え、人民日報が放射能に汚染された日本人を保護したと報じていた。首都圏が生存に耐えない放射線下にあると思われた可能性あり。京大の方々も facebookなどで外国に大量の情報を正確に流してほしいです。
- センセーショナルな記事やテレビでのコメントは、無視するようにしています。信頼出来るかどうか判断がつかない場合は、別のメディアか友人に問い合わせることにしています。
- 前述しましたが夫婦二人暮らしなので原発事故には胸を痛めていますが悪情報が大きく広がりすぎているようにしか思えません。実際この埼玉県の知り合いでもいまだに洗濯物を外に干さないという人がいたり、子供の健康が不安だといって九州に引っ越したりした人もいます。でも報道でこれまでの生活をすべて奪われた方や将来を不安に思う方たちの姿を見るとこれまでどおり生活できていることだけでも十分なのではいつも考えています。いり色悪くいう方もいますが、東電の現場でずっと働いている方やご家族の方も苦労されているでしょうし、国の対応も緊急事態だったので国民が納得できないような状況になってしまったのも仕方なかったのではと思います。たぶんこういう考え方は少数派かもしれませんが、一意見として参考にさせていただければと思います。
- 先日、福島のお米からセシウムが出たように、まだまだ線量など気にしながら、食品を購入しようと思います。
- 戦後最大の原発事故がおきて、国の危機管理が甘かったことを思い知らされました。これからもこれ以上の災害がないとは言い切れません。いろいろな意味でもっとシビアな危機管理をしていただかないとこれからの日本にいる子供たちは安心して過ごすことができません。
- セシウムの半減期から考えてひとまず心配せずに食品（産地にかかわらず）を入手できるようになるのはいつごろなのか？ そのためにはどのような除染を行えばよいのか？ 福島原発に近い汚染地域をどうして行くのか？ 特にその地域の住民対策は？ 実際問題として再び住めるようになるのか？（放射能の危険なしに）など現在の政府は説明では全く納得できない。阪神大震災のときに「初めてのことで・・・」といった首相がいたが、現状もあの時と比べたいして進歩していないと思う。マスコミは本当の姿と起こりうる事態についてもっと報道してほしい。（そのためには原子力についてももっと勉強する必要があるだろうと思う。）
- 世界各国の基準とその根拠・日本の基準とその根拠の比較と妥当性の説明。特にスリーマイル，チェルノブイリといった事故発生国，事故の前後での基準の見直しの有無など。”
- 政府や一部のマスコミは信用していません。「無責任な発言や行動は社会で生きるのに信用されない。困っている人を助け励まし、誠実であれ」私の母親の言葉です。そして戦中戦後を貧乏でしたが人々と助け合いながら生きてきたのでパフォーマンスでなく、現場を大切に人々を私は信用します。平凡ですが、貧乏でも信頼できる同級生が福島市に住んでいるので、国やマスコミは福島県民に対して現場に

足を運び、耳を傾け、誠実であれと言いたいです。”

- 政府は国民の健康を第1に考えるべき。企業の利益第1に考えるべきでない。マスコミは本当の事を報道すべき。
- 政府は原発の現状を隠しごとなしにすべて本当のことを明らかにすべき。マスコミは全く信用できません。
- 政府はあまり信依出来ない。
- 政府は、いつも正直に報道していただきたいです。マスコミは、不安をよけいにおおぐような報道で、もっと事実だとしても冷静な報道を御願ひしく思います。
- 政府の対応は妥当であまりかくしだてがなかったように思います。ただ原因者が都合の悪いことを発表していなかったように感じられ残念です。また、マスコミが少し冷静に報道すべきと思います。私共高齢者にはあまり実害はないようですが、若い人たちへの影響が心配です。まだよくわからないのは広島原爆の際「数十年は草木も生えないだろう」と教わっていたことが実際とは大きく異なっていたことで福島の場合はどうなのか気になるところです。(今は自給自足という特殊な生活をしていますので関心が薄いのかもかもしれません。)
- 政府の対応、報道が今1つ信じられない。原発事故は原発を推進した人達が総力をあげて今後の対策をたててほしい。又、原発に関して無関心でいた国民の責任でもあると思う。必ずあるであろう直下型地震や連動の地震、その時各地の発電所は対応できるのかも不安。
- 政府の国民に対しての情報管理には不安を感じるし、電力会社のリスクマネジメントの無さに原発は止めるべきでも有ると考える。
- 政府の基準値があまり信用できない。またマスコミなども最近は反原発のテーマがあまりないように思うし、世間の関心も少しずつ薄れていっているように感じています。内部被ばくの影響はこれから何年、何十年先に現れるのではないかと思っています。出来るだけ安全な食品、信用のおける店で購入することにしています。
- 政府の安全基準の妥当性と理由を確定的なものにしてもらいたい。(評価や意見の違いが多過ぎる)
- 政府の「すぐに健康に影響の出る値ではない」ちうのが、逆に今後影響が出るのでは?と不安になります。
- 政府、特に前首相、官房長官の説明、発言は無責任の極みである、
- 政治屋、マスコミ、米国、官僚、および天下り、大企業による支配体制の崩壊を望む。日本をよくするべく、国民の国民による国民のための政治を取り戻す。国民一人一人がかしこくなる。
- 生産流通加工、販売部門で、流通加工部門の検査の実行を制度強化すべきである。
- 生産農家のケアを十分にしてください
- 生産者の方にがんばってもらいたいと思う方は多いと思いますが国を信用できない限りすべての食品に対して疑いを持つことはあると思います。国の言うことなら信用して食品を買おうと思わせてくれる対応を政府にしてほしいです。
- 正確な情報をください。都合の悪いことをふせるのはやめてください。
- 正確な情報提供が必要である。
- 住んでいるのが東京なので直接的には生活に大きい影響はないが少しでも近いところだったら大変なことになっている。「パニックになるから公表しない」という政府の考え方にはまったく賛成しない。マスコミも同様の考え方をしている。これらの考えの人と、そうではない考えの人との分断が起きており、ますます分断は広がるだろう。健康的な被害よりも信頼をそなったこと。もうおそらく埋めることのできない分断ができたことによる社会のひずみや不安定が最も恐ろしい。住居がもし原発の近くだったら、このアンケートの回答は全く違っている。

- すみません、P 9 の問 8 に書いてしまいました。
- すべての情報が信頼できない。自分が対策を考えて対応してもどうなるものでもない。その時々で判断して行動するしか方法がないが、マスコミの影響は大きいと思う。無責任なコメンテーターは願い下げだ。
- すべての事について国の対応は遅すぎる。国は国民の為なんて口先だけでこれっぽっちも考えていない。それで信じるというのは無理な話だ。
- 総てが信ずるに値しない。海外での評価が総て。
- 信頼性のある情報を発信する団体名を知りたい
- 心配はしていますがレベルが分からない。どもまですればよいか不用か不明。少なくとも原発周辺からの食品は買わない。産地表示のない牛乳は買わない。それ以上は心配してもしょうがない。年も年なので娘夫婦には十分注意してほしいと思っている。今の国の基準のままでも良いからしっかりとしたモニタリング体制からできてほしい。半減期が過ぎて濃度 2 倍なら前と同じ。
- 心配すればきりが無いのですが、日本人として一緒に負っていかねばならない負の遺産なのかと思う。政府もしっかりと隠さずに肝をすえて、何が大事なのか、責任をもって発表、説得してほしいです。
- 人体の内・外部被ばく量と安全を考りよした、明確なエビデンスとそれにもとづく安全基準値を早期に設定すべき、そして公表すべきです。
- 震災が発生したとき、海外に住む友人から優しい言葉、励ましの言葉をもらい、励まされたのですが、福島での原発事故が報道されたとき、ショックな言葉がありました。「もう日本では安全なものはないわね。きっと食料が 100 パーセント輸入となるわね。」と。真顔でした。とても知的な方ただだけにショックでした。そこではじめて安全な食品とは何だろうと考えるようになりました。この意見が正しいとは思いますが、多かれ少なかれ海外の人々はそう思っているのが現実だと思います。「安全ですよ。食べられますよ。」とのパフォーマンスではなく、科学的根拠に基づいた正確な情報、数字で安心させてほしいと思います。東電は本当に罪深いと思います。福島をはじめ、困っておられる農家、漁業関係者への補償が手厚くなるよう心より願っています。
- 知りたいこと：被ばくした物としてない物となりに置くと放射線はうつるのかどうか？
- 食物の放射線量を基準値以下・以上と表わしているが数字で表わせるようにした方がよいと思う。小さい子のいる家庭では 数値はさけられることが出来る。老人等は多少 けても買って食べてもよいと感じる。これは鎌田実先生（諏訪中央病院名誉院長）がよく言っておられた。（テレビなどで）
- 食品被ばくの栄枯湯がそれを食べた本人に何年後に出てくるのか（食べた量にもよるでしょうが）がわかれば私たちのようにある程度の年齢以上のものは気にせず口にできと思っています。
- 食品の放射線量は同じ市町村の中でも耕作地の場所によっても異なると思われます。よって、放射線量の検査は広範囲にすべきでその結果を公表する必要があると思います。
- 食品の被ばくの基準値に当って、1 日、1 年半の摂取量を配慮すべきと思う。例 香辛料、米とは摂取量が大きく異なる。
- 食品に表示をして欲しいが、表示に虚偽があった場合に、厳に罰してほしい。
- 食品には、何年何月に検査済みの項目を入れる。
- 食品については特に関係者は良く検査をしてから出荷するべきです
- 食品に対する安全調査のいいかげんさと対応の遅さ 委員会を作れば済という行政の無責任さ 金をかけても税金や電力料金の値上げで回収すればいいという思わくが見えている腹黒さ 危機の中でただ待つしかない住民がじっと見つめている 中でもカンゼンと立つ政治家が一人もいないのか 選んで責任なのか
- 食品からの被ばくは心配ですし、スーパーに行っても、福島方面の食品はどうしても避ける自分がいま

すが、現在福島の方で被害にあって生活されている方もいるので、「自分の家族さえ守れば…」という気持ちにもなりませんし、色々心配するよりも、今の生活をしっかりやっていくことが自分ができることかなと思います。親が神経質になれば、子供にも伝わるので穏やかに日々過ごしたいと思っています。

- 食品からの被ばくがもっと多かったら食べるものがなくなる。食べ物も国土もなくなる危険のある原発のリスクを自分のこととして賛成派は考えるべきだ。第一現在の原発の作業を将来誰がかわるのか？子や孫の世代だ。賛成派の方々あなたか、その子、夫孫がかわるのか？国民投票の際賛成票の人にこの作業を義務づけたらどうか。自分は安全なところで危険な命と引き換えな作業は人にやらせていいのか考えよ！
- 食品が売れるか売れないかの測定しかやってない!!
- 食事は毎日取るもので、口に入れる1つ1つにあまり敏感になっては食事も作れません。原発近辺の野菜など積極的に講入し少しでも応援してあげたいと強く強く思う気持ちがあるのに、実際店頭に立つとやはり不安になりさけてしまう情けない自分があります。とても苦しいです。1日も早く震災前の日本に戻りたい。国もすべき事の優先順位が間違っています。
- 情報をくわしく発信してほしい。
- 情報がありすぎて、何が本当で何が間違った解釈なのかがわからない状態。憶測や、はっきりしない情報はひとかけらも流してほしくない。また、専門家以外の方や、わけのわからぬ肩書きのかたの、信頼性に欠ける意見も流して欲しくありません。基準値内の放射線にもおびえて過敏に暮らしている人は、飛行機にも乗れないはず。都合の良い所で騒いでいる人が多すぎると思います。
- 正直な報道をしてほしい。東電に責任感がない。保安院とは1体なんなのか。今迄リスクのあることを国民に一切知らせず安心・安全を優先させて来た口、電力会 での責任は大きい。東電の経営者は全て辞職すべし。口の責任ももっととわれるべき。国民を余りにも愚ろうしすぎている。
- 小学生の子供が二人いるのでこの二人のことだけが心配。将来健康を害して苦しむことのないようにしてやりたい。
- 終息宣言に対して外国の反応は冷やかである。外国は政府の発表を信用してないと考えたと不安になる。
- 自分は年令が年令なので良いとしても、孫や子供たちが心配です。実際親近者で40年前に受けたアスベストの影響で亡くなっている。そんな事が子供や孫に来るのかと思うととても恐いです。もっと皆にわかるような情報を出して欲しいです。
- 自分自身の被ばくについてはあまり心配していません。若くもなく子供もおらず、この先も産む予定がないことやむしろ経済的な不安の方が大きく長生きがリスクになりかねないことが理由です。しかし世の中大多数の方々小さなお子さんが家族にいる方などは大変不安なことだと思います。そういった方々が少しでも安心して生活できるよう明確な説明、ぶれのない方針、政策を国がきちりと打ち出すべきです。現状がどうなっていて何をどうするつもりなのか何をすべきなのか分からないことが多すぎではないでしょうか。
- 自分が不安に思うことは正しいのか、考えすぎか？とにかく判断の基準が持たなくて困ります。風評被害まどわされたくない。一 の悪いところもない被災地の人を支援したい。そう思いながらもあとからあとから違う情報が出てくるとどうしていいかわからなくなります。とにかくどんなに不便な生活になってももう原発はやめて下さい。エアコンもやめました。そうじ機もやめました。電気ポットもやめました。照明もおとしています。原発をやめてそれで出来る生活で結こうです。そういう中味をきちんと提案して下さい。おどしはたくさんです。
- 実のところ私も夫婦は60代なので再起のことはあまり心配していません。しかし、子供や孫の将来は不安です。今後の放射線の影響については信用できる方法で国民に知らせてほしい。情報の信頼性が

一番の問題だと思えます。

- 静岡県のお茶等まで「生産農家が基準値以上のものを出荷し出回っている」との風評被害が一番困惑している。どこまで信頼できるか。
- 指数（発表する）に対し、危ない、心配の分岐点は表示（その都度）することを考えてほしい。
- 地震だけでなくいつまで続くかわからない不安が悲しいです。福島に実家があるのでなおさらです。
- 地震があり、原発事故があり、私自身5月ごろ妊娠が発覚したので、周りの家族も私自身もとても不安な毎日を今でも送っています。よく基準値を超えていないから口にしても害はないようなことを言ったり、スーパーや小売店で販売されている食品もどの程度安全なのか（原発付近のもの）すべて本当に放射性物質を検査済みで売られているのかだったり、実際のところもう少し信頼できるような対策を国にはしてもらいたい。子供が生まれてきてからの暮らしも不安で東北の農家の方々の苦労やお気持ちを考えると申し訳ない部分もあるが、子供に何か影響があると怖いので、今後も注意しながら食料品を選びたいと考えている。
- 事実、真実のみ伝えること。報道すること。隠してはいけない。憶測で物を言うてはいけない。センセーショナルに取り上げない。特定の利益のために報道してはいけない。将来の日本時の健康確保を目指して国やマスコミが活動してほしい。できるのだろうか？
- 事故の収束を早く進めてほしい。放射能はどこで多くどこで少ないか解明されていない。（静岡、東京都下、海、東北地方）
- 事故に関する情報は遅滞なく公表すべきである。事故処理は東電主導では進んでいないのが現状であり、国が率先して具体的な案、計画を立てて、国民に公表しながら進めるべきである。このままでは陸も海も汚染がひどくなるばかりで、対応や処理によけいに時間と金がかかるだけである。
- 市ごとに、その他の地域の放射線の影響を、市報に、保存できる資料として配り、定期的に最新のものと交かんする様にしていき不安をなくさせていくというのはどうでしょうか？報道では、危険といわれているような地域だけで、自分の住んでいる場所はどうかだろうと、インターネットで調べてとしてもその時だけになってしまい、常に新しい情報が毎月、配られる市報に、目立つように「保存用」などと書いてあれば、「とっておかなくては」と思うのではないのでしょうか？きたない文ですいません。
- 事故後の対応の不手際から、政府及び東電の情報、見解は一切信用していない。主にテレビ、新聞から情報等を得る様にしている。
- 事故後、片っぱしから情報を集め、始めの頃はTVの情報等を信じていた。でも、TVは都合の悪い事は言わない知識人や御用学者ばかりで、とにかく政府も民主党もTVも信用していない。マスコミは不安をあおるだけ。影響を受けた多くの農家等の皆さんが、右往左往して本当にお気の毒です。これから食糧難や水不足が深刻になっていくかもしれないのに、とんでもない事をしてくれた・・・と怒りを感じています。あの事故は、東電はもちろんですが、政府の無能な判断が招いた大事故（爆発）だと今でも思っています。私に私財があれば、懸賞金を賭けてでも、自然エネルギーの開発・研究・実用化を推進するのに・・・そういう人が現れないのが残念でなりません。
- 事故から現在までの被爆量が人体にどのような影響があるのか、具体的な情報がほしい。私は女性なので、今後妊娠などにどのような影響がでる恐れがあるなども。外国と日本との基準値にひらきがある理由や、事故があった後で基準が変わった理由、何かあって変わる基準ならばそもそも必要ではないし、まったく意味がないのではないかと思う。
- 事故が起きたのは資質である、その範囲程度などテレビ新聞により目にしますが、この日本においてや海外にもどこまでどの位の汚染というのは誰にもわからないし、空気・海を通してある程度被ばくはしているのではないかと夫婦で話しています。宮城・岩手・福島の方々の苦労を思えば、変わりなく生活できていることに感謝すらおぼえます。事実から目をそむけないで、国も東電もまた国民一人一人が

確実な情報のもと、1つ1つクリアしていくしかないと思います。このような形でアンケートに参加できたことうれしく思います どうぞがんばって下さい

- 産地については気にしていますが、流通しているということ、どうせ環境からの被ばくは避けられないと考えると、復興応援の為にたまには東北産の物を買っています。
- 昨年結婚し、今後子供がほしいと思っていますが、原発の事故以来、放射能汚染がどのくらい影響をおよぼすのかわからない状況下で、将来子供や家族に何かあったらと思うと心配でなりません。海外のメディアやネットでの放射能汚染の状態と国が発表する状態がかけはなれているため、このまま日本にいて大丈夫なのか、かなり疑心暗鬼になりました。
- 先ほども前項で書きましたが過剰な反応は却って真実を見えにくくしてしまうと思います。「シーベルト」とか毎日報道されて「基準以下」だと安堵するという姿勢はいうなれば70~80年前の日本人の思考回路（米国人は根性がないから戦争にすぐ飽きる）と同じで希望的観測という息から少しも抜け出していないように思います。正しい基準、わかることとわからないこと、見通し、安全性といった項目を希望的観測、想定外とかいった思惑に惑わされることなくしっかりと公表する政府、正確に報道するマスコミ、真実を極める学術機関の存在が今求められています。
- 魚や貝類などへの汚染状況が不明である。事実を伝えれば漁業に携わる人々にとって大きな収入減となるため、詳しい情報を伝えていない。住民は事実を求めている。現状を正確に認識することで風評被害をなくし、個々の対応ができるようになるのです。また非常時の法律を整備しなければならないでしょう。
- 魚の生のサシミ等の安全が、安心して食べても良ろしいですか、少し心配します。
- 幸い何の不安もなく、日々過ごしております。東北の漁業、農業、酪農等、ニュースを見るにつけ胸が痛みます。国や人々の更なる理解と応援を望みます。
- 埼玉はそれ程被ばくが無いと思っていましたら狭間茶に出ました、お気の毒なことです。外国産の野菜については特に中国産のものは農薬がすごいときいております。米国産のグレープフルーツやメキシコ産とかのかぼちゃとか平気で買っているのに、中国産と書いてあると何か、買いたくなくなります。不思議ですね。福島のお米とか出荷停止になっていますが、食べるものについては申し訳ありませんが、規制を強めてほしいと思っています。
- 最近粉ミルクからの放しゃせんニュースがあった。子どもの健康にかんすることはしっかり対策してほしい。
- 今後のために長期の調査研究がなされることを望みます。
- 今後海産物魚介類飲み水に広範囲長期間影響すると思う。
- 今回の地震に伴って被災地付近の農産物から基準の値を超えるものが出てきている以上（私は過敏な方ではないが）過敏になって大騒ぎしたり風評被害が出てしまうのをゼロにするのは無理であるし、国やマスコミがすべて事実を話しているとは思えない。私自身も放射線の影響などゼロではないだろうが天災による事故で避けられなかった以上は仕方ないと思っているが、今生まれた子供やこれから生まれる子たちへの影響は非常に心配だ。せめてこれからの財政を担ってゆく者たちへの「責務」としてせめてこれからの人間たちに対する対策（健康診断など）をしっかりとあげてほしいと思う。
- 今回の事故はいわゆる、産、学、官、政の協働の試金石となる。広島、長崎が66年を経た現在、復興を成し遂げたのも、地球の歴史が46億年という地質学の推定に匹敵するウランの半減期、猛毒とされるプルトニウムの被災にあったにも関わらずである。これはひとえに、天文学、化学、科学、物理学、医学などの面から発見される人類の英知の賜。よって自然界に存在する宇宙放射線、放射性物質、放射能を人工的に創造したのだから、人工的に除染するべきであって、自然浄化に一任することは幸福を追求する人類の歩む道ではない。必ず短期間で猛毒の発生を防止しつつ、復興することを確信する。

- これほどまでに国や政治家、役人 etc が無能であったのかと。本当に情けない！東京電力も他の電力会社も通産省の役人もあまりにも責任感が無すぎです。原簿力発電は止めてほしい！それによる電力の不足は石油に頼らずに人知を尽くして解決してほしい。
- これだけ離れているのでさほど心配しませんでした。場所によってはセシウムの米が出荷停止になったり、孫達も小さいので食生活には心配しています。もう少し細かな情報が必要です。
- この手のリスクに関する話は、(よほどの理系女子でない限り)お母さん方には理解されていないように見えます。(「ママ友」めーるには、信じられないようなデマがよく流れている)。こんな時こそ、お父さんの出番ではないでしょうか。国や公的機関は、もっとお父さんをターゲットにコミュニケーションを図るようすることで冷静で合理的な対応を信頼すべきと考えます。”
- この原発で政府と大手マスコミの不備さを感じました。今後、何を頼りにし情報を取っていくのか不安です。このアンケートが来たとき、政府は冷温停止を TV で伝えていました。どうせウソばかりで一方的に都合の良い事をアナウンスしているだけだと思います。知人で茨城県の魚屋がいますが、海沿いに店が有り、本当なら地元の魚を売るはずだが、九州方面の魚しか置かないようです。理由は、漁師含め太平洋側の魚は放射性物質を浴びていると思い、又、検査等もサンプル量がごくわずかで本当に大丈夫？と思っているようです。結局、今後ガン等で死亡する方がもし増えても、この事故との関係があるか証明できないというもっともらしい理由で、誰も責任を取らずにうやむやにされ、時間が経過していくんだと思っています。”
- このアンケートは不安心理を助長するものと思われます。食品からの被ばくからどのようなことが起こるのか結果が出ているのでしょうか？3月12日以来、約1か月くらい風向、雨等気にかけてながら日々過ぎて来た私共関西の京都地方の人々に私はおさまりかけてきた不安(被ばくに)を助長されたくない。家族全員怒っている。
- 国会議員がろくに仕事もできないのだから議員の数を半数にしてそれから議員の数を半数にする話を持ち出すべき。と思うのだがどうだろう。
- 国民のために正確な安全情報を提供するのは国の当然の責務です。国民は国を信頼するしかありません。
- 合理的に判断できる正確な情報や妥当な基準を、すべての国民に示してほしい。それぞれが自分で判断するにしても、後からこうすればよかったと後悔したくない。また、今後、大きな影響を受け続ける子どもたちに対して、教育は必須だ。これまで無知、無関心すぎたと思う。それも危険ゆえにかくしときたいからだと感じている。無知=危険はひどい。とくに福島の人。
- 原発をいっぱい作った自民党のみなさん、食品生産者にあやまって下さい。マスコミももっと自民党や公務員を批判すべきです。「ず～とそうだったんだね。」という歌を流すべきです。
- 原発事故での政府対応が悪く、信用をなくしている故その後の情報発信にも信用がおけない。今から思えば外国のその国の日本在住者への避難指示の方が的確であったことが情けない。スピーディーの情報公開をしなかったのはパンクを恐れたとのこと。国民を馬鹿にしている。政権担当できないならやめてほしい。マスコミも政府発表の情報ばかり垂れ流さず、きちんとした情報発信を願う。意味のないバラエティ番組ばかり流さず継続して東北の状況のレポートをしてほしい。少しこのアンケートからは外れるかもしれませんがマスコミは自営他の活動をもっと報道するべき。(左寄りの圧力でもあったのか?)自衛隊に限らず警察、消防、海保、米軍もですが・・・
- 原発事故はすでに20数年前に世界各地で発生しており、前例的資料はたくさんあるのに、なんで行政も政治家も開放当事者も安全確認を十分しなかったのか。危険率の高い はわかっていたのに導入建設を急ぐあまり2重3重のバックアップ対策を怠っていた可能性が高い。その当事者(会委員)は当然審査して相応の罰を与えられるべきだと思う。今からでも遅くはない

- 原発事故のために苦しんでいる農家や酪農家の方々はもちろんのこと、風評被害で観光客がゼロに近い会津地方の旅館、商店の保証もしてあげてほしい。収入がなくてどうして生きてゆくのかテレビで見る度気の毒でたまらない。
- 原発事故の真実を全て明らかにする。放射線等の調査と除染を徹底的に実行すること。
- 原発事故のあった福島県に近いということで心配はありますが今回このようなアンケートがありましたので関心を持つようになりました。今後、新聞、テレビ、ラジオ等を通して知識を得たいと思っています。もっと、PR していただき、安全で住みよい日本にしたいものです。
- 原発事故について「冷温停止状態」「収束」という言葉を用いて危険がなくなったかのように伝えられている。同様におセンチの農水産物についても被害は「風評」であるとし 問題の核心には触れないように報道される。東北、特に福島の産物の被害は放射能汚染によるものであるということ、国民が福島を支えるために必要なことは産物を買うことではなく 福島の人々の怒りを共有し 国が対策・補償を取ることをもとめていくことだと考える。福島の農家が自家用米の検査を開始した直後から基準値を超える米、産地があったと報道が続いた。これは既に出荷された流通米に対する検査の精度に疑問を生じさせるものである。スリーマイル、チェルノブイリの事故レベル、汚染レベル、避難レベル等を考えれば少なくとも現時点で福島産の産物、それを作るための土壌に危険があることは明らか。「買って支える」ことを強調することで将来の大きな健康被害を生むことになる。東北には化学工場、薬品を利用する工場が多くなったと思われるので、今後は重金属などによる農水産物への影響が出てくることも予想される。そのようなことも見据えて食品の安全対策を講じていくことが必要だと思う。
- 原発事故直後に正確な情報が報道されていたらパニックになっていた人もいたのではないのでしょうか。でもそれでも国やマスコミは、正確に早く国民に知らせる義務があると思う。
- 原発事故直後、福島県産の農産物が（有害でないにもかかわらず）大量に廃棄処分されたと聞いて非常に胸が痛み、あえて福島産の農産物を購入していましたが（一番の理由は安かったからなのですが）しばらくたった今でも健康状態に問題はありません。日本人は風説の流布に惑わされやすい傾向にあると思うので、政府には食品の被ばく量の安全値？を示して周知してもらえよう努めていただき、無用な混乱を招かぬようにして頂きたい。
- 原発事故がなくてもいろいろなところから被ばくしているのにあまりにもマスコミがさわぎすぎです。ひとつのことを報道することによってその地域や農家が風評被害にあわれることをどう思っているのか！あまりにも産地差別をするのを見ているとこれは関西以南の人間のたくらみ？と誤ってしまいます。実際問題関西の人間の今回のことに対する反応はこちらの方面の人々とかなり差があると感じています。こうやって被ばくについての無作為アンケートを行っていることも「食品からの被ばく」というイメージを助長しているのと違いますか？特に「 大学の 教授が言っていた」というけど皆さん影響されるのですからこういうことのやり方には気をつけてもらいたいです。（なんだか書いてるうちに腹が立ってきました）
- 原発事故以後、肉・野菜等をほとんど九州より取り寄せており、コストアップしている。又、海産物をほとんど食べなくなりました。国は原発の完全廃止をするべきだと思います。マスコミは正確な情報を提供すべきです。
- 原爆を投下された国であり、そのことから派生するさまざまな事柄を全く予想できないのは、私たちの責任でもあるが、科学者たちの日頃の研究がお粗末なのは？牛のえさを外に放置したことにして、想像できなかったのか、配慮が足りないと思う。
- 原子力を営利目的に使ったことで今のような様々な問題が発生していると考えます。
- 原子力利用はやめるべきです
- 原子力発電はやはりやめるべきである。実は原子力発電のコストは、もっともやすいのではなくて最も

高いものだと思います。政府と東京電力は、もっとも大きな犯罪行為を行ったのである。にもかかわらず、だれも責任を取る者がいない。東京電力の役員は、すべて報酬を全額返上して被害者（東北3県の人々）に充てるべきである。すべての議員は議員報酬を返上すべきである。（1人当たり20 蔓延程度の最低限の生活費が支給されればよい。

- 原子力発電はもういらぬ。作らないでほしい。日本のような地震国、まだこれからも起きる可能性が強い。我々はもう先がないのでいいけれど若い人にとっては、これからが心配だ。
- 原子力発電がなくなることが一番安心です。住めない日本にならないため。
- 現状の情報を正確に構成に発信し続ける事が大切です。不安を煽るようなヒステリックな伝え方はいかなもののでしょうか？消費者が安心して食品を選択し消費できるような、信頼できると確信できる正確で公正な情報が欲しいです。ちなみに、私は似前から生活クラブを利用しておりましたが、増々、このよな一個人が食の安全の為に自己防衛しないとびげない世の中になるのかと少し悲しい思いであります。
- 検出限界値をもっと低くして検査をしてほしい。というのが大前提。また、北海道のタラからかなりの数値が出ているのに、どうして静岡より西（の太平洋側）は検査をしないのか？自分とは関係ないと思っているのか？愛知や和歌山、高知、鹿児島あたりまで、もっと積極的に海産物の検査をしてほしい。それから西日本はもっと東日本の流通品をどんどん検査して下さいよ。助けなさいよ。と思う。知らんぷりしてる県が多すぎます！少しでも多く検査をしてほしいのです。協力して下さい！そして、来年度以降は放射線物質を含んだ肥料が全国にばらまかれる可能性があるので西日本も農産物の検査を絶対にしてほしい。また、和歌山や愛媛のみかん、宇治茶や知覧茶や高知のゆずも...どれくらい汚染されているのか、いないのか。数値で示してほしい。20 ベクレル以下不検出とかではなくて！
- 現在話題にしている問題よりも未来に生まれてくる子がどのようにして過ごせるか 心配で を減じるが には自分はもう 世の中に居ないと思う。次世代の の結果を知りたい。
- 現在事実に向かって国、マスコミなどのかたがたが努力しているように感じます。感謝しています、ありがとうございます。今の日本は一般人の昔からの日々の努力の賜ものです。
- 国やマスコミへの不信が増した。いや、はっきりと彼らの立場を認識できた。デタラメ振りが。
- 国やマスコミへ 本当に信頼できる情報を伝えてほしいと思います。マスコミも不安をあおるだけではなく、データや専門家の意見もちゃんと伝えてほしいです。花粉情報のように毎日テレビで伝えて下さい。
- 国やマスコミは正しい情報を知らせてほしい。生産者や、その家族の心情を思うととてもつらいです。
- 国やマスコミは情報を操作せず、真実を伝えてほしいです。限度を引き上げて、「基準内で安全です」と言われても、不信感がつくる。海外メディアの見解が知りたいです。
- 国やマスコミは一般市民のパニックを抑えるため、情報の流し方を裏合わせしているように感じる。水素爆発のときも、あれだけ危険はないと伝えていたのに、世の中が落ち着いた頃を見計らって「あのとき放射性物質がかなりの量、かなりの距離を飛んだ」と言われても・・・とビックリした。それ以降、国やマスコミが信頼できなくなった。
- 国やマスコミの報道は、真実を伝えているとは言えない。
- 国やマスコミの報道していることに、信用することが出来ないの、何を信用すればいいかが全く分からない。一度出した意見をころころと変えられるのは、今も昔もそれを見ている人達が、困るということを理解して頂きたい。
- 国やマスコミの情報は信用していません。不安（特に将来の出産時子供に影響がないか）はありますが、不安を抱えすぎたり過敏になることで現在の生活に影響、ストレスとなるのもよくないと考え、気にしないことにしています。開き直りというか、あきらめというか。生産者の方の苦勞を考えるとあまりに生産地を気にするのも申し訳なく思います。

- 国やマスコミの情報がいつもどの程度信頼してよいものなのかそこが一番の問題に思っています。国民の不安をあおるといふ心配もされての国の情報の流し方というのもあるかもしれませんが良いにしても悪いにしてもとにかく正しいことが知りたいです。マスコミはその情報を変に大きくすることなくそのまま私たちに分かりやすく流してほしいです。買い物をするときいつも野菜などを手に取りながら不安が消えることはありませんし、市場に出回っている物は大丈夫というしっかりとしたシステムを作してほしいです。
- 国やマスコミのいうことは全く信用できないということが改めてよくわかりました。
- 国やマスコミがどこまで本当の事を言って報道しているか、疑ってしまう。基準値以下の食器なら買って食べた方が安全だと思うが（検査されない少しはなれた食品よりも）、その報道が本当なのかという所で疑ってしまって購買を避けてしまう。
- 国や報道の情報は参考にしているが本当かどうか分からないと思っている。私たち夫婦は子供を産み終わったし原発近くの食べ物を食べてもかまわないと思うが、子供が3人いてその子たちがこれから将来子供を出産するとき・・・子孫への影響が心配なので出来るだけ原発事故から遠くはなれた食べ物を購入するようにしている。
- 国や東電は外国や自分たちの保守にまわっており、国民のことを全く考えていない。「収束宣言」をしたが、まだ放射性物質の放出は完全には止まっておらず、事故は現在進行形である。原発の中の状態がわからない（直接見れない）のに、収束としたことに腹が立つ。
- 国や東電の補償逃格的な対応には不満です。きちんと責任をとってほしいと思います。（今後の食品からの被ばくについても同じです。）
- 国や地方自治体、原発関連の企業などは、後からの結果報告でなく、現在の状況情報を連絡にうそのない内容で開示してほしい。マスコミに対しては、あまり細かなことを面白半分に記事しないことや、被災者も知られたくない（報道してほしい）こともあるのだから、現地報道は控えめにすべき。
- 国や政治家の行っている情報隠しは国民をばかにしていると思う。自分たちの利権、安全ばかり考えて行動しているようにしか思えない。国民あつての国なのだから、被害者には税金を使うのもやむを得ないが、その前に東電のあり方、社員、役員の収入のこと、政治家たちの収入のことなど、もっと国民に誠実に対応してほしい。口先ばかりの政治家、逃げの東電となさけない日本になってしまったと思う。
- 国や原発の発表は信用しがたい。外部の専門の機関に衣る正直な報告が聞きたい。
- 国もマスコミも専門的知識を持った人（教授 etc.）も、東電との利害関係があり、放射性物質について厳しい見方をしていない（意見を主張しない）。国際基準をすぐに取り上げるが、チェルノブイリでも広島長崎でも実際に放射性物質の影響と思われる症状や病気になっても認定されていないケースがかなりある。長期にわたる低線量被ばくについて数年前 NHK は放送しているが、今回 NHK はこの情報をまったく出していない。早い段階で福島放射線量を調べていた人達の放送があったが、E テレの日曜 22 時という知られていないところでひっそりと放送された。
- 国ふざけるな！行政どうなってる！我々を殺すつもりか？もっともっと真摯にこの問題に立ち向かえ！きさまらは我々国民の代表なのだから。
- 国はそれぞれの機関で、努力しているようですが発表には余り信用できない部分がある。民法の報道番組には過激すぎる内容、部分的な内容、視聴者受けするなど、まったく信用できない番組がありナンセンス。
- 国は自分勝手すぎるし、誰一人として信用してません！！マスコミはオーバーすぎる。農家の人達の事をちゃんと考えているのか！福島県産のお米はおいしいのに流通されていないなんて（中には流通されているものもあるが...）野菜も売れないし...政府ももっとしっかりするべきである。消費税値上げの事より、もっとすべきことはあるだろうに、今の日本はだいじょうぶなのでしょうかね？

- 国は混乱を避けたい気持ちがあるのは分ります。それが国民と企業どちらが大切か考へてほしい。もっと早く避難していたら子供達を被爆から守れたのではないかとくやまれます。政府は原発終息宣言しましたが国民の誰もが思っている人がいるのでしょうか。
- 国は可能な限りデータを集め、すべてのデータを国民に報告してほしい。マスコミに対しては、テレビ報道は信用していませんが、新聞は種々の意見が出されていて、自分としての納得できる情報が得られていると考えています。
- 国は安全だ安全だと言う前に、最悪の事態をきちんと説明するべきだと思う。放射能が拡散した地域図のように後から発表することが多く信用できないと感じる。食べてからでは遅い。
- 国はあいまいな発表。マスコミはまくしたて一方的な意見のみ。あてに出来ない！
- 国は、うそつきのオンパレードです。
- 国の発表は嘘が多く信じられない。また大手メディア（TV 新聞）は国の発表を流すのみの広報機関にすぎないことがよくわかった。時に事故初期の情報はインターネットでとれる外国からの情報とあまりに差が大ききときとともに政府発表が誤りであることが明らかになり唖然とした。
- 国の食品の線量がチェルノブイリの線量より高いということ。大変とは思いますができるだけ正確な数値を出してもらいたい。今からでもおそくないので広島長崎のときの状況と今回の原発の状況（身体、土壌、食べ物、植物、海洋）を観察、研究して後世の多くの人々の役に立つようにしてほしい。そのために国に予算をつけてもらいたい。恥ずかしがっていたり、政治的な思惑でうやむやにしているはいけません。
- 国の基準値に達していないからといってどのくらい安全なのかわからないので売るべきではないと思う。自分で作ることも不安なのに買うこともできなくなりそうで何も信じれなくなってしまいます。
- 国の基準が今一よく分からないのははっきりしてほしい。将来の健康が心配。
- 国の言うことは信用できません。もっと科学者立ち上がってください。
- 国には失望、しかし日本人をやめることはできないのがまん。信用はしていない。マスコミは最低、国の手洗いとなるのでなく結論ありきの報道ではなく、もっと勉強してほしい。NHKは少しはよい点もあったがテレビニュースは何の存在価値もない。食品については心配しながらも食べるものがなくなるので危なくても買って食べるしかない。将来の日本の子供たち福島の子供たちが病気になるずに健康な大人そして老人になるよう祈って願っています。
- 国に対して不満・不安がある。信用できない。
- 国と東電が一体となって作りあげてきた原発安全の定義はもろくもくずれ去ってしまい、多大の被害と不安を与えた。人間が取り除くことのできない危険な作用を及ぼす物質は作り出してはならない。一刻も早く脱原発をし替りのエネルギー源を開発すべき。又、国民も節エネルギーを心がけること。野菜、卵、肉など生鮮食品はだんだん慣れてしまい、原発近の生産地からものも食べている。生産者の方は本当にお気の毒である。福島（あるいは近）産物は公官庁ですべて買い上げて政治家・官僚が給料の替りに受け取りなさい。
- 国として何を目標にどの人々を弱者として優先して守ろうとするのかよく見ていたがほとんどわからない。選挙を勝つ為の議員はいらない。官僚もやる人はまともな人はいるはず。新聞にも不安があるが、最大のメディアのテレビは問題が多い。どの局もほとんど同じ様子で、特色なく、司会者によっては又、口先で渡されたメモでうまいことやっている。少し離れていたNHKに今は少しだけ信じて特集などしっかり見ている。原発事故報道を聞いてすぐこれからは多かれ少かれ灰をあびて生きていくことは理解している。 国の言う安全で何！！
- 国としてしっかり管理指導をして下さい。
- 国・東電は事実を知らせるべき。パニックは一時。後で後悔したくない。

- 国、マスコミは真実を知っていても自ら進んで国民へは知らせない。可能性も含めてすべての情報を開示すべきだと思う。
- 国、マスコミ、インターネットなどの情報が多く何が必要なものかを見極めるのが難しい。正しい情報なのか（後から訂正されたりするので）不安もある。表記には無関係だが9項の問い7の選択文章の文字の大きさが異なっているのは意図的なのか？ 公平な条件とは言えない気がする。
- 国（国会議員）は、他党と足の引っ張り合いをしていないで、もっと協力をし、頭と身体を使ってもらいたいです。
- 口に入るものですから当然気になりますし心配大です。毎日食べる米。牛乳は？ 福島から近い米の放射線は気になる。牛乳は牛の母乳、人間の赤ちゃんへの母乳を気にしているのに牛は大丈夫？ ずっと外にいる牛の乳なのでから。
- 居住地の被ばく具合を正確に知りたい。国や東電が国民に開示していない情報などをマスコミで取り上げてほしい。とにかく、安全になるには何十年もかかるのだろうが、早急にどうにかしてほしい。福島の人たちが帰れるよう、国と東電は努力すべきだ。
- 客観的に判断できるデータが存在しないので、本当のところは正しい答えは誰ももっていない。でも不安なので、そして一定の規制も必要だろうからというのが実際のところではないかと思う。これから注意していても不幸にして影響が表れる場合があるかもしれないが、長期間経てその結果が出ることになる。因果関係というほどにははっきりせずに統計的差異として現れるのでしょうけど、ひとりの個人から見た場合、健康にもん d 内をかかえることになるのはやり切れないですね。正確な累積被ばく量をモニターすることがそもそも難しいです。最後に大切な研究調査だと思います。頑張ってください。
- 客観的な事実のみを公表、告知すべき。「安全だ」などとの気休めな意見はいらぬ。自分で判断する。
- 基本的な知識の伝達とそれに対して正確な情報が絶対に必要である！！
- 基準値の幅が広すぎるので、もっと厳密に規制してほしい。（スーパーに福島産の野菜がたくさん堂々と並んでいるが、本当に大丈夫なのか！？）今後 70~80 年生きていくであろう、幼児の健康を考えた基準値を求めたい。
- 危機体制、管理はおおむね効果を示していると思う。前例に貧しい事案に、泥縄的に対応せざるを得ないところがあるのもやむなしと考える。人により受け止め方に差異が出るのは当然だが一般的にとりわけマスメディアにシビアな反応をしがちなタイプに肩入れがちなところがあるようだ。ときが解明（解決）すると達観している。
- 議員さんが現地に観察に行っても半日やそこで自分は全然手を汚すことはない。全員行って原子炉の後片付け、除染作業をやるべき。机上の計画だけでは現実的でない。自分の党のことだけを考えないで挙党で復興に取り込むべき。
- 神奈川県は被害が少なそうなのであまり心配はしていないが、今までの自民党下での役所、大臣、東電の体たらくさが頭にくる。「想定外」ということで逃げようとしていることに特に頭にくる。
- 過度に反応しすぎている気がする
- 加工食品以外は一個体ずつ放射線量が違うと思う。それを計測して販売することがむずかしいとは思いますが、できる限り知りたいと消費者として思っている。マスコミは不安を増長させるだけでなく、正確に安心できるためのニュースを知らせることも大切だと思う。
- 確実な検査と確実な情報を国民に提供してほしい。後で後ではだめ！
- 海洋流出の話があまりあまりなされていない。大丈夫だからなのだろうか？ マスメディアは批判的精神を持ちながら、どうすべきか、どうあるべきか、建設的な方策を示すべきではと思う。
- 外部被ばくも人体、特に成長段階にある子どもへの影響は大きいですが、汚染食品から受ける内部被ばくの影響は 300 倍？ と聞きました。にもかかわらず、国の基準値は飲料水で 200Bq/k g、食品で

500Bq/kg 原発排水の国際基準値ですら 40Bq/kg なのに、乳児でさえ 100Bq/kg。この基準を元に自治体は、この基準を満たせば安全と平気で言い切り、毎日の子どもたちの食べる給食に東北産の食材を独自検査もしないで使っています。この基準を決めた時の原子力安全委員会の資料にも、「安全で」あるとは書いてありませんでした。おかげで、小学生の上の子は、給食ではなく、毎日お弁当とお茶を持たせています。チェルノブイリ事故から 25 年経つ現在でも様々な影響が子どもたちに出ていることを考えれば、今の日本政府のしている事やろうとしていることはすべて、チェルノブイリの教訓を無視したものに思えます。国は震災がれきを広域処理しようとしています。チェルノブイリでも汚染されたもの（重機などもすべて）は原発周辺の管理区域内にすべて集められて拡散させていません。放射性物質（廃棄物）は一カ所に集め管理するのが一番合理的であると素人でも解ることです。それをあえてしないのは、国が（東電）が保障をできるだけしないですむように、日本人すべてを一律に被ばくさせて立証できないようにしているとしか思えません。暫定期規制値の高さについても同じこと、また東北産のものを流通させていることも同じ意図を感じます。本当に被災者の東北地方の復興を考えるなら、汚染のひどい所の住民を安全な場所へ避難させ、農作物、漁業も生産せず、国と東電が責任をもって震災前と同じ生活ができるように、生活を保障し、西日本の安全な農地の減反政策を廃止し、農作物を増産、流通させるべきです。マスコミ（TV, 新聞）も、本来、市民、国民に有益な情報を提供すべきです。今の大手メディアは存在自体が悪だと思えます。

- 汚染水を海に流して海産物から放射能が検出されない様万全の対策をとってほしい。
- 震災後、不安がる人がたくさんいたけど、政府の言う事を信じなければと思っていましたが、対応の遅さ、広がる汚染に腹が立って仕方がない。民主党でなければと思うとくやしくなってきました。菅さん、枝野さんは責任をとるべきだし、刑事こくそされるべきです。「安心」よ「安全」は違うので、「不安」なのは仕方がないと思うけど、最低元の事はしてほしい。（・汚染地域周辺の食物、工場などの全品検査・農作物を作るエリアの制限・原発周辺の土地買い取り、そして原発周辺で核処理施設を作る（他県に移動させない）・老朽化した原発を最新のものにかえる、など）これまで日本は原発があったから電気とキレイな空気を得る事ができたので、ヒステリックに全否定する事はさげたい。
- 幼い子供がいないので、あまり食品の心配はしないが、幼い子供がいたら、「ただちに影響が出ない」と云われても。とても心配すると思う。データが無に等しいので、専門家やマスコミもわからないと云ってほしいし、安全か安全でないか、自分自身の判断するしかないと思う。
- 小川を利用した水力発電の設置をしたりして危険な原発はやめましょう。
- 枝野さんが地震直後、数日間原発は安全、安全だと言っていたのはなんだったのか？反省してほしい！
- 売られている食品も、産地が偽装されていることもありうるので 100%信用はしていない。外食する際も、そのお店がコストを下げるために、汚染が気になり、売れ行きの悪い産地の食材を安く仕入れ、使っているのではないかと、気になることもある。
- 今までは国産のものが安全だと思い、外国産の食品を避けていたが、原発事故後は逆に国産の食品を買わなくなりました。野菜はなるべく九州や北海道の者を選ぶようにしているが、なかなか売っていないのでほしい食材が出に入らず苦労しています。赤ちゃんがいるので母乳にセシウムが出ていないかとても心配です。国で決められた放射線量の基準値をもっと低くしてほしいです。後でやっぱり危険でしたと言われる気がして信用できません。
- 今の日本は戦時中を思わせる。駄目なものを駄目と言えない風潮を感じる。政府・マスコミの対応はある種中国以上に最悪だ。
- 今の国やマスコミはまるで、「放射線は安全」であるかのような言い方をしている。それはもはや「原発事故など起こっていない」と思わせたいのか？と疑うほどだ。福島でとれた野菜をリポーターが笑顔で食べ、「おいしい！」と一言。おいしい=安全ではないのに、さもおいしいからよいとでも言いたげに伝

え、その野菜の放射線量などには一切触れない。それでいいのだろうか？日本国民は放射線について隠蔽されることなど望んでいないはずだ。「安全」なんて言葉はいらぬから是非ありのままを包み隠さず伝えてほしい。私たちは安全であることを喜びたいのではなく、危険なことから逃れたいのだ。

- 今現在放射線物質の全くないところの食品があるのですか？逆に聞きたいです。誰も責任を取らない会社も原発を推進してきた人も早いうちにきっちり検証して未来につながる国であることを見せてほしい。
- 一般、マスコミとも反応が過剰だ。もっと冷静に受け止めるべき。国は、対処指針を早期に明確に示すべきだった。
- 以前は原発反対ではなかったがこれだけいい加減でリスクマネジメントのなさが露呈された行政、東電に唾然とする。現在は原発前面撤廃の考えを持つ。明日の日本を基軸とした行政を（いづれの政党も）実施してほしい。まず、時刻の国益ありき、次に東南アジア権の繁栄ありき。
- 以前から、信頼できるもの、顔の見える食品しか買っていなかったので、特になし。環境への影響、それから派生する人体への影響が気になる。
- あれこれ言っても逃げるお金もないし、気にしはじめたらキリがないのでとりあえず国の方針を信じるしかない。もっといろいろ気にして買い物したくてもお金の予ゆうがない。生産者の人たちの生活もあるし、今は気にしすぎなくらいだとも思う。多少の放射線はどこ国でもあるらしいとなんとなく聞いたことがある。少しは仕方ないのでは？と思う。
- あまり不安をあおられても困りますが、電力会社や国は正しい情報を伝えてほしい。安心な商品なら被災地の食品を多く買い、少しでも復興の役に立てればと思います。国というより電力会社にの上層部の方々が本当に大丈夫と思うのであれば、そちらに住み、そちらの食品を家族で食べてほしいと思います。そうすれば私達も信用出来ると思います。
- あまり被ばくについて心配していなかったのでこのアンケート調査で少し情報に気をつけるけようと思った。
- 余りにも危気をおおる感情的な報道が多いと思う。もっと落ち着いた報道姿勢が必要と感じる。
- あまり信用できません。
- 朝イチ、食卓丸ごと調査でもあまり心配ないとのこと
- 赤ちゃんや子供にどのくらいでどのような影響がでるか具体的に教えてほしい。TV やラジオなどの情報収集も大切ですが、市でも何か対策を練ってもらえたらと思います。
- 赤ちゃんのミルクから放射能が検出された事は問題だとは思いますが...何しろ、目に見えないから、売られている野菜・果物に関してどうする事も出来ません。野菜仕分けしている方の話だと、外国の野菜を国産表示の箱に入れ替えているとの事です。国内産のも本当かどうか...。個人で測定器を持って、測定出来たら一番良いのですが.....。
- 線についての情報が多いが、実際には 線・線なども結構出ていると思う。セシウムのみならず、プルトニウム、ウラン等が出ていることがわかっている。これらの情報を隠蔽しているのは何故だろうか。パニックになることを避けているのだろうか。最近食品に関しての基準値を大幅に引き下げた由。結構なことだが、その根拠は明瞭に、わかり易く説明されていない。改定前の基準値はでたらめだったということか。であれば新基準値も??なのか。すでに国は信用を失っているのだから、わかっていることは洗いざらい公表し、わかっていることはわからないとはっきり言うべき。「政治的」なことは考えるべきではない。「知らしむべからず」は危険な思想です。
- TV での報道をしすぎている。放射能をそんなに気にするならその前にタバコも売のをやめればいい。ほかに気にすべきことがあるはず。
- Q7 するほどではないと思うので
- PCB, アスベストなどの例もあるので国は信用していません。「当時の技術では...」というはずで。

後々「実は…」の発表があるでしょう。それでも家が流されたり、家族を亡くした方よりはましと考えて、日々生活しています。

- P.9 に書いた通り。過剰反応は、未来から見た時笑い物にしか見えないでしょう。国やマスコミが何よりやるべきは、東京電力の存命中の歴代から幹部全員を刑事告訴する事。安全対策を怠った事は一目瞭然！「想定外」という言い訳は通用しません。この責任を明確にする事なく復興などありえません。世界からも見下され続けるでしょう。同時に民事訴訟も起こし、損害賠償金は、責任を負うべき連中から取るべし。。それが出来ずに増税ばかりの政府は消えてくれ。
- 9 ページに記入してしまった。
- 9 ページに書きましたが、食品に関するだけでなく、生活全般で若い皆様が中心となり政治経済まで改善し、豊かな国を作り上げてほしいですね。若い力を陰ながら応援し期待しています。
- 3月11日の地震後の米軍の動きが正しかったなら、政府はもっと早く事態を認識すべきだったと思う。
- (1) 地震後5時間でメルトダウンしていたのでその後水蒸気爆発した
(2) 原発敷地地割れで海に大量に放射能が漏れていた
(3) ジェット気流に放射能が載って2weekで地球を1週りする
(4) 国の放射線量の発表は信じない。本当の事を発表すると国民がパニックになる恐れがあるから。すでに被爆し手遅れが出ている
(5) 米国海軍が支援に来た時、一時東北に近づけなかった。なぜ。放射能が高く近づけなかった為
(6) 東京電力：九電説明会(原地)、株主会で同社員を忍び込ませ原発立地に賛成数(頭数)を増やし有利にした
(8) 東北原地住民を最優先に保護(住居・生活環境)して下さい
(8) 国会議員数削減とボーナスより義援金を出しなさい (9) 東電発表葉廃炉まで40年掛かるを前倒せよ
- (1) 国に対して：現政権は、政治家主導と主張しているため、官僚に聞きたくとも聞けない状態に、自分で追い込み、無残である。広島、長崎の経験もあり、被バクに対する治療も高水準にある。米国等多くの核実験を実施しているが、そのデータは伊達には持っていないにもかかわらず、その協力助成を断った。原発に関する事故は国家の最高機密であるが、国民の利益を守り発展させるのが国の最低の仕事である。官僚は一般的に優秀であり、どのような時にも対応しうる脳力を持っている。官僚をうまく使うことを忘れている。頭の悪い政治家では、この事も解るまいと考える！
(2) 病院の売店として(災害時拠点の): 非常用の水、食品の備蓄を入院患者、近リン住民のために準備しているため、今まで一ヒの資金が必要となっている。(3) マスコミについて：必要以上の「あたり」はやらない！信頼性のある専門家の解説
- 1. 日本は唯一原爆の被災した国である 不、確かな資料が存在しないのは、可笑しい話である。
2. (原爆) 日本でも戦争中研究が進み奥日光で誤爆発を起こしたと聞く。また湯川博士のサイクロトロンの破壊等話は終戦当時聞いたが、国も議員も腰抜けで企業等研究費を出さない傾向がある。3. 歴史上日本人の発想力は評価するが、”空飛ぶ機械、海の中を走る船、地上を矢のごとく走る機会”は皆外国の模倣である。責任はどこにあるのでしょうか？(文字も縦に書き横に書き、右に綴り、左に閉じる)
- 1. うそをつかないで正しい放送をして下さい。
2. 大本營の発表ではなく、自分で取材してから報道して下さい。
- 一、明らかに、TEPCOは機危管理が最底でした。まずは、”想定以外”という信話が生まれましたが、事前原発の維持の提案があり、それを完全に無視されました。もともと古びた発電所を経済面でしょうがなく使い続けたが、それに増して、投資をしませんでした。この場合は、津波にかかわらず、重大な責任にあります。そして、事後に、現場の苦勞を認めますが、経営陣のおろかさが許すまじきな出来事

であります。尚、" 発電所にもうない放射線は、ある土地にあればその主のものになる " という発言は、人間に対する犯罪です。TEPCO を解体し、経営陣の全財産を取るべきです。

一、政府やマスコミが発表する情報は、自ら判断すれば物事を理解できますので、それは十分だと思います。

一、日本食品の安全性の信話は、すでに雪印のスキヤングル等でくずれていたが、今度は、おしまいです。早めに TPP の交渉に入り、日本の食品産業にショックを起こし、面目な立場に向上させるべきではありませんか。 ”

- 国はなぜあんなにも高い基準値に設定しているか疑問です。もう原発事故から 10 か月経ちます。早く安全な基準値に引き下げてほしいです。また、すべての食品を検査して頂きたい。そして農家の方の保障をキチンとしてあげてください。

昨年、子供を作ろうとしていましたが、放射性物質の影響を考え、夫婦でよく話し合い、子供を諦めました。原発事故のせいで人生が変わってしまいました。とてもつらいです。

毎日マスクを着用しています。友人や親に理解してもらえず悲しい気持ちになります。

庭の除染を早くしたいのですが、安全な土をどこから購入したらいいか困っています。趣味のガーデニング&野菜作りができなくてストレスが溜まっています。

- 国・自治体・東電職員のメディアでの発言、信用出きない。安全と云いながら、現在迄、不安な事実の数々……。無責任極まりない。誰も責任を取っていない。将来何十年先迄、食品、環境、全てに不安な日々を送る責任、全て人災です。

自治体の職員も、言動、二転三転、真実性ナシ。云った事に対しても、記憶ない等とウソぶく。(無表情で) 誠実な対応のカケラもなし……。日本人の勤勉さ、正直、親切は昔の事。日々、国や、自治体のメディアニュース見て呆れ果て、高い給与だけもらい(税金から) 他人事の様な対応。

一部の勇姿ある(例……。大阪の橋下市長) 市民の為に命迄削る程の勇氣ある言動、行い、希望が持てる。頭の良い、リーダー的な立場の方はぜひ、不安な日々を過ごす市民の為に命を削って世の為、人の為に万事に尽くして欲しい。声にならない声に耳を傾けて頂きたい。自分達の子供やマゴの事を思い、将来の不安をなくして欲しい。子供達から希望をうばわないで……。!

- マスコミは政府から伝えられる情報を流すだけでなく、独自の調査をして情報を流していくべきだと思う。なぜなら、政府とはいっても情報(国民にとっては貴重な)を隠したりしているからである。

● 食べ物を買う上で、以前より産地を確認してから買うようになった人が多くいるのか、スーパーには福島産の果物や野菜だけがいつもいっぱい店頭に残っていた。今後もそのような状態がずっと続くのだと思うが、生産者の人達を考えるとかわいそうに思う。国はそのような生産者達に十分な補償をいっくも早く行い、倒産しない様にがんばってもらいたい。このままでは、日本の自給率も減っていくのではないかという不安もある。安心だと言われてきた日本製品が再び戻るようお願いしたい。

- 放射性物質が検出された食品は東電が全品買い取るべき
- 規制は年間 1 ミリシーベルト未満になるようにきびしい(従来の) 規制値を設定すべき
- 福島など東北の被災された方々に対して気のどくに思う気もちと政府の対応をめぐる危機管理能力の低さへのイラダチを感じます。
- 政府は正しい情報を 国民に伝える
- 地震震道にある原発は全て廃炉にすべき・被災された方々の復興を最大限援助する・国民や、世界の人々の善意にすぎるだけでなく政府が出来る事は山のようにあるはずだ!!
- ざん定基準値がやっと見直されるようになってきていますが、早く基準値を下げて欲しい。● 魚介類は産地だけは信用できず、スーパー等で購入できない。
- 今 妊娠希望のため、しばらくは基準値の低いものを購入したいが、子供や に関係のない方々へ

と、基準値を分けてもいいのではないか。

・放射能を検出された農産物を購入することが支援になるとは思わない。違った形の支援が必要。ただ、その数値で健康に本当に問題がないと確証できるのであれば妊婦子供以外が積極的にとっていいと思う。しかし国の基準が信用できないのが一番思うところです。国民のため、研究の成功、お祈りいたします。

- ・甲状腺ガンなどの検診、健康診断などを国が負担し行ってほしい。 被爆量が少ない、ただちに人体に影響を及ぼすレベルではないとよく言っているが、チェルノブイリの例をみていると、いつ子供や家族に体調不良が出るか心配している。今だけの事じゃなく先の事も考えてほしい。早期発見が大切だと思っている。
- ・よく被爆の単位で情報が流れているが、よくわからないので(いまいちぴんとこない)もっとわかりやすい単位の見方を国民にしてほしい。
- ・情報はチェックしているが、毎日の被爆レベルが新聞に出ているその被爆量がどれほどのものなのか、少ない量と思われるように記されているが、蓄積されていくとどんどん人体に影響してくることを考えると、今後いつどのように私達の体に不調が出てくるのか怖い。
- ・情報で聞いても、それをどこまで信じていいのか、スーパーにうっている物も正直被爆量はゼロではないだろうと思っている。空気ですえゼロではないと思っている子供達の将来(その子供の代も)考えるととても先が見えず心配である。
- ・海外の専門家の話と日本の考え方が違う、日本の専門家は考えが甘いとパニックをふせごうとしているのか? 海外の厳しい意見にもっと耳をかたむけていったほうが良いと思う。
- ・原発事故が原因で放射線が出るような食品は流通させるべきではなく、その食品へは国が(東電が)すべて補償すべきかと思う。
- ・事故初動期の東電の対応がひどかったせいもあり、これだけの大事故を民間のせいにする構図が納得できない。国難の位置づけをしっかりと、その中で体系だった再構築のシナリオ、それを支援するための立法と補償が必要だと思う。危険性のある食品はその補償の中で安全が確認されるまで外に出すべきではない。
- ・国は何事においても隠し事が多すぎる。 ・国政のTV(専用)番組を常にすれば良い。
- ・マスコミは大袈裟な報道はせず真意をとことん追求すべき。
- ・マスコミは、政府、(国)に臆する事無く報道する事
- ・国の情報は信頼できない
- ・マスコミは国民のために国にもっと言ってほしい
- ・国に何も期待していない。
- ・大学の研究、企業の開発能力に期待!
- ・国の法律の緩和が進めば、野菜工業分野が成長するので、やんばダムに雇用も求めるのはやめてもらいたい。
- ・安全性の妥当性について、きちんと説明してほしい。
- ・今後、累積被ばくや子供への影響などについて見解が分かり次第、かくさずに公開してほしい。(公正に)
- ・食品被ばくをもっと気をつけたいとも思うが、経済的な余裕もさほどないのでできないのが実情です。そして早急な対策を行ってほしいと思います。日本の未来を担う子供たちのために、ぜひ・・・。
- (イ) 地区毎の作物の汚染について種類毎に調査してほしい。
- (ロ) 汚染した作物の補償などどうするのか。
- (ハ) 国の指示が遅い。早くすべきと思われます。国民の事を余り考えていない。自分らの事ばかりで

あきれます。

意見等に戻る